

★ Challenge to the future BORDERLESS

名古屋芸術大学後援会報

第69号 2020年9月30日発行

後援会創立50周年記念特別号

【特別企画】

■座談会「後援会 未来への挑戦」

■後援会だよ！全員集合

■後援会入門 — ミニ事典 —

■名芸大入門 — 保護者編 —

■後援会第1回功労者表彰

50th.
Anniversary

NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

CONTENTS

1	目次 後援会創立50周年記念行事等中止のお知らせ	48	2020年度年間行事予定表(全学部・全領域)
2	後援会創立50周年記念特別号の発行によせて	51	キャリア支援のご紹介
3	ごあいさつ 後援会長・学長・理事長	55	2019年度 進路状況
6	後援会功労者表彰	56	2020年度 演奏会案内
7	「後援会未来への挑戦」50周年記念特別座談会	57	先輩の活躍
15	後援会だヨ！全員集合	59	親の想い
17	後援会入門 ― ミニ事典 ―	60	子の想い
18	名芸大入門 ― 保護者編 ―	61	クラブ・同好会紹介(西24部会・東21部会)
19	2020年度後援会定期総会(書面総会)報告 2020年度後援会新役員・理事一覧	63	トピックス ピックアップ
20	2019年度事業報告・2020年度事業計画	65	「緊急学生支援を求める申し入れ書」(全文) 就活生の親として今できること
21	2019年度 後援会決算報告	66	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
23	2020年度 後援会予算書	67	大学運営の組織図(2020年度)
25	名古屋芸術大学近況報告	68	名古屋芸術大学後援会会則
45	学務部報告(就職・オンライン授業実施状況)	69	学校法人名古屋自由学院決算報告
47	2020年度 学生数 大学へのお問合せ先一覧	70	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集
		71	編集後記

後援会創立50周年記念行事等中止のお知らせとご協力をお願い

日頃は後援会活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、名古屋芸術大学後援会は2020年、創立から50年目を迎えました。後援会ではこれを記念して50周年記念行事の開催を予定しておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、ご参加くださる皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、記念行事等の開催を中止することに致しました。役員一同、力を合わせて準備を進めてまいりましたが、苦渋の決断をせざるを得ない状況になりました。それに伴い、後援会と大学教職員との合同研修会、「名古屋芸術大学後援会創立50周年記念式典・祝賀会」を中止することに致しました。取り急ぎお知らせ致します。

尚、今年度の総会における承認事項につきましては、議案資料の郵送による総会(書面表決)にて開催し、ご承認いただいております事を申し添えます。

保護者会員の皆様におかれましては、今後とも後援会活動のなお一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

電話:0568-26-3355

FAX:0568-26-2101

E-mail:kouenkai@nua.ac.jp

名古屋芸術大学後援会

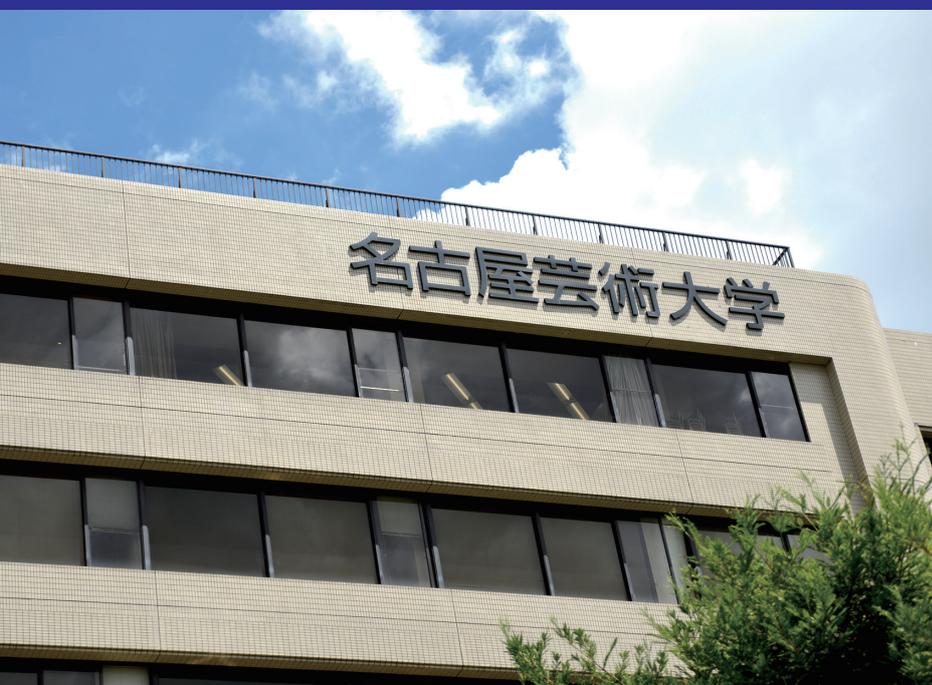
副会長(総務委員長)

矢野 章子



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

名古屋芸術大学後援会は 創立50周年を迎えました



★ Challenge to the future **BORDERLESS**

後援会 未来への挑戦

後援会創立50周年記念特別号の発行によせて

2020年、名古屋芸術大学後援会は創立50周年を迎えました。

本日ここにお送りする「後援会報」第69号は、後援会創立50周年記念特別号となります。

本来なれば50周年記念式典・祝賀会を盛大に挙行し、先人の偉業に思いを致し、喜びを分かち合うところですが、新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態宣言と「自粛」要請を受け、行事は10月予定の研修旅行まで含めて1年分、全て中止となりました。

「断腸の思いで捲土重来を期す」とは、開催中止決定に際しての委員長(会長)発言の一節です。その思いの丈を、記念事業で唯一残された「会報」特別記念号の発行に込めました。

会長提案に基づく理事会での決定を受け、広報委員会で討議を重ね、編集方針も180度転換し、表紙デザインもレイアウトも一新しました。

1986年(昭和61年)の創刊号以来続いてきたモノクロ印刷から、念願のフルカラーへの衣替えを実現しました。

中身は1冊丸ごと、大学とキャンパスライフの最新情報を中心に、学生・保護者の皆様へのお役立ちニュース&トピックスが満載です。

いま再び創刊の原点に立ちかえり、1から10まで全部自分たちの手作りで仕上げました。

これを機に、大学とご家庭をつなぐ懸け橋として、もっと読み易く愛される「会報」作りを目指します。

今後ともなお一層の後援会員の皆様方のご支援ご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年9月30日

名古屋芸術大学後援会創立50周年記念事業実行委員会

委員長 菊井 政右衛門

名古屋芸術大学後援会 創立50周年を迎えて

ごあいさつ



名古屋芸術大学後援会会長
菊井 政右衛門

Masaemon Kikui

ご家庭と大学を結ぶ懸け橋となって50年 後援会は全力で名古屋芸術大学の発展を支えます!

名古屋芸術大学後援会会員の皆様方におかれましては平素より後援会活動に格別なるご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、名古屋芸術大学後援会は2020年、創立50周年を迎えました。

しかしながら折からの新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態を受け、創立50周年記念式典・祝賀会は中止となり、例年5月開催の定期総会も、後援会史上初となる「書面総会」となりました。

会員の皆様宛に議案資料を郵送し、7月5日を期限として書面表決を行いました。

その結果、第1号議案乃至第6号議案(決算・監査報告、事業報告、会則改正案、役員改選案、予算案、事業計画案)の全てについてご承認をいただきました。

就中役員改選のご承認に伴い、不肖儀、昨年度に引き続き後援会会長の重責を担うことと相成りました。

理事会一同、一意専心、決意も新たに後援会活動に邁進いたす所存でございますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

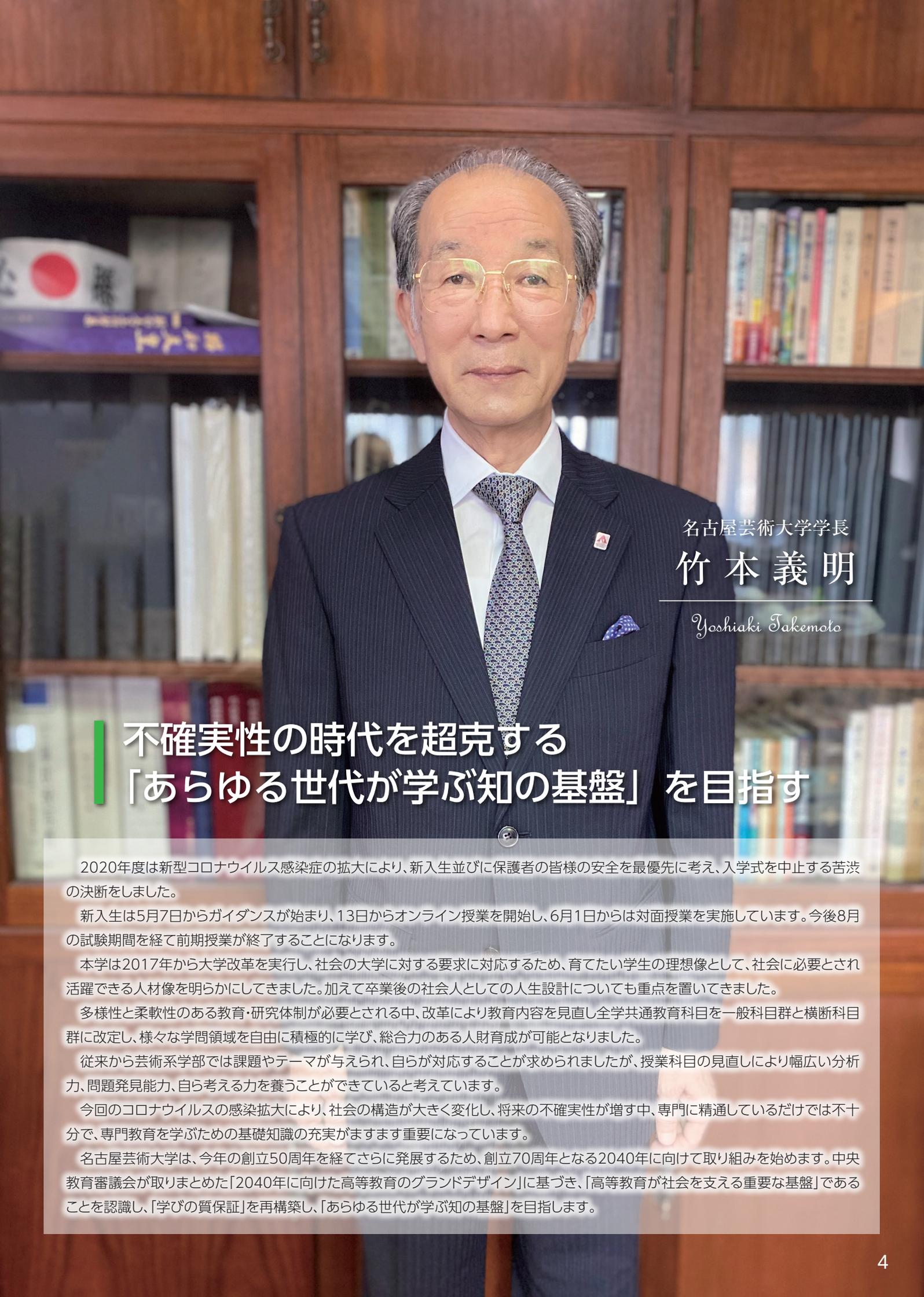
後援会の目的は、名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学の正常な運営に寄与し、学生の福利厚生並びに大学諸活動を後援することにあります。

機関誌「後援会報」の発行、研修会、サークル活動、保護者と教職員の親睦交流、その他さまざまな教育・研究支援活動への取り組みを通して、ご家庭と大学を結ぶ懸け橋となり、後援会は今日まで着実にその役割を果たしてまいりました。

しかし我々はいま、新型コロナウイルスとの戦いという、未曾有の危機に直面しています。我々は必ずやこの試練を超克し、捲土重来を期して次の50年、100年先の未来を目指して前進を続けます。

我々の目標は、名古屋芸術大学を「学生満足度ナンバーワン」、「全国芸大(美大・音大)のトップ校」に飛躍させること。そのために後援会は総力を挙げて学生・大学支援態勢の強化拡大に取り組んでまいります。

今後とも何卒、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



名古屋芸術大学学長
竹本義明

Yoshiaki Takemoto

不確実性の時代を超克する 「あらゆる世代が学ぶ知の基盤」を目指す

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、新入生並びに保護者の皆様の安全を最優先に考え、入学式を中止する苦渋の決断をしました。

新入生は5月7日からガイダンスが始まり、13日からオンライン授業を開始し、6月1日からは対面授業を実施しています。今後8月の試験期間を経て前期授業が終了することになります。

本学は2017年から大学改革を実行し、社会の大学に対する要求に対応するため、育てたい学生の理想像として、社会に必要とされ活躍できる人材像を明らかにしてきました。加えて卒業後の社会人としての人生設計についても重点を置いてきました。

多様性と柔軟性のある教育・研究体制が必要とされる中、改革により教育内容を見直し全学共通教育科目を一般科目群と横断科目群に改定し、様々な学問領域を自由に積極的に学び、総合力のある人材育成が可能となりました。

従来から芸術系学部では課題やテーマが与えられ、自らが対応することが求められましたが、授業科目の見直しにより幅広い分析力、問題発見能力、自ら考える力を養うことができていると考えています。

今回のコロナウイルスの感染拡大により、社会の構造が大きく変化し、将来の不確実性が増す中、専門に精通しているだけでは不十分で、専門教育を学ぶための基礎知識の充実がますます重要になっています。

名古屋芸術大学は、今年の創立50周年を経てさらに発展するため、創立70周年となる2040年に向けて取り組みを始めます。中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、「高等教育が社会を支える重要な基盤」であることを認識し、「学びの質保証」を再構築し、「あらゆる世代が学ぶ知の基盤」を目指します。

名古屋芸術大学学院長・理事長

川村 大介

Daisuke Kawamura

建学の精神を堅持し 「ゲイジユツの力」で時代を切り拓く 社会から選ばれ続け信頼される大学へ

名古屋芸術大学(以下「名芸」という。)は昭和45(1970)年に開学し、本年開学50周年の節目を迎えます。名古屋芸術大学学生及び同大学院生の保護者の皆様方には、平素から格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

50年前に創設者故「水野銈子」名誉学院長が、「名古屋は芸どころ」と言われる一方で、著名な音楽家による演奏会や世界的な芸術家の作品展が、名古屋で開催されなかった当時の風潮(所謂「名古屋とぼし」という。)を何とか打破したいと考え、芸術系総合大学の開設に至ったと伺っております。

開学後、多くの卒業生が巣立ち、各方面で活躍しています。開学50周年記念事業として卒業生諸君を中心としたイベントなどを計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定を変更せざるを得ない状況となりました。一方で、社会における高等教育機関の果たすべき役割が大きく変化する中において、名芸の存在意義を明確にするため、平成29(2017)年から開学以来の改革を実施し、更に進化し続けています。

このような社会状況において、開学50周年記念事業ポスターに掲げました「学生を育てた50年、育てられた50年!~感謝から感動に、そして融合に!!」(卒業生の公募によるもの)や、令和2(2020)年4月1日付け中日新聞(朝刊)に掲載されました「アートで世の中を応援」というキャッチフレーズは、多くの卒業生及び関係者に感謝申し上げるとともに、今後の名芸のあるべき姿を名芸の関係者のみならず広く社会の皆様方にも明示しています。

名芸は、建学の精神「至誠奉仕」を踏まえ、行き先不明の混とんとした社会においても、従来の枠に捉われない創造性豊かな「ゲイジユツの力」をもって社会を“応援”できる人材を育成し、社会から選ばれ続け信頼される大学となることを目指します。

今後とも、保護者の皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第1回後援会功労者表彰

2019年度後援会では、2020年、後援会が創立から50周年を迎えるのを記念して、永年にわたり後援会活動に顕著な功績があった方々に対し、感謝の意を表すため「後援会表彰規程」を制定し、功労者表彰選考委員会が中心となって人選・審査を進め、2020年度後援会定期総会と同日開催の創立50周年記念式典において表彰すべく準備を進めてまいりました。

その結果、栄えある第1回受賞者には、後援会公認サークル「壁の華」、「せせらぎ合唱団」のリーダーとして20～30数年の長きににわたり活動を継続してこられた元後援会役員経験者である4人の大先輩諸氏に贈られることが決定しました。

ところが新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、後援会創立50周年記念式典・祝賀会は中止となり、「功労者表彰」も中止の已む無きに至りました。

そのため後援会では受賞対象者に表彰状・記念品を郵送して表彰に代えさせていただくこととなりました。ここにお写真とお寄せいただいたコメントを掲載し、皆様と共に謹んでお慶び申し上げます。

功労者表彰選考委員長(顧問)：川野 佳代 副会長(総務委員長)：矢野 章子 サークル委員長(理事)：石黒 和広



■宇佐見 誠也様

絵画グループ壁の華
会長。

愛知県瀬戸市在住。
1936年(昭和11年)生
れの84歳。元名古屋芸
術大学後援会副会長。
壁の華入会は1989年。
「この度は名古屋芸術大
学後援会におかれまして
は創立50周年を迎えら
れ誠にありがとうございます。

そして「壁の華」の世話人として感謝状を賜り恐悅至極に存じます。衷心より感謝を申し上げます。」



■長江 政則様

せせらぎ合唱団会長。

愛知県瀬戸市在住。1945
年(昭和20年)生まれ。元名
古屋芸術大学後援会会長。
長男和哉氏は名古屋芸術大
学准教授(音楽領域)。1996
年から「せせらぎ合唱団」団
員。2008年から会長。

「名古屋芸術大学と後援会
創立50年の節目に後援会の
音楽学部のサークル活動『せ
せらぎ合唱団』に感謝状を頂き、会員一同喜んでおります。
ありがとうございました。20年以上にわたり、大学の援助と
山田正文先生と江端智哉先生の御指導に深く感謝していま
す。今後も、大学と後援会の御発展を祈念し、『歌を歌って楽し
もう』をモットーに団員一同頑張ります。微力ながら世話人
として力添えしたいと思っています。」



■森部 みや子様

絵画グループ壁の華運営
委員長。

愛知県稲沢市在住。1948
年(昭和23年)生れ。元名古
屋芸術大学後援会副会長。
1999年壁の華入会。2004
年から運営委員長。

「このたび名古屋芸術大学
と後援会が栄えある50周年
を迎えられましたことに心よ
り祝福申し上げます。後援会
壁の華が長きにわたり活動
を続けてこられたのも大学

の協力と会員の方がたのお人柄があると思います。今後ともよろしくお願ひ致します。」



■千石 智子様

せせらぎ合唱団副会長。

愛知県尾張旭市在住。1944年
(昭和19年)生れ。元名古屋芸
術大学後援会会計監査。「合唱団」
発足時から参加。2012年から副
会長。

「50周年おめでとうございます!
この度は立派な感謝状ありが
とうございました。誠に感慨深く好きな合唱を続けられた事は
根気よく御指導して頂いた先生方のおかげ、また学生に
混じって参加させて頂いた第九演奏会など、コーラスを通じ
て沢山のひととの出会い、全てに感謝し、全てにありがとう。」

★Challenge to the future
BORDERLESS
後援会 未来への挑戦

名古屋芸術大学後援会
創立50周年記念特別座談会

〔2020年8月5日 午後4時～6時 於学長室〕

司会 山内正春後援会監事(2018年度後援会会長):

本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の司会進行役を務めさせていただきます。後援会監事の山内正春と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は「Challenge to the future『BORDERLESS』後援会 未来への挑戦」と題して、名古屋芸術大学後援会創立50周年記念特別座談会を開催し、後援会や大学の過去・現在・未来について大いに語っていただき、読者である後援会員(保護者)の皆様に、後援会活動へのご理解を深めていただくきっかけになれば幸いに存じます。

それではまず最初に2020年度後援会、菊井会長から、後援会の歩みについてお話ください。



司会 山内正春
名古屋芸術大学後援会監事
(2018年度後援会会長)

■ルーツは「父母の会」

菊井政右衛門名古屋芸術大学後援会会長:

名古屋芸術大学後援会は、1970年(昭和45年)の大学開学と同時に発足した「父母の会」を始まりとします。10年後、「父母の会」を「名古屋芸術大学学生生活後援会」(1980年)に改組し、その後さらに「名古屋芸術大学学生後援会」(1996年)、「名古屋芸術大学後援会」(1998年)、「名古屋芸術大学・大学院後援会」(2013年)と4度の名称変更を経て、2020年度定期総会で再び「名古屋芸術大学後援会」と改称して現在に至ります。

司会:

今から40年前の「生活後援会」という名称から、大学創成期の学生生活の様子が垣間見えるような気がします。若い芸術家のたまごたちも保護者も大学も、みんな大変な中で頑張っていたんだなあと思うと、何だかグッとくるものがありますね。

菊井会長:

そうですね。2019年度後援会会長に就任して、2020年には創立から50周年を迎えるということで、これまで誰も手がけてこなかった後援会史の調査・研究に着手しました。

大学の書庫から「後援会報」のバックナンバーが綴じられた古いファイルを探し出し、大学に日参して全号全ページを読破しました。

第1号はタブロイド版の新聞で、1986年(昭和61年)に創刊されています。当時の紙面からは、芸術の道に邁進す



る学生たちへの深い愛情や、保護者・教職員が一丸となって立派な名古屋芸大を創ろうという意気込みが伝わってきて、読みながら私も胸が熱くなりました。

創立から50年、後援会の歴史と伝統を継承しながら、さらにこれから50年先、100年先の名古屋芸大を支える後援会を作り上げていく活動の先頭に立つ現役の会長として、重責に身の引き締まる思いがいたします。

菊井政右衛門
名古屋芸術大学後援会会長



■後援会は大学の発展支える重要組織

司会:

それでは竹本学長におうかがいいたします。学長にとって後援会とはどのような存在なのか、お話しいただけますでしょうか。

竹本義明名古屋芸術大学学長:

私が名古屋芸術大学の教員になったのは1989年(平成元年)で、今年で31年目を迎えます。

私は1972年に武蔵野音楽大学を卒業し、同年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団し、トランペット奏者とし

て17年間演奏活動に従事しました。

その間、スクールバンドやアマチュアオーケストラのトランペット奏者の指導を行ない、楽団内のメンバーでアンサンブル演奏活動も積極的に行ってきました。大学教員に



なってからは、トランペット実技、吹奏楽、オーケストラの授業を担当しましたが、2001年に音楽文化応用学科が開設されてから、音楽現場の経験があるということから、アートマネジメント関係の授業を担当することになりました。

後援会との関わりは2001年に音楽学部長の役職についてからになりますが、2010年4月に学長に就任してから頻繁に関わりを持つようになりました。

後援会は、大学のステークホルダー（利害関係者）と言われ、在学生、卒業生、そして教職員とともに大学を構成する関係者を指していますが、最近では、企業や地域社会までがステークホルダーとされています。

私にとって後援会とは、大学運営に対して貴重な意見を述べていただき、大学の発展を支えていただく存在と考えています。そのようなわけで、後援会は同窓会と共に、まさに車の両輪のように名古屋芸大を支えてくれる大変重要な組織であると考えています。これからもそのエネルギーな活動に大いに期待しています。



竹本義明
名古屋芸術大学学長

司 会:

川村理事長からご覧になって後援会とは何か、お話しください。

川村大介学校法人名古屋自由学院学院長・理事長:

簡単に自己紹介をさせていただきますと、私は、1996年（平成8年）に名古屋自由学院事務職員として採用され、経理課長、財務部長、総務部長を経て、2010年（平成22年）3月末に第2代学院長・理事長「川村科子」先生が退任されたことに伴い、翌4月1日に第3代学院長・理事長に就任いたしました。偶然にも、同時期に竹本義明先生が学長に就任されました。早いもので、今年で10年が経ちます。

従来、大学関係者というと学生と教職員と思われがちでしたが、時代の流れとともに保護者の皆様と大学との連携が必要不可欠なものとなり、共に学生生活を支援していく形へと変遷してきました。

理事長就任当初は、後援会の皆様と接する機会がございませんでしたが、数年前から後援会総会に参加させていただくようになったことから、少しずつ接する機会が増え、様々な情報交換をさせていただくようになりました。

嬉しさや驚きがありましたのは、卒業生の保護者の方々が合唱クラブ「せせらぎ合唱団」、絵画クラブ「壁の華」を立ち上げ、現在も活動しているとのこと。本学とのご縁がきっかけで、保護者の方々が芸術を楽しんでいる姿に、大学で芸術を学ぶ学生だけではなく、そのご家族や地域にまで深く浸透することを期待せずにはられません。

このように、後援会が大学の教育方針に共感してくださり、学生生活の充実のためにご支援をいただいておりますことを心から感謝申し上げます。

川村大介
学校法人名古屋自由学院
学院長・理事長



司 会:

それでは芸術学部長の萩原先生、お願いします。

萩原周学長補佐・芸術学部長:

私は今から20年前、ちょうど2000年4月に現在の芸術学部統合前のデザイン学部専任講師として着任致しました。その後学科主任、学科長を経て、現在は学長補佐、及び芸術学部長を仰せつかっています。教員としてはライフスタイルデザインコースに所属し、専門はデザインの方法論やデザインリサーチを含むデザイン学です。本日はどうぞよろしくお願い致します。

さて、私たち教員も、父母・保護者の皆さまと交流させていただいたおかげで、学生たちが本学の授業やその他大学が提供するサービスをどのように評価しているのかの正直なところを把握することができ、つつい見落としがちな点も含めて、いろいろな修正・改善に繋げることができていると大変感謝しています。また役職者として、こうして折に触れ後援会の皆様と直に接する機会をいただい

らは、保護者の皆様が如何に本学を信頼し、大きな期待を頂き、また日々応援していただいているのかを改めて強く感じることができ、大学として後援会の思いを真摯に受け取り精進すべきだという思いを強くしました。

私ども教員は、日常的に学生たちが自らの目標への期待と、これに向かって励むことの喜びをもって大学生活を送ってくれることを第一に活動していますが、これは大学を離れた学生たちを時に厳しく、時に優しく見守り、励ましてもらえる保護者の皆様との協働がなければ成り立たないことであることも、こうして後援会の皆様とお会いする度に感じることでございます。



萩原 周
 学長補佐・芸術学部長

司 会:

人間発達学部長の溝口先生、いかがでしょうか。

溝口哲夫学長補佐・人間発達学部長:

私が名古屋芸術大学でお世話になってから、はや5年目となります。それまでは30年以上にわたって小学校、中学校の教員を務めてまいりました。現在は、その経験を活かしながら豊かな人間性ととも、芸術的感性を備えた若き教育者・保育者を育てることに全力を注いでいます。

ところで、小中学校では児童生徒の保護者の方が中心となって組織されたPTAの皆さんのお支えがあってこそ、健全な子供たちを育成することができるということを実感として味わってまいりました。それと同じように、本学でも学生たちが充実した大学生活を送ることができることを目的にした「後援会」という組織が存在し、すばらしい成果をあげられていることに感銘いたしております。

大学生ともなれば、親元を離れて生活を送っている学生もいます。また、実家から通いながらの学生でも、親子でじっくりと話す機会は減ってくるものです。保護者の方がわが子の学生生活をより深く理解する機会を得るためにも、後援会の存在や活動はとても大きいと思います。



溝口哲夫
 学長補佐・人間発達学部長

■2021年ボーダレス改革から新たな飛躍へ

司 会:

名古屋芸術大学といえば BORDERLESS(ボーダレス)をスローガンに、2017年度から始まった大学改革を避け

て通るわけにはいきません。竹本学長におうかがいします。ボーダレス改革の核心とは何だったのでしょうか。

竹本学長:

大学を取り巻く社会環境が年々厳しくなる中で、名古屋芸術大学は将来に向けてその存在感を発揮すべく改革を進めてきました。社会と密接に結びついた大学としての役割を見据え、感性教育を通じて世の中に貢献することが私の願いです。

2017年に既存の「音楽」、「美術」、「デザイン」の各学部を集約し、「芸術教養領域」を新設し、芸術学部へ改組して各学問領域の壁を取り払い、ボーダレスなカリキュラムを設定しました。

学生は自身の専攻分野に加えて他の学部・領域の基礎分野も1年次から学ぶことができ、異なる分野や未知の領域に触れることができるシステムは、人が本来持つ可能性を格段に広げる環境につながると考えました。

例えばゲームの制作業界に進むとき、音楽制作に長けた人が併せてデザイン分野の映像を専門的に勉強していれば、活躍の場は大きく広がります。現代は様々なクリエイティブの現場で、ジャンルを超えたトータルな才能が求められる時代になっています。この改革は、学生の社会での活躍を大きく広げてくれると信じています。

2020年度はボーダレスの導入から4年目を迎え、WorldクラスのIdeaを身につけるワールドディア(WorIdea)と言う新たなプロジェクトをスタートさせ、アーティストや教育者を旨とする学生を支える「アート/エデュケーション」、語学教育によって世界で活躍できる人材を送り出す「グローバル」、教養と思考力を身につけ社会で活躍する「キャリア」の3つのセクションにより、活躍の舞台を無限に広げるプログラムを始めています。

司 会:

当時学長を補佐され、改革準備室長としてボーダレス改革を推進された萩原芸術学部長、いかがでしょうか。

萩原芸術学部長:

そうですね、今回の改革は、新たに掲げる、つまりBORDERLESSな領域横断性を獲得し、今後の社会の要請に応えるべく新たな総合芸術大学のかたちを獲得するための大きな挑戦でした。これはもとより本学が長年培ってきた教育文化を客観的に評価し、不要な部分は勇気を持って捨て、引き継ぐべきものを精査の上残し、不足する部分を新生させるという長く厳しい作業でした。この間、計画段階から新学部開設まで、必ずしも十分な時間はありませんでしたが、竹本学長の強いリーダーシップのもと教職員が一丸となり、並外れた集中力をもって取り組んだ末、あらゆる難局を乗り切れたという感があります。

さて、本年度芸術学部の完成年度を迎え、次年度この4年間を評価した上での新学則が、舞台芸術領域、デザイン領域の先端メディア表現コース、美術総合コースの新設をはじめとした美術領域の大改編とともにスタートします。ですので、BORDERLESSでスタートした改革は、「選ばれる大学」としての名芸大であり続けるため、尚も歩みを止めず進化し続けたいと覚悟を新たにしています。もちろんこ

ここでは後援会からの力強いエールとアクションも大いに期待するところです。

司 会:

それではこのボーダレス改革について学生・保護者の側から、菊井会長におうかがいします。

菊井会長:

うちの子どもが入学したのは2017年度、ちょうどこのボーダレス改革がスタートした年です。その前年、当時公立高校の芸術コースで美術を専攻する受験生だった娘は、夏のオープンキャンパスに参加して、そこでボーダレス改革に衝撃を受け、その場で名古屋芸大進学を即決しました。帰宅した娘からボーダレス改革について書かれたパンフレットを見せられ、この大学に行くことに決めたから、と言われて驚きました。

忘れもしません、「名古屋芸大グループ通信」Vol.35でした。竹本学長の巻頭メッセージ、それに続いて津田副学長と萩原学長補佐・改革準備室長(当時)の対談が掲載されていた号です。従来の大学教育の常識を覆す発想の転換、固定観念にとらわれない革新的な内容に、強烈なインパクトを受けました。じっくり読ませていただいて、私も娘の選択が間違いでないことを確信し、名古屋芸大進学に賛成しました。その日以来私は大の名芸ファンになりまして、とうとう応援団長にまでなっていました。(笑)

司 会:

受験生であったお嬢様だけでなく、保護者である現在の菊井会長ご自身もボーダレス改革の思想に触れられて、強烈なインパクトを感じられたと。

菊井会長:

そうです。開学から50年、名古屋芸大は竹本学長のヘゲモニーのもと、教育の危機を逆にチャンスに転化し、BORDERLESS (ボーダレス)を旗印に、芸術系3学部の縦割り組織を解体し、新たに芸術教養領域を加え、1学部1学科4領域24コースに融合再編するという組織制度改革、そして芸術の基礎教育であるファンデーションのカリキュラムマネジメントも含めて、とてつもない大改革を断行されたわけです。

これに対して歴代の後援会執行部は、教育の危機が叫ばれ後援会活動の低迷を危惧する声が聞かれる中であっても、現状改革への熱意は乏しく、将来を見通すビジョンを欠き、活動方針もテーマもないままに、毎年同じ行事のくり返しだけで1年が過ぎていく、という状態が続いていました。

大学がパラダイムシフト(革命的転換)を遂げつつあるのに、後援会は古い殻に閉じ籠ったまま微動だにしない。組織は形骸化し活動はマンネリ化していく中で、これはもう限界だ、誰もやらないなら自分で変えるしかないと思腹をくりました。

後援会3年目を迎えた2019年度総会で、現在の理事会役員メンバーのご支持を得て会長に選出されました。それを契機に後援会の民主的運営と組織基盤の再建整備、役員意識改革と資質向上を重点課題とし、後援会の組織と



活動の全分野にわたる構造改革の実行に全力で取り組んでまいりました。

■大学と家庭をつなぐ懸け橋として

司 会:

理事長からご覧になって、後援会50年の歴史の中で、後援会の存在の意義、あるいはどのような功績があったのか、お話しいただけますか。

川村理事長:

後援会には、学生の就学環境の整備や奨学支援など、学生生活充実のために多大なるご支援をいただいております。また、保護者と大学との懸け橋となり、大学教育の実情をご理解いただくとともに、ご子女の教育に関する意見交換や就職相談などの機会を通じて、大学と家庭との交流ができています。

大学は、そこに関係する者だけではなく、保護者や地域など多くの方々との関係を深め、また、支えられて存立する時代です。後援会の今後の形として、ご子女の卒業後も後援会の会員として在籍していただくことや、ご子女が本学の学生でなくとも、本学を応援したいと思っていただける方にも会員となっていただくことを可能にするなど、従来の枠にとらわれない形があってもいいのではないかと考えます。

司 会:

学長はいかがお考えですか。

竹本学長:

学長になってから、後援会の事業計画に基づいた定期総会への出席、年6回の理事会、そして大学の卒業式、入学式の折に役員の方にお会いすることがあります。また、演奏会、展覧会、芸大祭など多くの機会でお会いしお話をさせていただいています。

私からは年2回発行される後援会報への挨拶に加え、後援会理事会で大学の現状報告をさせていただいています。

毎年秋に実施される研修会では、宿泊を伴うこともあり、後援会の皆様から在学生や社会の動向を踏まえた貴重な意見を伺っています。そこでは、大学内で進められる社会とかけ離れた常識や非効率的な運営を見直す良い機会となっています。

萩原芸術学部長:

私たち教員は普段、授業を介して学生と向き合っていますが、先ほども少しお話ししましたように、父母・保護者の皆さまとお話することで、学生たちが本当に我々の提供する教育や大学生活全般についてどう評価しているのかが、いつもとは違った観点で気づかされることが多いこと、またこれは当たり前のことですが、私たちが考える以上に、保護者の皆様がお子様を通う大学に対して大きな関心をもって見守って頂いているのだという意識は、我々大学側にとって、良い意味でのプレッシャーとなる、といったことがあると思います。

そうしたことから、保護者の皆様には、既に平日頃より本学教育に対して直接、間接を問わず熱いご協力を頂いている訳ですので、それだけに我々は保護者の皆様に対して、さらに一層大学についての情報を開示する機会を充実させるべきかとも感じています。

せっかくご縁があってお子様を、それも「芸大」という少しワクワク感のある所へお預けいただいている訳ですので、ひとりでも多くの保護者の皆様にもさまざまな芸術表現に触れて頂ける機会を増やせれば良いと思っています。そうして広がる交流の中で、学生自身はもちろんですが、保護者の皆様にも大学への信頼感を一層高めて頂き、「名芸ファン」となって名芸ブランドの証人となって頂ければ、これほど嬉しいことはありません。

溝口人間発達学部長:

昨年度まで保護者の方からのご要望もあり、毎年11月末から12月初めにかけて、学部保護者懇談会を行っていま

す。本当に遠方からわざわざお越しいただいたり、ご両親と一緒に参加していただくなど、私ども教員にとりまして大変貴重な時間となっています。

事前にお聞きになりたいことを伺ったうえで、所属するゼミ担当教員が中心になって懇談させていただいています。やはり、学修状況のことや卒業後の進路のことについての内容が多く、わが子と共通の話題ができ、さっそく家に戻って本人を交えて話をしたいとおっしゃりながらお帰りになられます。今後ともご要望がある限り続けてまいりたいと思っています。

**■新型コロナ「緊急事態宣言」と名芸大
司 会:**

それにしても名古屋芸術大学が開学50周年、後援会も創立50周年のおめでたい年を迎えた2020年、まさかの新型コロナウイルスによるパンデミック(世界的大流行)が発生し、このような事態になろうとは、誰も予想しえなかったと思いますが、これに対する大学の反応は非常に素早かったですね。

川村理事長:

開学50周年記念式典・祝賀会、学部領域別のイベントの準備等については、竹本学長にお譲りするとして、私の方からは、新型コロナウイルス感染拡大防止及びこれに関連する理事会の「特別措置」について、ご説明申し上げます。

2020年(令和2年)2月頃から、新型コロナウイルスに関する報道が連日されるようになりました。3月には感染がさらに拡大し、より深刻な状況が予想されたため、卒業式に後援会役員の方を含め来賓をご招待せず、簡素化して実施し、入学式は中止しました。4月7日に東京、大阪をはじめ一部の地域で緊急事態宣言が発令され、その直後に新型コロナウイルス感染拡大を防止するため学院に「危機対策本部」を設置し、感染拡大防止のための情報収集及び対策方針の一元化を図りました。

大学では、年度初めに行う履修登録やオリエンテーションなどを取りやめ、教育職員及び勤務が可能な一部事務職員に在宅勤務を命じました。同時に、パソコン等に詳しい大学院生などの協力を得て、オンライン授業の準備に着手しました。そのため、5月連休明けのオンライン授業導入は大きな混乱もなく、スムーズに移行できたと認識しております。

5月下旬、後援会会長菊井様からの要請により、理事会の「特別措置」として全学生を対象に一人一律5万円の奨学金を支給いたしました。また、他芸術系大学の授業に関する情報を収集しながら、感染予防対策を講じた上での対面授業の準備を進めました。6月以降は、対面授業とオンライン授業が並行して行われております。

現時点では、本学院での新型コロナウイルスの感染者は発生していませんが、今後、更なる感染拡大が予想されるため、7月24日に「危機対策本部」を再び設置し、感染拡大時には、早急に対応できるよう体制を整えております。

竹本学長:

新型コロナウイルス感染症拡大前には、開学50周年記念事業として、記念式典・祝賀会そして学部領域別のイベ



ントが企画されていました。収束が見えない現状では、劇場ホールの利用が制限される中で、オペラ公演や展覧会「Future and Past」、人間発達学部のフェスティバルや芸術教養領域のアーツ&サロンを中止としました。

そのような中で東キャンパス交流テラス整備事業と記念誌作成は継続して実施します。記念誌は、歴史や記録を残す年史ではなく、現在社会で活躍している、活躍していく本学に関わる50人に「過去×今×未来」を語っていただく内容で作業を進めています。

菊井会長:

後援会では2020年5月の定期総会と同日に、「創立50周年記念式典・祝賀会」を挙行することを決め、早々と「実行委員会」を立ち上げました。それでこの1年、式典・祝賀パーティーの準備万端を整えて、予定会場でリハーサルもやりました。ご来賓や後援会員の皆様方に招待状をいざ発送しようという段になって、緊急事態宣言と自粛要請の直撃を受けました。結局、定期総会の通常開催は断念し、急遽書面表決に切り替えました。総会と祝賀行事をセットにして丸1年、心血を注いで準備に没頭してきただけに、本当にかっかりしました。実行委員長として、断腸の思いで開催中止の決定を下しました。

司 会:

理事長のご発言にありましたが、今回の緊急事態に際しては、後援会には随分頑張っていたとお聞きしました。

菊井会長:

緊急事態で最初に遭遇したのは、経済的理由からオンライン授業に必要な機器を自分で準備できずに困っている学生がいたことです。アルバイト収入を絶たれて学業の継続そのものが困難化しつつある学生の存在も表面化しました。また時期的に前期授業料等の納付時期と重なったため、収入減で家計が逼迫し、支払いに苦慮されているご家庭の状況も次第にわかってきました。それと4年生の就活問題です。私も子を持つ一人の親として、保護者団体である後援会の代表として、これは看過できない、喫緊に対処し解決すべき非常事態だと判断しました。例え一人の学生でも経済的理由からオンライン授業が受けられないとか、コロナのために学業を断念するようなことがあってはならない、奨学金でも職探しでも何でも八方手を尽くして必ず助けてやるから、それまで絶対にあきらめないで頑張ってもらって、という切羽詰まった気持ちでした。それですぐに行動を起こしました。具体的には、①オンライン授業実施のための環境整備、②授業料の一部返還、③授業料等学納金納付期限の延長、④緊急事態宣言下での就活支援をお願いするという、四項目からなる「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援

を求める申し入れ書」を一気に書き上げて、大学に提出しました。(本誌65頁に関連記事。)

司 会:

それに対する大学の反応はいかがでしたか。

菊井会長:

大学からは、パソコンやWi-Fiルーター等のオンライン授業に必要な機器を準備できない学生のために無償貸与することが発表されました。学費納入も個別事情に則して柔軟に対応していただけることになりました。キャリアセンターからは全力で就活支援をするから何でも相談してくれという緊急声明が出されました。極めつけは、「名古屋芸大開学50周年記念式典・祝賀行事」の全てを取り止め、総額1億数千万円の資金を「学校法人名古屋自由学院奨学金」として、ひとり一律5万円を全学生に支給していただいたことです。川村理事長・竹本学長のご英断に、学生も保護者も本当に感激しました。この場をお借りして、全保護者を代表して改めてお礼を申し上げます。



■ オンライン授業と「withコロナ」新時代における大学教育の展望

司 会:

新型コロナウイルスに関連してもうひとつ是非おうかがいたしたいのは、オンライン授業についてです。対面授業と比較してオンライン授業には当初から賛否両論があり、ご心配もあったかと思われそうですが、両学部長におうかがいいたします。実際に現場でオンライン授業をおやりになってみて、いかがでしたでしょうか。

萩原芸術学部長:

オンライン授業に関してといいますと、当初は音楽、美術、デザインといった実技教育を主眼とする芸術学部において、果たして教員と学生が対面できないというオンライン授業が成立するものなのかという懸念が大きいのし掛かりました。しかしながら、先に菊井会長が話されました後援会からの熱い働きかけ、大学執行部の英断、これに応えた事務サイドによるスピード感ある計画策定、実施手配によ

て、大きな混乱なくオンライン授業の導入にこぎつけることができました。それでも実技授業を在宅の学生とのやり取りで成立させるには、それまでの非常識をあらゆる知恵によって常識に変えるぐらいの新たな試みが必要でした。例えば、時間芸術として演奏は、オンラインが頼みとする情報の送受信環境の脆弱性、不安定性は致命的となります。また色彩、素材感、かたちのニュアンスの評価は、条件の異なるモニターを通してのやり取りの限界もあつたはずですが、しかしながら、それぞれ長年その専門に携わってきた教員たちの知恵は、それらの欠落や不安を例えば他の方法や表現に置き換えることで、在宅の孤独な学生たちを仮想ながらも自分たちのキャンパスへと集わせることができましたと思います。私もデザインの実技授業をオンラインで開講していました。そこでは確かに対面授業で当然に実施できなかったことができない不自由さ、もどかしさはありましたが、一方で画面を切り替えて、オンラインでの学生の作業進捗報告やこれに対する助言指導のやりとりは、何か新しい学生との協働作業感があり、不幸にして採用したオンライン授業でありながらも、今後につながる新しい発見も多くあつたように感じています。

溝口人間発達学部長:

人間発達学部の学生は、講義形式の座学が多いため、一部実習関係の授業や演習科目を除いてすべて前期はオンライン授業で学びました。そのため、一度も直接教員と顔を合わせることもなく終えた学生もいて、特に一年生にとっては新たな学生生活のスタートをこの様な状況で気の毒に思いました。

また、免許・資格取得に必要な実習が一部中止になったり、後期の実習期間の短縮を余儀なくされたりして、今後その分の補充をどのようにするかで頭を悩ませているところです。

オンライン授業に関して学生たちに話を聞いたところ、最初は戸惑うことも多くあつたけれど、すぐに慣れたそうです。慣れてみれば、通学の時間を自分の好きなことに使うことができ、それなりに自分の生活を充実させるかことができたとも聞きました。特に、これまでやろうと思ってもできなかった語学の勉強や、新たな趣味にも挑戦し始めたと言っている学生もいます。でもやっぱり授業の内容が頭に入りにくいことや、友達と一緒に学ぶ楽しさを思うと、一刻も早く元の生活の戻ってほしいというのが本音のようです。

司 会:

そうですね。ずっと「自粛」で自宅や下宿の籠城生活ではストレスもたまりますし。では、オンライン授業を受ける学生の側からご覧になって、保護者の立場から、後援会長はどんなふうにお感じになりましたか。

菊井会長:

うちの子どもはデザイン領域なんですけど、オンライン授業はもちろん初めての体験です。最初は不安もあつたようですが、実際にやり出したら取り越し苦労といえますか、若い者は適応

が早い。楽しみながら前向きに取り組んでいました。オンライン授業は結局のところ、学生自身のやる気と自己管理能力の問題に帰結します。メリットとしては、通学不要で自宅にいますから、溝口人間発達学部長のお話の中にありましたように、生活に時間的余裕ができた。やる気さえあれば勉強はどんどんできます。バイトもできます。うちの娘は変わり種かもしれないけど、祖父や現在中学校で数学教師をしている兄の影響からか、最近では記号論理学の専門書を読んだり、証明できたら1億円ゲットとか言って「ミレニアム問題」と格闘しています(笑)。デメリットとしては、やる気がない学生はサボり放題になり、取り残されていく。その意味で学力格差を生むリスクは高い。それにオンライン授業も万能ではありませんから、当然限界もある。特に実技が重視される芸大ではなおさらです。スタート直後は画面が映らないとか音が出ないとか、多少のトラブルや失敗もあつたようですが、先生も学生も初めてやることですから、戸惑って当たり前。想定範囲内です。両学部長のお話をうかがいながら、ご苦労に頭が下がりました。それでも芸術学部には音響や映像の専門家が揃っていますから、難なくクリアできたと思います。今ではハイブリッド授業(講義重点のオンライン授業と実技系対面授業の組み合わせ)で全面的に改善されてきたと感じています。6月に大学で「オンラインオープンキャンパス」の放送現場を拝見しましたが、なかなかどうして堂に入った出来ばえでした。コロナ禍によるオンライン授業の導入は、今後の日本の教育の在り方を変える重要な契機になるだろうと考えています。(本誌45~46頁にオンライン授業関連記事。)

司 会:

ラインネットワークを使った会長発信の「後援会ニュース」でも、オンライン授業が話題になっていましたね。昨年会長は名芸大の提携姉妹校であるイギリスのブライトン大学に出張されましたが、海外のオンライン事情はどのような具合なのでしょう。

菊井会長:

そもそも通信教育はイギリスのいわゆる「ロンドン大学」を嚆矢(こうし)とします。1858年に始まり、既に162年の歴史があります。いまはパソコンを使ったオンライン授業ですが、美術やデザインはいうまでもなく、例えばアメ



リカの名門パークリー音楽大学では楽器演奏もダンスパフォーマンスも当たり前オンライン授業(通信教育課程)があり、世界中の学生が国境を越えて学んでいます。クラシックの名門ジュリアード音楽院でも一部オンライン課程があります。日本とは違って、欧米ではオンラインで大学を卒業しても就職差別はありません。費用は通学課程の何十分の一で済み、医学部以外なら、ハーバード、スタンフォード、オックスブリッジ、ロンドン大といった世界の超名門大学ですら、オンライン授業だけで学士号や修士・博士号まで取得できる豊富なコースが用意されています。ちなみに日本の芸術系大学では、武蔵野美大、京都芸大(旧京都造形芸大)、大阪芸大に通信教育学部があります。

■未来への挑戦

司会:

それでは最後に、後援会の今後について、お一人ずつお聞かせ願えますでしょうか。

川村理事長:

異例の事態であるコロナ禍において、芸大後援会と大学との関係は、より親密になったと感じております。引き続き、更なる教育の充実と発展とご子女の実りある学生生活を願い、大学との懸け橋としてのご支援を賜りたいと存じます。

竹本学長:

大学の将来は、社会との乖離を理解し、教員と学生の意識の差異を埋める事で実現できると考えています。充実した教育環境と学生生活環境を実現するため、後援会の皆様には引き続き大学の発展のため、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

萩原芸術学部長:

本日は、菊井会長からいろいろお話を伺い、影に日向に本学を応援頂く後援会の存在を今更ながらにありがたく感じました。今後とも後援会の皆様とは、これまで通りの風通しの良い関係を維持しつつ、形式的な関係を超え、我々の至らぬ点、耳の痛いことなども含め、奇譚なくお話しいただけるようよろしくお願い致します。本日はどうもありがとうございました。

溝口人間発達学部長:

今後とも後援会の皆様の活動を通して、保護者の方との連携をより深めながら、学生一人一人の支援を教員一同全力で取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

菊井会長:

理事長ご指摘の通り、後援会は発足から今日までの長い歴史の中で、大学とご家庭をつなぐ懸け橋の役目を果たしてきました。

創立から50年の歴史を検証し、次の創立70周年を旨とした中期ビジョンの策定を提案します。テーマはズバリ「未来への挑戦」です。昨年度会長就任に際して私は、名古屋芸大を必ずや「学生満足度ナンバーワン」、「全国芸大(美大・音大)のトップ校にする」ことをマニフェストに掲げました。勢いのある大学は例外なく強い後援会が支えています。本年度も引き続き、パワフルな後援会作りを目標に活動します。われわれ保護者の力、後援会の力が学生と大学を育て、発展させる原動力となるものと確信しています。名古屋芸大の輝かしい未来に向けて挑戦する後援会の先鋒として、勇往邁進していく決意です。

司会:

川村理事長、竹本学長、萩原芸術学部長、溝口人間発達学部長、そして菊井後援会長、本日は大変有意義な意見交換ができたことに感謝します。特に菊井会長からは最後に力強い決意表明までいただきました。これからもますます名古屋芸大を盛り上げていくことができるよう、新しい後援会のあり方を皆様と共に追求し活動してまいりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。



(写真撮影=後援会事務局 高倉 唯)



会長 菊井 政右衛門
〔デザイン領域 4年生保護者〕

会長は会務を統括し、後援会の舵取り役を務めます。2019年5月、会長に就任して以来、古い後援会からの脱却をはかり、フルブーストで改革路線を突っ走って参りました。皆様のご支持を得て今回2年連続の登板となりました。2020年、後援会は創立50周年を迎えました。年明け早々の初仕事は新型コロナウイルスとの戦いから始まりました。学生たちの命と生活を守り、芸術教育を通じて国家社会に貢献し得る有為の人材の輩出を目指し、総力を挙げて学生と大学を支援してまいります。何ごとにも言実行、実績で応えます。後援会員の皆様方の倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長（総務委員長） 矢野 章子
〔音楽領域 3年生保護者〕

日常的に会長を補佐し、必要な場合は職務を代行します。菊井会長が提唱する後援会改革を推進し、後援会の民主的運営と組織の強化拡大をはかります。新型コロナウイルス感染症拡大で混乱した大学の早期正常化を全力で支援します。



副会長（会計） 佐藤 実奈子
〔人間発達学部 4年生保護者〕

本業は会社の経理担当役員です。会計役員の増山氏と協力し、予算案の編成及び提議を行うとともに、本会の全ての収支を正確に記録保管し、必要に応じて収支を報告するほか、定期総会に監査を経た前年度の決算を報告します。



監事 山内 正春
〔美術学部卒・2018年度会長〕

監事は前年度会長が就任します。後援会総会で決定された諸事業が適正に執行されているか監督し、意見を述べます。菊井会長の再任と新執行部の発足に伴い、私も監事留任となりました。更なる後援会改革の前進に期待します。



会計監査 池野美鈴(左)・小嶋史子(右)
〔デザイン領域 4年生保護者〕

後援会の会計を監査し、定期総会において監査結果を報告します。会員の皆様からお預かりした大切な会費の使途について、1円1銭に到るまで、間違いないか、適正か、徹底的にチェックする会計部門の“お目付け役”です。



サークル委員長 石黒 和広 (広報担当理事兼任)
〔デザイン領域 3年生保護者〕

後援会とサークル(『絵画グループ 壁の華』、『せせらぎ合唱団』)の連携強化と活動の活性化をはかります。現在新型コロナウイルス感染症拡大で大学構内立ち入り規制中のため、両サークルともに練習ができません。早期再開を目指して頑張ります。



〔総務委員会〕



柏木司・柳沼章子・矢野章子・池田和由・荻須紀子

〔事業委員会〕



浦野直行・佐藤昭子・森愛子・小池真紀子



全員集合



副会長（事業委員長）森 愛子
〔音楽領域 3年生保護者〕

後援会改革の重点課題である理事会メンバーの意識改革と資質向上を目的とする研修会や各種イベントの企画運営に取り組みます。また毎年恒例の、芸術探究と親睦を兼ねた後援会と大学教職員合同の研修旅行も担当しています。



副会長（広報委員長）酒井 伊紀
〔音楽領域 4年生保護者〕

「後援会報」の編集発行を担当します。創刊は1986年。今では後援会の“顔”といわれるまでに立派に成長しました。50周年を機にフルカラーで表紙デザインも一新。大学とご家庭を結び、読みやすく愛される「会報」作りを目指します。



書記 民田 靖典
〔デザイン領域 3年生保護者〕

書記は、総会・理事会の開催を通知し、議事を正確に記録保管するとともに、事務一切の処理を行います。また「後援会報」のバックナンバーや後援会活動の記録を整理・保存し、次の世代に引き継いでいくのも重要な仕事です。



会計 増山 勝之
〔デザイン領域 3年生保護者〕

後援会改革の重点課題のひとつに資金調達能力の強化があります。今回の会則改正で、企業賛助会員の募集が始まりました。企業会員による後援会への財政支援は、アーティスト育成、大学の教育・研究活動支援に大きく貢献します。



就活支援特別委員長 増山 勝之（会計担当役員兼任）
〔デザイン領域 3年生保護者〕

新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態下で、就職活動は困難を窮めています。大学のキャリアセンターと連携し、就活支援に取り組みます。元リクルート勤務で、キャリアコンサルタントの国家資格を持つ人材教育、就職・採用のプロフェッショナルです。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員長 菊井 政右衛門
〔デザイン領域 4年生保護者〕
(会長兼任)

新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態を受け、学生も保護者も先が見えない不安な毎日を送っています。全国の大学動向や最新情報をアトランダムに収集・提供し、直面する危機的状況の打開に向けた提言をおこないます。

2020年度後援会役員・理事 全員集合!



〔広報委員会〕



石黒和広・小林幹尚・酒井伊紀・江上友加里 (橋本博文)

〔会長・監事・監査・会計・書記〕



佐藤実奈子・小嶋史子・山内正春・菊井政右衛門・増山勝之・池野美鈴 (民田靖典)

後援会入門 — ミニ事典 —



■後援会の成り立ち

名古屋芸術大学後援会は、1970年（昭和45年）、大学開学と同時に設立された「父母の会」を始まりとします。10年後、「父母の会」を「名古屋芸術大学学生生活後援会」（1980年）に改組し、その後「名古屋芸術大学学生後援会」（1996年）、「名古屋芸術大学後援会」（1998年）、「名古屋芸術大学・大学院後援会」（2013年）と4度の名称変更を経て、2020年度定期総会で再び「名古屋芸術大学後援会」と改称して現在に至ります。

■後援会の目的

後援会の「目的」は会則第2条に定められています。

ちなみに後援会の設立当初は、学生たちの大学生活の支援と大学との連絡を主たる目的としていました。しかし時代の変遷と大学の発展に伴い事業内容も見直され、現在では機関誌「後援会報」の発行（1986年、タブロイド版の新聞形式で創刊）、学生の福利厚生、研修活動、教育・研究活動助成、国際交流、教育懇談会の充実、奨学金援助、課外活動援助、就活支援等を中心に多岐にわたる事業展開を行っています。後援会の、「大学とご家庭をつなぐ懸け橋」としての役割は、ますます重要なものとなっています。

■後援会の基本的立場

後援会は常に不偏不党・公平中正を旨とします。後援会はいかなる政治的イデオロギー、宗教思想、特定の団体や個人の主義主張にも与（くみ）せず、支配されることもありません。立場は常にニュートラル（中庸）です（『後援会ニュース』No.3）。

■後援会の組織と運営

本会の会員は正会員（学部と大学院在学生の保護者）、OB・OG会員（顧問）、賛助会員（協賛企業など）から構成されています。（会則第4条）

総会・理事会は会長が招集し（会則第9条）、会長、副会長、監事の他20名前後の役員と理事から構成されます（会則第5条）。決算・監査、及び年度予算案・事業計画等の重要事項を企画立案し、総会での審議を経て事業を実施します（会則第10条）。

事業を実施するため、総務委員会・事業委員会・広報委員会の3つの常置委員会があります（会則第13条1～3項）。

また本年度から会則が改正され、サークル委員会、就活支援特別委員会、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会の3つの特別委員会が新しく発足しました（会則13条後段）。

各役員・委員会の職務分掌については「後援会だヨ！全員集合」（本誌15～16頁）をご参照ください。

■後援会の主な事業

後援会の主な事業は次のとおりです（会則第3条）。

1. 支援事業

教育・研究支援、課外活動援助、学内の環境整備や福利厚生の充実を目的とした学生福利厚生援助、国際交流支援、就職活動など、学生生活を多方面からバックアップしています。また現在は一時停止している後援会独自の奨学金制度も、条件が整えば運用を再開する方向で検討を進めています。

2. 広報事業

「後援会報」（年2回）を発行しています。「後援会報」は前期（9月）と後期（3月）の2回に分けて、後援会事業の報告をはじめ、大学の様子や課外活動での学生の活躍等をお知らせしています。学生と保護者に必要なお役立ち情報が満載です。創刊は1986年。今では後援会の“顔”といわれるまでに立派に成長しました。50周年を機に編集方針も体裁も一新。フルカラーで生まれ変わりました。大学とご家庭を結び、読み易く愛される「会報」作りを目指します。

3. 研修事業

後援会改革の重点課題である理事会メンバーの意識改革と資質向上を目的とする研修会や各種イベントの企画運営に取り組んでいます。芸術探究と親睦を兼ねて実施される後援会と大学教職員の合同研修（旅行）も毎年1回、実施しています。

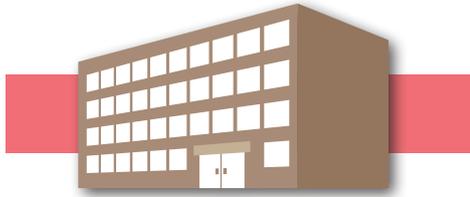
■後援会事務局

後援会事務局は東キャンパス12号館に置かれ、専従職員が業務処理に当たっています。（平日9:00～17:00、土日祝休み。）



歴代の「後援会報」。一番右が創刊号。（本号が5代目になります。）

名芸大入門 — 保護者編 —



■名古屋芸大は面白い!

近年、大学全入時代と言われる中で、みんなが行くからといった理由にもならないような理由で、目的意識が希薄なまま進学する大学生が全国で問題になっています。そのオトナ版が、教育に無関心な保護者の存在です。

今日から芸大生、ではなくて、「今日から名芸大生の保護者」となった後援会員の皆様、こんにちは。名古屋芸術大学後援会会長の菊井政右衛門です。

私たち名芸大生の保護者(学年に関係なく)にとっていま一番必要なことは何でしょうか。それは名芸大を知ることです。名芸大がめざす目標や教育方針をしっかりと理解し、見識を深め、一緒に学んで行こうとする姿勢を持つことが大切です。

1. では何から始めるべきでしょうか。まず真っ先に、『**大学案内**』をお読みください。『大学案内』は文字通り名芸大の総合案内です。名芸大の入門書として、これ以上のものではありません。

2. 次に『**名古屋芸大グループ通信**』や『**後援会報**』を読むことです。これらは保護者である私たちが定期的に入手できる第1次資料であり、名芸大生と保護者にとって必要な大学情報が毎号掲載されています。

3. 中でも特筆すべきは、『**名古屋芸大グループ通信** Vol.35 (2016年4月28日発行)』です。

(1) そこには、竹本義明学長の巻頭インタビュー「大学改革の狙い、名古屋芸術大学学長に聞く」と、それに続いて、津田佳紀副学長と萩原周学長補佐・改革準備室長(現芸術学部長)による対談記事「改革準備室、担当教授2人に聞く」が掲載されています。

(2) この2つの記事は、名芸大**BORDERLESS (ボーダレス) 改革**の理念と目的、改革の基本戦略など、名芸大が目指す新しい教育と大学像を初めて対外的にまとめた形で明示した、いわば名芸大改革のマニフェストともいえるべきものであり、全名芸大生と保護者、受験生、全教職員必読の最重要文献です。

(3) 発行から既に3年以上が経過し在庫も底をついているようですが、幸いインターネットで全文を読むことができます。「名古屋芸術大学ダウンロードサービス」と入力してください。バックナンバー(PDF)が読めます。

4. またYouTubeにアップされている沢山の動画は、名芸大および学生たちの広範囲にわたる多種多様な活動を手取り早く知る上で大変役に立ちます。動画は新旧多数あります。授業風景やキャンパスライフなど、取捨選択しつつ、楽しみながらご覧いただけます。



「大学案内」(左) 「名芸大グループ通信」Vol.35(右)

5. さらに名芸大芸術学部各領域、および人間発達学部が実施する**コンサート、展覧会、各種イベント**に保護者が積極的に参加することで、大学と芸術が一層身近な存在となります。

(1) 名芸大は「地域社会との連携」、「地域に開かれた大学」を目指し、北名古屋市と交流提携を締結しています。

(2) 私は昨年6月、名芸大の提携姉妹校であるイギリスのブライトン大学グランドパレード校に出張する機会を得ました。私はそこで、ブライトン大学と地域社会(行政・学生・保護者・市民・地元協賛企業など)が一体となった本物の「開かれた大学」を実地に見聞し、大きなインパクトを受けて帰国しました。

(3) この時の貴重な体験は「出張報告書」にまとめて後援会に提出しました(2019年度第1回役員・委員会で配布済み)。「後援会報」第67号にはダイジェスト版が掲載されています。

■**イベント情報は、大学のホームページで公表されています。**

〔名芸大ホームページ〕

<http://www.nua.ac.jp/index.html>

〔NEWS & TOPICS〕にある「**イベントカレンダー**」、「**ニュース一覧**」、「**総合**」のいずれかをクリックし、ページをご覧ください。「総合」からは更に芸術学部各領域、および人間発達学部の行事の中身がわかるようになっています。

■**名芸大ラインに「お友だち登録**」することでイベント情報が送られてくるサービスも利用できます。

■**規模の大きなイベント**だとチラシ等が作られる場合があります。コンサートや展覧会など、**チラシやパンフレット**は東西両キャンパスの事務室に沢山置いてあります。お子様を通じて、どなたでも自由にお持ち帰りいただけます。

2020年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会(書面総会)

新型コロナウイルス感染症拡大によって緊急事態宣言が発せられ、感染拡大防止と安全確保を第一優先とするため大学では立ち入り規制が敷かれ、当初5月に開催予定であった後援会定期総会は、学内開催が不可能となりました。

そのため後援会長は5月14日、会計担当役員と監査役及び監事の出席を求めて2019年度決算・会計監査を実施し、5月23日、学外に第6回役員・委員会を招集し、2020年度後援会定期総会を郵送による「書面総会」として実施することを決定しました。

書面総会で審議した結果、(1)2019年度事業報告、(2)2019年度決算報告及び監査報告、(3)名古屋芸術大学後援会会則の改正(p.68参照)(4)2020年度役員改選案、(5)2020年度事業計画案、(6)2020年度予算案の全てが承認されました。

1. 書面審議期間 令和2年6月22日～令和2年7月5日
2. 会員数 2,118人
3. 回答数 501人
4. 審議結果

各議案の議決は名古屋芸術大学後援会会則第11条を準用し、「総会は回答会員で成立し、議事は回答会員の過半数をもって議決する」を原則とします。

第1号議案 2019年度事業報告について

2019年度事業報告について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 500人 ・反対 0人 ・未記入 1人

第2号議案 2019年度決算報告及び監査報告について

2019年度決算報告及び監査報告について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 484人 ・反対 0人 ・未記入 17人

第3号議案 名古屋芸術大学後援会会則の改正(案)について

名古屋芸術大学後援会会則の改正(案)について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 500人 ・反対 0人 ・未記入 1人

第4号議案 2020年度役員改選(案)について

2020年度役員改選(案)について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 484人 ・反対 0人 ・未記入 17人

第5号議案 2020年度事業計画(案)について

2020年度事業計画(案)について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 500人 ・反対 0人 ・未記入 1人

第6号議案 2020年度予算(案)について

2020年度予算(案)について、回答を集計した結果、賛成過半数により原案どおり承認されました。

・賛成 481人 ・反対 2人 ・未記入 18人



総会資料の発送準備作業

2020年度 名古屋芸術大学後援会 役員・理事

役員	氏名
会長	菊井 政右衛門
副会長(総務委員長)	矢野 章子
副会長(事業委員長)	森 愛子
副会長(広報委員長)	酒井 伊紀
副会長(会計)	佐藤 実奈子
会計監査	池野 美鈴
会計監査	小嶋 史子
書記	民田 靖典
会計	増山 勝之
監事	山内 正春

(特別委員会)

サークル連絡委員長=石黒和広(兼務)
就活支援特別対策委員長=増山勝之(兼務)
新型コロナウイルス感染症対策特別委員長=菊井政右衛門(兼務)

理事	氏名
理事(総務副委員長)	荻須 紀子
理事(事業副委員長)	小池 真紀子
理事(広報副委員長)	江上 友加里
理事(総務)	柏木 司
理事(総務)	池田 和由
理事(総務)	柳沼 章子
理事(事業)	佐藤 昭子
理事(事業)	浦野 直行
理事(広報)	石黒 和広
理事(広報)	橋本 博文
理事(広報)	小林 幹尚

(注)理事については7月18日開催の後援会第1回理事会で承認されました。

2019年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月 日	事業内容	役員	委員	開催場所
5月19日(日)	2019年度後援会定期総会／定期総会事前打合せ	○	○	東キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金（後援会費）振替 前期分			
5月下旬～ 6月上旬	イギリス、ブライトン大学グラデュエイトショウ 後援会会長他大学関係者参加	○		イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付			
6月22日(土)	第1回役員・委員会	○	○	東キャンパス
7月20日(土)	第2回役員・委員会	○	○	西キャンパス
9月	後援会報第67号発行			
10月5日(土) ～6日(日)	後援会研修旅行	○	○	
11月2日(土) 芸祭期間中	第3回役員・委員会（顧問含む）／芸大祭参加	○	○	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金（後援会費）振替 後期分			
1月18日(土)	第4回役員・委員会	○	○	学 外
2月22日(土)	第5回役員・委員会	○	○	東キャンパス
卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式（会長）	○	○	西キャンパス
3月19日(木)	卒業式参列（会長・副会長）			不参加
3月	卒業記念パーティ（会長はじめ役員）	○		中 止
4月上旬	後援会報第68号発行			
4月1日(水)	入学式参列（2019年度会長・副会長）			中 止
5月14日(土)	2019年度会計監査（2019年度監査・監事）	○		東キャンパス
5月23日(土)	第6回役員・委員会	○	○	学 外
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業を実施しました。 ○：役員・委員の参加。（参加が義務ではありません。）			

2020年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月 日	事業内容	開催場所
6月上旬	法人より委託徴収金（後援会費）振替 前期分年度	
7月5日(日)	2020後援会定期総会（書面総会）	
7月上旬	後援会より補助金一括交付	
7月18日(土)	第1回理事会	東キャンパス
9月	後援会報第69号発行	
10月	後援会研修旅行	中 止
10月31日(土)	第2回理事会（顧問含む）／芸大祭参加（中止）	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金（後援会費）振替 後期分	
1月16日(土)	第3回理事会	学 外
2月20日(土)	第4回理事会	東キャンパス
卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式（会長・役員・理事）	西キャンパス
3月18日(木)	卒業式参列（会長・副会長）	学 外
3月18日(木)	卒業記念パーティ（会長・副会長）	学 外
4月上旬	後援会報第70号発行	
4月1日(木)	入学式参列（2020年度会長・副会長）	西キャンパス
4月17日(土)	2020年度会計監査（2020年度監査2名）	西キャンパス
4月17日(土)	第5回理事会	西キャンパス
備 考	以上の他にも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業を行う予定です。	

■ 2019 年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2019 年度予算	2019 年度決算	差 異	備 考
前年度繰越金	3,476,328	3,476,328	0	
会 費 収 入	23,356,000	22,786,000	570,000	
特別会計より組入	0	0	0	
受 取 利 息	100	93	7	
手 数 料 他 収 入	13,600	15,500	- 1,900	クリアーレ協賛金
合 計	26,846,028	26,277,921	568,107	

支出の部

単位：円

科 目	2019 年度予算	2019 年度決算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	44,276	55,724	
旅 費 ・ 交 通 費	250,000	288,000	- 38,000	
会 議 費	350,000	332,894	17,106	
事 務 費 ・ 用 品 費	0	0	0	
弔 慰 費	100,000	25,000	75,000	
涉 外 費	150,000	113,473	36,527	役員出張手当等
事 務 職 員 人 件 費	0	0	0	担当派遣職員
事 務 運 営 費	850,000	546,825	303,175	
(総務関係合計)	1,800,000	1,350,468	449,532	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,436,147	63,853	
卒 業 生 を 送 る 会 補 助	400,000	400,000	0	
学 生 自 治 会 補 助	600,000	600,000	0	
国 際 交 流 補 助	1,000,000	670,711	329,289	
公 開 講 座 補 助	3,600,000	3,248,204	351,796	
役 員 研 修 費 補 助	500,000	451,560	48,440	
(事業関係合計)	21,600,000	20,806,622	793,378	
広 報 活 動	1,500,000	1,300,484	199,516	広報誌
広 報 誌 郵 送 料	600,000	462,626	137,374	
(広報関係合計)	2,100,000	1,763,110	336,890	
定 期 総 会 運 営 費	500,000	310,340	189,660	
予 備 費	846,028	0	846,028	
次 年 度 繰 越	0	2,047,381		
合 計	26,846,028	26,277,921	568,107	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,501,503	1,501,503	0	
雑 収 入	150	129	21	
合 計	1,501,653	1,501,632	21	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,653	1,501,632	21	
合 計	1,501,653	1,501,632	21	

(2) 学資貸付金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
前年度繰越金	18,104,783	18,104,783	0	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	2,200,000	1,061,644	1,138,356	
雑 収 入	150	158	-8	利息
合 計	20,304,933	19,166,585	1,138,348	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	過払い返済手数料
次年度繰越金	20,304,933	19,166,585	1,138,348	
合 計	20,304,933	19,166,585	1,138,348	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,237	2,134,237	0	
雑 収 入	20	18	2	
合 計	2,134,257	2,134,255	2	

支出の部

単位：円

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,257	2,134,255	2	
合 計	2,134,257	2,134,255	2	

■ 2020 年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

1. 一般会計

収入の部

単位：円

科 目	2020 年度予算	2019 年度予算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,047,381	3,476,328	- 1,428,947	
会 費 収 入	24,268,000	23,356,000	912,000	4月1日現在 新入生588人 在学生1,432人 大学院生54人
特別会計より組入	4,500,000	0	4,500,000	学資貸付金会計
利 息	100	100	0	普通預金
手数料他収入	15,500	13,600	1,900	事業協賛金
合 計	30,830,981	26,846,028	3,984,953	

支出の部

単位：円

科 目	2020 年度予算	2019 年度予算	差 異	備 考
通 信 費	100,000	100,000	0	
旅 費 ・ 交 通 費	300,000	250,000	50,000	
会 議 費	350,000	350,000	0	
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	150,000	150,000	0	役員出張手当等
事 務 運 営 費	850,000	850,000	0	事務用品・機器・人件費等
(総務関係合計)	1,850,000	1,800,000	50,000	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,000,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,000,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	各学部10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	800,000	1,000,000	- 200,000	
公開講座補助	3,600,000	3,600,000	0	
役員研修費補助	600,000	500,000	100,000	
開学50周年記念事業寄付	4,000,000	0	4,000,000	
後援会賞・功労者表彰	300,000	0	300,000	
(事業関係合計)	25,800,000	21,600,000	4,200,000	
広 報 活 動	1,700,000	1,500,000	200,000	広報誌、封筒補充
広報誌郵送料	600,000	600,000	0	
(広報関係合計)	2,300,000	2,100,000	200,000	
定期総会運営費	500,000	500,000	0	総会案内、返信用ハガキ、 イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	380,981	846,028	- 465,047	
合 計	30,830,981	26,846,028	3,984,953	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	1,501,632	1,501,503	129	
利息	130	150	- 20	
合計	1,501,762	1,501,653	109	

支出の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,762	1,501,653	109	
合計	1,501,762	1,501,653	109	

(2) 学資貸付金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	19,166,585	18,104,783	1,061,802	
学生貸付金返済金	1,000,000	2,200,000	- 1,200,000	
利息	160	150	10	
合計	20,166,745	20,304,933	- 138,188	

支出の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
学生貸付金	0	0	0	
一般会計へ資金繰入	4,500,000	0	4,500,000	
次年度繰越金	15,666,745	20,304,933	- 4,638,188	
合計	20,166,745	20,304,933	- 138,188	

(3) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
前年度繰越金	2,134,255	2,134,237	18	
利息	20	20	0	
合計	2,134,275	2,134,257	18	

支出の部

単位：円

科目	2020年度 予算	2019年度 予算	差異	備考
記念事業等	0	0	0	
次年度繰越金	2,134,275	2,134,257	18	
合計	2,134,275	2,134,257	18	

名古屋芸術大学近況報告

芸術学部芸術学科音楽領域

■ 声楽コース

後援会の皆様には、日頃より多大なご理解とご協力をいただき深く感謝しております。

声楽コースでは、4年間の教育を通して「人の心を魅了する歌声を探求する」ことを目標としています。

新型コロナウイルス感染症の拡大にもかかわらず、本年度、声楽コースでは多くの一年生を迎えることができました。しかし、大変残念なことに入學式も行うことができず、授業の開始も大幅に遅れることになり、この大変厳しい先の見えない状況の下に、学生も教員も不安な日々を過ごしていました。

それでも5月中はオンラインで、6月からは対面でのレッスンがようやく可能になり、音楽を生で感じることができ、改めて笑顔で元気に歌えることの素晴らしさを噛みしめています。

7月21日には、今年で5年目を迎える西文化小劇場との連携オペラコンサートのオーディションが行われました。共に地域の文化発展に力を合わせて連携していこうという趣旨の下に、オーディションに合格した学部生と卒業生によるオペラ「フィガロの結婚」「魔笛」、オペレッタ「こうもり」「メリー・ウィドウ」を演奏します。公演は11月14(土)、15日(日)ですので、ご期待くださいますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの今後の行方は予断を許しませんが、大学は感染拡大を防止するための対策に努めており、手洗いやレッスン室のアルコール消毒の励行はもちろん、空気清機や声楽用に特別の大きな飛沫防止ビニールシートを設置して、常に窓は開放してサーキュレーターをフル回転させ換気も十分行うなど、万全を期しています。

そんな大学のウィルス飛沫対策やレッスン風景を、東海テレビに取材(7月14日)していただき、その様子は7月22日に放映されました。



また7月28日には、中京テレビの番組「ゴリ夢中」のなかで、オペラの授業や声楽のレッスン風景を取材していただき、声楽コースの楽しく熱い授業風景を伝える良い機会に恵まれました。(9月5日に放送予定)



逆境のなかでも懸命に、また楽しそうに学ぶ学生の豊かな表情が、テレビで放映されたことで、音楽教育の素晴らしさの一端を視聴者の皆様にお伝えすることができたのではないかと思います。

秋以降には、特別客員教授として日本を代表するソプラノ佐藤美枝子先生と、コレパティツアーの浅野菜生子先生をお迎えして公開レッスンを行います。

声楽コース恒例の「歌曲の夕べ」は2021年1月30日(土)に行います。

コロナ禍の中、今できることを教職員一同の力を合わせて取り組み、生徒により良い学びの場を提供することが、大学の社会的責任であるとして努力したいと思います。

一日も早く平穏な日々に戻り、音楽が自由に奏でられる日が来ることを願っています。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

声楽コース 教授 松波千津子

■ 鍵盤楽器コース ピアノ

今年度前期は思いもよらぬ形でのスタートとなりました。大学では、1対1の個人実技レッスンや講義等、様々な形態の授業がありますが、6月までは全ての授業がオンラインで行われました。コロナウィルスのために、教員も学生も出校できず不便な事もありましたが、「オンライン」という非常に便利な手段を有効に取り入れていく、いい機会であったと考えております。7月からは、レッスン室内に2台あるピアノの間にパーテーションを置いたり、鍵盤消毒をしたり、様々な対策を講じながら徐々に対面の授業が開始されました。

ピアノコースでは、コロナ対策のために取り入れた「オンライン」を、普段の行事でも活用していけたらと、まずは「オンラインオープンキャンパス」の準備を進めています。高校生が自宅からより気軽に参加することができる点や、遠方にお住まいの方にも参加して頂きやすくなる点、また遠方で社会人として活躍する卒業生にも、オンラインなら気

軽に話を聞く事ができる点等、オンラインならではのメリットを多く取り入れ、開催する予定であります。我々にとっても非常に楽しみな試みの一つです。この他にも演奏会や講座の配信等、今後もオンラインを有益な手段としていけたらと思案しています。

又、昨年度より特別客員教授としてご指導下さっております、横山幸雄先生、上原彩子先生の講座や個人レッスンは、今年度も引き続き行われ、学生にとって非常に貴重な経験となっています。秋からの同窓会特別演奏会、定期演奏会等で、その成果を存分に発揮して欲しいと願います。卒業生や学内より選抜された学生の演奏会、皆様どうぞ、お聴き頂きますよう心よりお願い申し上げます。

鍵盤楽器コース(ピアノ) 講師 戸田 恵

■ 鍵盤楽器コース(電子オルガン)

教員、大学スタッフ、そして何より、主役の学生達にとりまして受難と申して良い2020年度の始まりとなりました。特に新入生(おかげさまで専科で4人、総合で3人、電子オルガンの単位8に学生が加わってくれました…)の身になれば、その気持ちは察して余りあるものがございませう。やむを得ずとは申せ、入学式もオリエンテーションもなく、2ヶ月遅れて前期、しかもいきなりオンラインで開始。そして誰もが、命を守ることを最優先しながらも、とにかく前に進むといった姿勢で諸々に臨んだ結果、当初は見えてきづらかった「前期末」が見えてまいりました。勿論、タイミングだけの話ではなく、レッスンと授業を積み重ねてきた結果、今後の展望すら含めた手応えをもって前期を終える事が出来そうです。実技、授業とも13~14回という不足状況はレポート課題、作品創作で補いました。特にレポート課題は学生達に有名でない音楽作品(私の自作ソナチネ全3楽章)を聴いてもらって、各々にストーリーを創作してもらいました。これはなかなか面白い収穫があり、我々音楽家にとっては知識よりも想像力というものが高貴なものだという当然のことを再認識しました。ウチの…と敢えて言わせていただきますが…若い学生達の発想とイマジネーションは実に面白いです。

電子オルガン関係の科目は7月には全てオンラインからスクーリング(対面形式)になったことは幸いでした。それにいたしましても、新入生を含めた学生達の対応力も特筆すべきことです。素直と申せば素直なのですが、オンラインで進めている授業・レッスンにおいても「吸収の手応え」と申して良いものを豊かに感じる事が出来、それにつきましては大いに諸氏を称賛したいと思います。

さしあたり問題は学生同士の「コミュニケーション」不足と申せませう。特に新入生と彼女らの先輩学生。時勢から歓迎コンパ等は遠慮すべきですし…。4年生が気を利かせてくれて、学生全体のライン・グループ(教員は敢えて入らず…)などに新入生を招き入れ、声掛けもして頂いてはいるのですが…。私側の策の一つとして、コロナ対策も含めて次のような話にいたしました。即ち、毎年12月の電子オルガンの定期演奏会「アースエコー」を10月に時期をずらして、全員参加とし、学年混同のアンサンブルを編曲して(2曲)

演目としました。これにより、練習機会には互いに顔を合わせ紹介し合えたりもして、少しは助けになった気もいたします。因みに本番は、10月2日(金)午後6時から本学講堂にてYouTube配信の公開録画という形でソロ、コラボ、アンサンブルの演目をもって行われます。

私と共に学生達の為に働いて頂けてる非常勤講師、内村華緒理先生、伊藤幸代先生はどちらも経験豊かで、人物的にも大いに信頼のおける指導者です。学生に対するケアも女性ならではのキメ細やかです。4月の時点でズームによる在學生との学年ごとの全体ミーティング、オンライン授業展開に向けてのGoogleアプリを使ってのリハーサルを兼ねた勉強会を企画/実施も、両先生方によるところが大きく、大いに感謝をしてる次第です。

希望や展望の諸々が見えづらい時代において肝心なことは、見えぬこともプラスにイメージし、目の前の見えていることにベストを尽くし確実に歩みを進めていくことだと思っております。実践してまいります上で私は、これ以上ない学生達と同僚に恵まれ、大学スタッフの方々からも大きなご協力(特にコロナ対策の徹底ぶりは新聞TVなどのマスメディアにも取り上げられておりますね…)を得られ、幸せ者であることを、ここに謹んで皆様にご報告させていただき、拙文をしめたいと思っております。後援会の皆様におかれましては、重ねまして大事の及ばせんことをお祈り申し上げます。

鍵盤楽器コース(電子オルガン) 教授 鷹野雅史

■ 弦管打コース

今年度はコロナ対策をどうするかという事から始まりました。既に昨年度の終わり(3月中旬~下旬)から流行の兆しが見えてきた事を受け、感染リスクのある卒業演奏会や学期末のオペラ公演といった類のものは軒並み中止、更に卒業式までも中止という前代未聞の事態になりました。その後国からの緊急事態宣言が発令されると共に、4月の頭に予定されていた入学式も中止となってしまいました。新入生にとっては大学生活に期待を膨らませていたところ、まさかの事態になってしまった事に大変驚き、また戸惑ったと思っております。最終的に授業が再開されたのは5月13日となりましたが、この間私たち教員は今後授業をどのように行っていくか話し合いを重ねていました。特に実技系(レッスン)に関しては、対面で行う事で色々細かいアドバイスが出来る為オンラインでは難しいという意見がありました。ただ4~5月の時点では対面によるリスクの方が高い事から、オンラインによるレッスンに決定しました。ただ自分も含め今までやったことが無かった先生が多く少々困難をきわめましたが、先生どうしの意見交換や情報共有で何とか乗り切ることが出来ました。6月からは1対1のレッスンに関しては全面対面となり今に至りますが、これを執筆している現在(8月5日)他大学においてクラスター発生という事案が多く聞かれますが、当大学では罹患する学生が出てきていない状況なので、このまま前期の授業が終わる事を祈っています。

現在合奏やレッスンでの感染予防対策として、透明な

ビニールシートによる衝立や空気清浄機を使用しています(写真1、2、3)この取り組みを先日朝日新聞・毎日新聞・共同通信が取材に訪れ、また東海テレビのニュースでも放送されました。



まだまだ予断の許さない状況が続きますが、弦管打コースとしては演奏会や公開講座等極力行えるように、感染予防対策を徹底して万全の体制でやっていく所存です。皆様には何卒ご理解を宜しくお願い申し上げます。

■ サウンドメディア・コンポジションコース

本コースの学生は、音楽制作・録音・音響を学びながら、新しい時代の音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考え、作品制作に取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染が世界的に拡大し、前期の授業スタートは、5月13日から、オンラインで始まり、その後、本コースの音楽制作、録音、音響の専門科目は6月から隔週で対面授業が始まり、7月からは毎週対面授業となりました。この期間で、教員、学生は、オンラインで得られること、また、対面しなければ得られないことを体感しました。そして、一堂に会して音楽を演奏したり、聴いたり、また、音楽を共に学ぶ意義を感じることができました。

本コースは、このコロナ禍の中、5月よりデザイン領域メディアデザインコースと共同で、「1MinProject」という1分で起承転結する音と映像の作品の共同制作プロジェクトを行っています。現在も引き続き制作中で、今後、作品をWebページで公開する予定です。(写真1は7月9日に東西キャンパスをzoomで結び、本コース学生とメディアデザインコース学生がミーティングした時の模様)



また、7月29日に本コース学生と音楽総合コースで学ぶ

学生が集まり、コロナ対策をしながらコースミーティングを行いました。今年度、1年生は、計41名(コース学生17名、音楽総合コース生24名)が本コース科目を受講していますが、多くの学生が2から4年の学生と初めて対面し、自己紹介を行い、今後のコースの活動を確認しました。(写真2)



本コースでは来る2021年2月12日(土)、本コース学生が、現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら、映像や照明の演出表現を加え、アートと音楽の有機的結合をめざすコンサート、「カレイドスコープ」を本学2号館大アンサンブル室で行います。今年度はYouTubeでライブ配信も行う予定です。これからも引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

サウンドメディア・コンポジションコース 准教授 長江和哉

■ ミュージカルコース

昨年7月に前任の森泉博行教授が急逝され、悲しみの中で始まった後期授業でしたが、他コースの先生方のご助力も多大にいただき、特段大きな混乱も無く無事に終えることができました。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、政府から各種イベントの自粛要請が出される直前の2月19日には、名古屋市芸術創造センターにて森泉先生の遺作であるオリジナルミュージカル『フェアリーテイルズ』を卒業公演として上演することができました。演出家不在の中、学生と講師陣が一丸となって作品を作り上げ、本番では学生達の熱演により、ご来場いただいたお客様にも大変お喜びいただけた様です。



そして今年度より、私と家田めぐ美講師が常勤となり新体制のミュージカルコースがスタートいたしました。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、混乱のスタートとなりま

したが、学生一人ひとりの特性に合わせた歌唱、演技、ダンスそれぞれの技術の向上に重点を置き、また、これまで以上にミュージカルという分野の理解を深め、学生達に演じることの喜びを伝えていくことにより、さらに魅力的なコースとなるよう努めてまいります。ミュージカル公演においても、海外の作品にも目を向けて積極的に取り入れていきます。今年度はルイス・キャロルの名作「不思議の国のアリス」を元に、イギリスの作曲家Paul Boyd氏がミュージカル化した『ALICE the Musical』を2021年2月9日(火)～10日(水)にダブルキャストで2公演、本学3号館ホールにて上演いたします。お時間ございましたらぜひ足をお運びいただければ幸いです。そして新しくなったミュージカルコースをご支援よろしく願いいたします。

ミュージカルコース 准教授 塚本伸彦

■ エンターテインメントディレクションコース

新年度を迎えようとしていた昨年度末、新型コロナウイルスの感染が広がっていく状況に恐怖を覚えながら、入学式をはじめとした新しい年度のスタートをいつも通り切ることができないのではないかと、不安を抱える毎日でした。

通常は、実際の機材に触れながら学習する授業(「演習」と呼んでいます)の多いエンターテインメントディレクションコース(エンタメコース)にとって、在宅でのオンライン授業が果たして成り立つのだろうか…。教員も学生もこの様な不安を抱えながら、新年度のスタートを切ることになってしまいました。



入学式やオリエンテーションも中止となり、緊急事態宣言も発令され先行きが見えない状況のなか、本学事務方ではオンライン授業の準備を着々と進め、短期間でシステムを構築。教員は「オンライン授業の進め方」のオリエン

テーションを、学生達は新年度のオリエンテーションをそれぞれオンライン受け、形の上では在宅での授業が始められる状況になんとか漕ぎ着けました。

5月18日。この日を皮切りに、オンライン授業が開始されました。しかし、いざ始めてみると、パソコンの設定の問題でうまく授業に入ってこれない学生や、Wi-Fi環境の違いで、授業の途中で回線が切れてしまう学生が続出。授業初回はこの問題を個々に解決していくための対応に終始してしまい、教員、学生双方とも不慣れな環境に戸惑いながらの滑り出しとなりました。

試行錯誤を重ね、なんとか軌道に乗ったオンライン授業を5月、6月と行ってきましたが、演習授業では相変わらず機材に触れないまま。学生達のイライラが伝わってくるようでした。

その様な状況下、緊急事態宣言が解除され、7月からは一部対面授業が可能となりました。

エンタメコースの多くの授業でも対面授業が復活。学生達の生き生きとした表情が目に見えてきました。

学生達が通うようになったキャンパスには、いつも通りの笑い声や楽器の音。息を吹き返したかの様な毎日の中、7月31日(金)には、エンタメコース特別授業を実施しました。

今夏の特別授業は、劇作家、演出家で仮面ライダーシリーズ、スーパー戦隊シリーズの脚本をはじめ、ミュージカル「黒執事」、2.5次元ミュージカルなどの多くの作品を手がけられている毛利巨宏氏をお迎えして、舞台に関する様々なお話をしていただきました。当日は新型コロナ感染防止対策で、時間短縮、人数制限を行い、たった2コマでの授業となってしまいましたが、「2.5次元ミュージカルに関わる仕事に就く場合は、どこの会社に入るのが良いのか。」など、学生からの具体的な質問が飛び交っていました。



8月に入り、新型コロナ感染拡大第2波とも言われる状況の中、エンタメコースの学生達は、予定されている各コースの公演を前に、感染防止策の立案に頭をひねらせています。通常行われている防止策のみならず、不可能とされていることをなんとか可能にできないかと、私の研究室に集まり、ミーティングを重ねることもしばしば。そんな彼らを誇らしく思いつつ、一日も早いコロナ感染症の収束を

願うばかりです。

エンターテインメントディレクションコース 准教授 金子靖

■ ポップス・ロック&パフォーマンスコース

コロナの影響で心配された対面授業はいつから始まるのー？

待ってました。7月1日より講義以外は、いろいろ安全対策を講じての対面授業開始!

特に合奏IIIⅢⅣ(セッション)のバンドの音出し、先生も生徒さんも元気いっぱいここにこのスタートです。これまでのオンライン授業での個人レッスンの成果が出てスムーズなスタートを切ることが出来たのと今年度初めてのバンド形態ということで、ノリノリで楽しい授業が進んでいきます。合奏IIIⅢⅣ(セッション)のクラスは6クラス、栗木先生(ロック・ポップス)元気いっぱいのロックバンド多数、じゅんこ先生(ポップス・ジャズ)ボーカルコーラスが素晴らしい。林先生(ジャズ・ポップス)ジャジーで心地よいサウンド。山下先生(ジャズ・ラテン)繊細で少し民族性が感じられる面白さ。荒川先生(ラテン・ポップス)ミュージカルの経験とラテンの楽しさ。渡邊先生(ファンク・ジャズ・ポップス)とにかくファンキーで楽しい。

ジャンルには柔軟な対応をしてくださる先生方ばかりで、NUAステーション(発表会)を目指してたくさんのバンドでライブステージが繰り広げられます。2020年前期は、8月13日(木)3号館大ホールでの発表!音響・舞台・照明にはエンタメ・サウンドの生徒さんたちをお願いしていつもプロ顔負けのステージを作ってくれます。今回もオリジナルからカバーまでそれぞれの先生の色も出しつつ、いろいろなジャンルの曲が飛び出します。



ノリノリのNUAステーション!いまからとても楽しみにしています。

ポップス・ロック&パフォーマンスコース 教授 渡邊則夫

■ アートマネジメントコース

アートマネジメントコースは、文化施設を主なフィールドとして、文化政策や企画制作、施設運営の分野で活躍できる人材、つまり“プロデューサー”、“ディレクター”となる人材の育成を目指し、理論と実践のバランスをとりながら教育活動を行っています。大きな特徴は、数多くの「現場」に恵まれ、実践的に学ぶ環境が整っていることです。

しかし、今年度は新型コロナウィルスの感染拡大による非常事態宣言下で、通常の対面での授業ができない、不自由な学びを余儀なくされたスタートでした。オンライン授

業や、オンラインでのミーティングなど、教員と学生がともに手探りしながらの努力を積み重ねながら新年度を進めてきました。創意工夫しながら進めてきた試みも含めて、ご紹介いたします。

・4年生

学生は、4年間の集大成である卒業制作公演と卒業論文の準備を、就活と両立させながら過ごす時期ですが、今年の卒業制作公演は、各地で劇場公演が軒並み中止になる中で具体的に企画立案していかなければならないという難しいスタートでした。それでも学生たちの思いは熱く、10月24日に春日井市文化フォーラムにて「三遊亭志う歌落語会」を開催する運びとなりました。一般のお客様を対象にした初めての有料公演で、クラウドファンディングにも挑戦します。暑い夏も頑張っています。



卒業論文は、興味関心のあるテーマを自分で選択し、批判的思考で論理的にまとめていく作業ですが、そこに独自性を折り込めるように、思いを言語化することの難しさを味わいつつ、悪戦苦闘中です。



愛知県芸術劇場ツアー(大ホール)

・3年生

今年度は、「オンライン授業に関する調査研究を教員チームから依頼された」という設定で、事業評価の仕方を

学んでいます。量的調査と質的調査を経験していますが、実は質問項目を作るという作業が、思っていた以上に難しいことを実感しているようです。人の感じていることや、それがどんな理由によるものなのか、そういったことを考えながらの事業評価は、様々な人の思いを咀嚼する作業かもしれません。

そして、来年度の卒業制作の準備になるように、ということで、制作業務やマーケティングについての学びを積んでいます。いったい世の中では何がどのような理由で売れているのかということ、身近な生活用品や食品から見据えようとしています。



授業風景

・2年生

1年生の文化政策の学びから、アートマネジメントの学びに一步進みました。アートをマネジメントするとはそもそもどういうことなのか、といった根本的なことも考えています。そして、昨年に引き続き、大学発の地域貢献事業「音楽の森」の企画制作をしています。今年はベートーヴェンの生誕250周年。ベートーヴェンの人生を調べ、彼の人となりやエピソードを調べ、その上で、楽しく、子どもたちの心に残るようなワークショップを考えています。夏休み返上で、それぞれが頑張ることと思います。

・1年生

1年生は、2年生以上で迎える様々な実践や学びについての基礎を徹底的に身につけています。文化政策の基礎、制作の基礎等々です。毎週の小テストにも真剣に挑み、きっと大きな力になっていくことと期待しています。座学が多いのですが、とにかく仲が良いために、対面授業が始まってからはワイワイと楽しくやっています。

各学年のイベントを先輩後輩が手伝うことも多々あるアートマネジメントコース。恒例となった月1回のランチミーティングも継続しています。三密を避けるためにまだ全員が一堂に会することはなくZOOMでの開催ですが、少しずつコミュニケーションを取っています。

このようにアートマネジメントコースは、手探りしながらも充実した学びを継続できるように前期を過ごしてきました。今後とも、ご父兄の皆様にはご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

アートマネジメントコース 教授 梶田美香

■ 声優アクティングコース

声優アクティングコースは、今年で3年目となりました。

今は3年生が16人、2年が28人、1年生が42人と、徐々に人数も増え、活気のあるコースとなっています。また講師陣も、アニメ音響監督、声優、歌手、ナレーター、声楽家、

ダンサー、殺陣師など、全て現役で活躍されている方達を揃え、バランスの良い、充実した授業を行っています。来年度にはさらに、外画のアフレコの授業も行っていきたいと思っています。

さて、今年度はコロナ禍という、思いもかけない状況となりましたが、そんな中でも講師陣は、工夫を凝らしたオンライン授業や、ソーシャルディスタンスを保った対面授業を行って下さり、そこに新しい可能性を感じる事ができました。私自身、オンライン授業だからこそ、対面するより繊細に学生達の声を聞き、より細かな指導ができた事は、新しい発見でした。またこの期間、声優コースでは、新たな試みを実施する機会がありました。まず、西キャンパスの学生がオリジナルで作成したアニメーションに、声優コースの生徒達が声を吹き込み、アニメーションの完成形を作り上げる事ができました。その制作過程では、アニメーションを制作した生徒を監督とし、キャストはオーディションで選び、スタジオで音響監督の私が演出をした、まさにプロの現場と同じ経験ができたのは、生徒達にとって大変良い経験になったと思います。



さらに先日、名古屋造形大学からあるオファーが来ました。それは、5人のアニメのキャラクターにラップを歌わせ、その5人を2次元のアイドルとして売り込んでいくという授業を行うので、そのキャラクターの声をオーディションで選びたいと、名芸の声優コースにもオファーが来たものでした。

今回、声優コースの1年と2年から15人の生徒を選び、その選ばれた生徒達は、自分でオーディションの台詞と歌を録音し、パソコンから応募するという、自らオーディションに臨んでいく姿勢を学べる、良い機会となりました。結果は、色んな学校からの応募があった中、5人のキャラクターすべて名芸の生徒から選出されるという、思いもかけない良い結果となりました。

今後もこのようなオーディションの機会をどんどん増やし、生徒達がお互いに切磋琢磨できるコースにしていきたいと思っています。

声優アクティングコース 教授 平光琢也

■ 音楽ケアデザインコース

今年度は、新型コロナウイルスの世界的流行という思いもよらぬ社会状況の中での新学期の幕開けを迎えました。卒業式は何とか行えたものの、4年生を送る会、入学式などすべての行事は中止となり、さらには授業自体の開始もあと倒しになるという教員にとっても学生にとっても前代未聞の事態となりました。

本コースでは、1年次から学外での活動を組み入れて授業を展開しているのですがそれらもすべて中止となりまし

芸術学部芸術学科美術領域

新型コロナウイルス感染防止のため、前期の授業は5月中旬～6月下旬まで、登校禁止となり、オンライン授業を行う初の試みとなりました。

洋画コースでは、2年生から4年生まで共通課題として「バッドタイミング」と題し、現在の状況を踏まえ、人を異なった生活環境に置くこと、違和感、環境の変化などをキーワードに、異物なもの同士を組み合わせるという題目で、自宅にいながら制作できる技法や素材で制作を行いました。オンライン上で教員がアドバイスを繰り返しながら、コラージュ、写真、映像、アニメーションなど、新たな手法にチャレンジした作品が数多く生まれました。



成果展「バッドタイミング」の搬入の様子

7月から対面授業が開始されてからは、学内Z棟1階にあるギャラリー「HEIGEN」にて、オンライン授業での優秀作品から選抜された成果展を行いました。自宅で制作した作品を実際の空間で展示するために展示方法の工夫や、空間と作品の関係性を考察しながら、グループ展をつくる過程を実践的に実習することができました。会期中は、ソーシャルディスタンスを保ちながら、アーティストトークを行いました。

コロナ禍において、これまでの活動が思い通りにはいかない現状ですが、オンライン授業を通じて、状況に柔軟に適用していく力を身につけていくことで、新たな創造性を生み出す機会となりました。



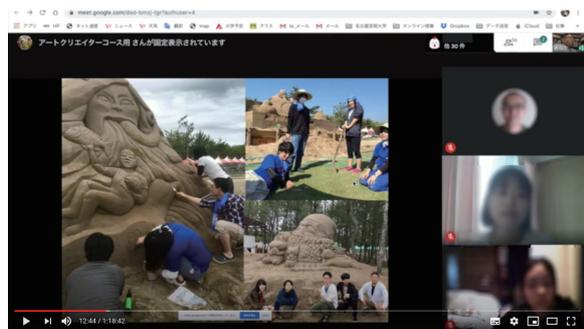
ソーシャルディスタンスを保ったアーティストトークの様子
撮影:田村友一郎

日本画コースでは、この特異な社会状況の中に於いて学生たちに有益な授業を行う為オンラインによる制作指導を実施いたしました。下図スケッチ、進路就職などの相談、と日々の制作進度や悩みを細やかに確認し、一人一人にコメントや画像を届けることにより、個々の学生の個性を損なわない授業形態を作ることができた様です。登校日にはオンラインでは伝えきれない部分、1年生に向けた素材解説や念紙作りなどを行い、基礎となる知識習得と制作準備の機会を設けました。



1年生に向けた素材解説の様子

アートクリエイターコースでは毎年OHOCと呼ぶ特別講義を年間30回以上実施しています。OHOC(オーホック)は、「One Hundred and One Creators101人のクリエイター」の略で、作家、デザイナーだけでなく様々なクリエイターを招き、在学中の4年間に社会で活躍する100人のクリエイターに出会うことで学生たちが少しずつ自分の未来を意識し、卒業時には自分が101人目の「クリエイター」になる意識を持たせることを目的として行っています。しかし今年度はコロナの影響で講義に人が集まることを避けるためにオンラインで合計8名のクリエイターに特別講義を実施しました。手探りでの実施であったため、例年の特別講義の半分の実施数でしたが、海外や仕事場から講義をしてもらったり、他の領域の教員、学生も講義に参加がしやすくなって受講者が増えたり、オンラインであることのメリットを発見でき、今後のオンライン活用の可能性も感じられました。



特別講義の様子(パソコン画面)

美術領域主任 松岡徹

芸術学部芸術学科デザイン領域

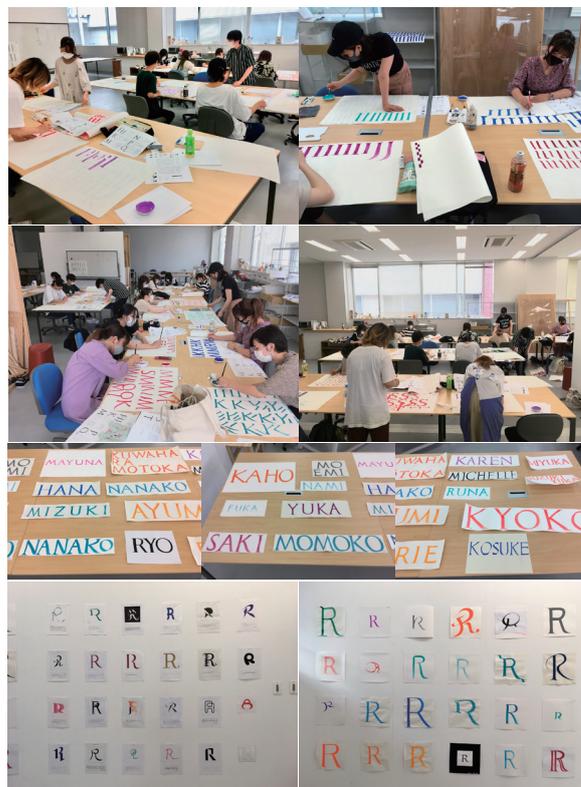
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置として、今年度は、入学式中中止し、5月13日から全ての授業がオンラインの形式で開始されました。教員は、講習会を受けオンラインでの授業運営を学び、学生は不自由な日常生活を送りながら、次々と配信されてくるデータと格闘しながらのスタートでした。6月からは、一部の実技授業が対面で行われ、3密を避けながらの工房での作業が可能になりました。その後徐々に解除されていく方向にはありますが、完全に元の状態戻ることはないのではないかという状態が続いています。まさにこの苦境を乗り越えるアイデアを出すこともデザインの役割だとは、言うてはみたものの、ものづくりはなかなか思うように進まず、誰もが本当に苦労した前期でした。そんな中、それぞれの環境の中で、試行錯誤しながら、製作に取り組んだ成果を、各コースの活動報告としてまとめました。

■ファンデーション

例年、前期期間は新生にとり大学生活の始まりにあたり、新たな友人との出会い、新たな学問との出会いの時期ですが、今年は様子が大きく変わりました。入学式や、ファーストイヤー・セミナーをはじめとした行事は中止を余儀なくされました。授業はオンラインからスタートし、慣れない環境に拍車をかけるようでした。6月からは一部対面実技授業が始まりましたが、普段のように学生たちが交流することは難しかったのではないのでしょうか。教員も200人規模の実技授業運営と感染防止の両立、そして学生に苦労を強いることに晴れない気持ちを抱えた前期期間でした。そんななか、何とか無事に前期を終えることができたのも、学生たちの頑張りのおかげでした。どんな環境でも制作に打ち込む姿は心強さを感じました。デザインとは現在を読み解き、次の時代に向けて新たな価値を投げかける活動です。まさに、時代の大きな変化を大学入学の節目に体験することとなった一年生にとって、自身の体験をどう捉えるかが大切になってくると思います。時代が動くとき、必ず新たな価値観が必要となってきます。まさに次の時代を担う学生たちがいま何を感じ、どう価値を紡いでいくのか、これからの4年間で共に議論し、考え、創り出していきたいと思ひます。

■ビジュアルデザインコースからの報告

●2年生の授業としては、通常コンピュータの習得に充てる授業を変更し、学生を半分に分け、デジタル演習とカリグラフィーの授業を行いました。カリグラフィーは、アルファベットの原型であるローマンキャピタルを手書きで行うもので、オンラインやコンピュータでの制作が主だった学生がいきいきと作業する姿に、こうした手作業での製作体験の必要性を感じました。難しい状況ではありますが、後期のカリキュラムの中に活かしていきたい。



●産学連携プロジェクトとして、名古屋高速50周年記念事業、50周年記念ロゴマークと橋脚ラッピングアートに取り組みました。ロゴマークは応募作品の中から、荒木香奈子さんの作品が選ばれ5月に正式に発表されました。また、高速道路の橋脚を彩るラッピングアートは、モチーフが2026年に名古屋で開催される「アジア競技大会」と決まり、数名がプロジェクトを組んで制作にあたりました。このプロジェクトに関するの広報活動（ラジオ取材など）にも参加し、自ら生み出したデザインの意義を感じる嬉しい体験となりました。



●3年生25人が「今後の社会から必要とされる商品やサービスは何か？」をテーマにブランディングの授業を行い



ました。コロナ禍の状況で大半がオンラインでのグループディスカッションに費やされましたが、この状況もこれからのデザインと社会を考えるきっかけとして授業に取り込み、4つのグループがコンセプトからCI、プロダクト、パッケージ、広告、プロモーションツール、展示計画と、一連の個性的な企画・デザインにまとめ上げました。この後もブラッシュアップを続け、10月にX棟のXギャラリーで成果を発表する予定です。



● 昨年に引き続き、特別客員非常勤講師の田中晋先生のタイポグラフィーの授業を行いました。オンラインでの授業を含めての難しい進行でしたが、夏の制作期間を経て、後期に講評と発表を行う予定です。

■ イラストレーションコースからの報告

想定外の事象に対し、対応に追われた数ヶ月です。コロナ関連の影響により、学外や外部講師による実習は中止、コンペも開催が延期されるなど、変更せざるを得ない予定が多くありました。まずはカリキュラムを順当に消化することに注力し、オンラインでの対応を強化しました。

授業時間や帰宅時間を気にせずじっくり対応することができたことは、オンラインが有効に機能した点だと思っています。総勢80名を超える大所帯に対し、通常の授業時間では消化しきれないことを、オンラインを通して対応できたように思います。

登学が許可されたのちも、制限がかかる中での実技指導は、学生にとって困難なことも多かったように思います。課題のサイズを縮小し、点数を多くするなどして対応しました。



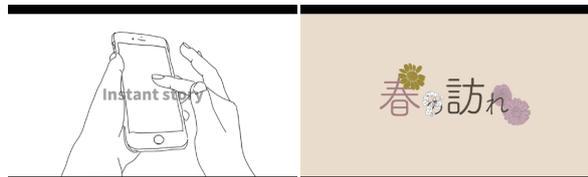
前期末のプレゼンテーション

■ メディアデザインコースからの報告

メディアデザインコースでは4月以降、コロナ禍の状況の中でどのようなことが社会で求められ、そこに貢献できるかをテーマとして授業に取り組んでいます。

映像課題では、自粛期間中の5月1日に各自自宅周辺で撮影して集めた映像素材を自由に編集し、独自のストーリーを展開させる「Life in a day 2020.05.01」を実施しました。リモートでの授業の試みとして新しい可能性を感じとれる手法と意欲的な作品が数多く制作されました。

また他領域の新たな取り組みとして3年生を中心、東キャンパスのサウンドメディアコースとの共同で「1minProject」を開始しました。サウンドメディアコースからは1分の楽曲を、メディアデザインコースからは1分の映像素材を提供してもらい、リモートによる遠隔でのディスカッションを通じてそれぞれの作品に映像もしくは音楽を付け加えて作品を完成させる共同制作も実現しました。



「Instant Story」

「春の訪れ」

また新たな取り組みとしてSDGsをテーマに株式会社エーアンドエー（web制作会社）と共同で行う受託事業も始まり、メディアを駆使してユニバーサルに届くコンテンツ制作を進めることにもなりました。



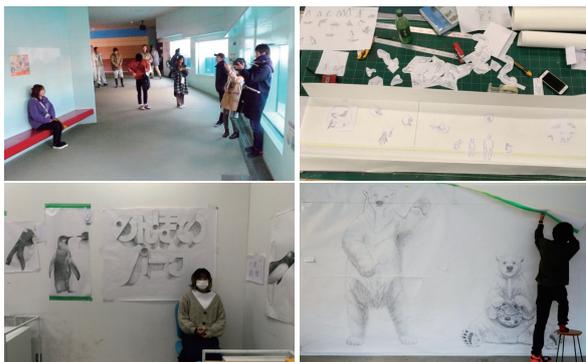
1minProject 制作風景

また官学共同プロジェクトとして進行している小牧市「こどもみらい館」に向けた映像コンテンツ制作も少しずつですが、再び動き始めています。

「メディアデザイン」コースは次年度に「先端メディア表現」コースとして新しく生まれ変わります。今後変化し続ける環境に柔軟な発想で対応していく能力が求められる時代になっていくと感じております。これからも「メディア」に期待されていることを学生と共に見極め、実践していきたいと考えております。

■メディアコミュニケーションデザインコースからの報告

2020年1月から豊橋市総合動植物公園との連携がスタートした。一昨年より連携を続けている豊橋市自然史博物館からの紹介で、どちらの施設も豊橋市民に親しまれている「のんほいパーク」内にある。今回はシロクマやペンギンのいる極地動物館の壁面にトリックアート壁画を制作する依頼をうけた。1月中旬レビューが始まり年間の課題に区切りをつけたところで学生とリサーチのため動物園を訪ね、シロクマとペンギンの生態や習性など担当職員、獣医さんや飼育員さんからレクチャーをうけ、現場の写真を撮る。この時はまだコロナ禍に巻き込まれる前であった。日程的には2月に下絵を制作し、3月~4月でデジタル化し5月連休にお披露目という動物園側の要望を受けスタートした。2月初旬コロナの影響が忍び寄り寄るなか、卒制と並行し3、2年生の担当チームがアイデアスケッチと動物の実際のサイズをもとにした実物大の下絵の制作にとりかかる。卒制のため学内で活動スペースが限られていたが、1ヶ月半ほどかけ制作。動物園のチェックをうけ登校禁止期間にはいると同時に自宅で各自担当部分のデジタル化をすすめることとなる。もう一度実際の動物園のシロクマを見て確認したいという状況が何度もあったが、メールとリモートミーティングで学生と詳細の描写チェックを繰り返した。



5月中旬すぎ、リモート授業が始まる頃に、デジタルで描画したデータを動物園に送り、そこからは動物園のチェックが始まり、何度も修正依頼に対応していく。コロナの影響で動物園内や業者などのチェックにも時間を要したため、また現在ペンギンたちがヒナを育てていることもあり工事が9月に延期されている。今回の報告では制作途中ドローイングの写真を掲載する。



次に4月1日付、名古屋芸術大学、中日新聞30段全面広告について。1月のレビュー展に展示していた昨年度の特別客員教授の澁谷克彦先生の課題ポスターが採用された。「コミュニケーション」が課題テーマ。澁谷先生のコース名にコミュニケーションが入っているので、高校生にMCDをアピールするポスターも考えられるという言葉を受け、高校生や青春をテーマにすることの多い米村さん(当時3年)が制作した。写真もグラフィックもコピーのコンセプトもその時のもので、大学広報のご協力为名芸の広報ポスターとなり東海圏だけでなく東京新聞からも発信された。



7月には、宣伝会議が発行する「月刊ブレン2020年8月号」にこの新聞広告が掲載される。



MCDではコース発足時より新聞広告の課題を続けている。新聞が若い人たちのメディアから消えつつある現代ではあるが、学生たちは興味深い課題だと3年次後期の制作を楽しみにしている。

最後に詩について。3月に卒業した学生が、3年前期の、「オリジナルブックの制作」という課題で〈自分の詩と、好きな詩〉をテーマに1冊の本を制作した。その時まで自分の書く詩や歌の歌詞に興味を持つことがあっても、詩人の書いた詩集は読んだことがないという。詩人の詩を読んで自分の詩と合わせて本にしてみたらとアドバイスをした。本をつくり、詩をつくり歌をつくり、自らうたい映像制作を3年生の時は続けていた。それから1年で(4年生の前期)なんと資生堂のWeb花椿の「今月の詩」に選ばれた。掲載はその1年後の今年の5月であった。コロナ禍で印象がすこしちがうと選評の言葉があったが、楽しみにしていた詩はとても力強いものだった。

「まぶしい」詩・遠藤菜月 (花椿 今月の詩 5月に掲載されています。)ぜひご一読ください。 <https://hanatsubaki.shiseido.com/jp/poem/5591/>

コロナの襲来で社会も大学も日常もすべてが一変し対応に追われた。今回の報告はその中で粘り強く行われたこと、学生が継続し自分らしい成果を出した報告となったと思っている。

■ライフスタイルブロック

ライフスタイルデザインコースからの報告

「新しい生活様式」の導入が求められるなど、私たちの「生活」の様相が激変した前期でした。生活へのつぶさな

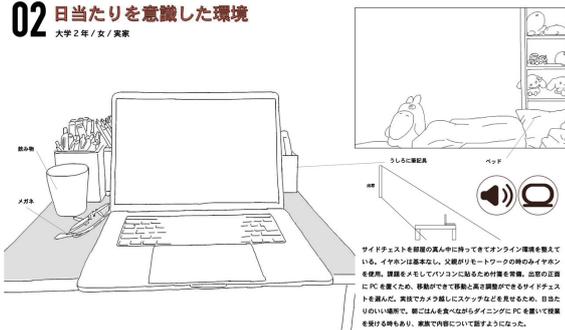


観察に基づいた環境形成のあり方を模索するライフスタイルデザインコースにとり、今後の大きな社会変化の本質を捉え、そのなかにかにデザインの作用点を見出すことができるかと突きつけられる状況となりました。

4年生の卒業制作を見据えた授業では、現在の変化を捉えた様々な提言を資料とし、ディスカッションを重ねる場面もありました。また3年生のフィールド・サーベイの授業では、これまで以上に生活の舞台の中心としての重要度が増した自宅・部屋をテーマに環境調査を行いました。オンライン授業受講環境の調査に発展するなど、変化を読み取る作品制作が試みられました。

02 日当たりを意識した環境

大学2年 / 女 / 実家



サイドチェストを部屋の真ん中に持ってきてオンライン環境を整えている。イヤホンは標準なし。充電がモーターの時のみイヤホンを使え。充電しながらパソコンにはなかなか対応を出来ず。部屋の広さにPCを置くため、移動ができて移動と充電が出来るサイドチェストを選んだ。実際にカメラ越しにステップなどを見せるため、目立たない場所でも、膝こぼれを食べながらデザインにPCを置いて授業を受ける時もあり。部屋で内容について話すようになった。

10 足元に忍ばせたもの

大学2年 / 女 / 実家



水、スマホ、ノート、筆箱を机に置き、授業 15 分まえに起床し朝食を食べるのままだ状態を受けかことが、起床時間が遅くなった。スマホで人と連絡を取りながら授業を受けたり、画面越しにアイコンタクトをとるなどしている。机の下にパソコンを置いて、足を乗せている。

**デザイン実技II[フィールドサーベイ:ATLAS OF ROOM]
「オンライン受講環境調査」佐藤里奈**



3・4年生合同講評会

新2年生を迎える歓迎会もオンラインで企画実施されるなど、学生たちは限定的な環境のなかでもその利を活かし、意欲的に活動してくれました。後にこの時期を振り返った際に良いターニングポイントだったと思えるよう、後期もライフスタイルデザインコースでは、変化に呼应しながら、積極的な研究教育活動に取り組んでいきます。

■ テキスタイルデザインコースからの報告

● イベント中止

前期はコロナ禍の影響で、4月に予定していた布仕事マ

ルシェ(JR名古屋タカシマヤ)での尾州毛織物産学連携プロジェクトの販売と、6月に予定していた有松絞りまつりでの有松絞り産学連携プロジェクトの販売が中止になりました。前年度から準備を進めてきたので、大変残念です。今後の販売の機会を探しています。

● 名古屋芸術大学50周年記念品制作

本学開学50周年の記念品として、大学が進呈する手ぬぐいのデザイン・制作を、本コースの学生が行いました。

前年度の2月から3,4年生10名は、2名1組で50周年の記念品としてふさわしいデザインを考案し、その後有松で活動する本コース卒業生「まり木綿」の伊藤木綿さんの指導のもと、500枚の絞り手ぬぐいの制作を行いました。

出来上がった手ぬぐいは、本コース卒業生でグラフィックデザイナーの白澤真生さんがデザインした箱に、デザインコンセプトを入れたリーフレットと共に収めて、10月に完成予定です。

名古屋芸術大学50周年記念品制作



学生とデザイン案

伊藤さんと染色について相談



手ぬぐい染色作業

完成した5種類の手ぬぐい

● 久屋大通公園再開発インスタレーション制作

名古屋市は久屋大通公園の再開発を進めており、9月18日に新商業施設「レイヤード ヒサヤオオドリパーク」として開業します。この機会に、特別客員教授の村瀬弘行氏がクリエイティブディレクターを務める(株)スズサンが野外インスタレーションを行うことになり、その制作依頼を本コースが受け、産学官連携のコラボレーションとなりました。

作品コンセプトは、ドイツ在住の村瀬氏からビデオレターとデザイン画がリモートで学生に送られてきました。今回行う手筋絞りは、本コースでは初めて体験する技法です。その指導のために、(株)スズサン代表の村瀬裕氏が7月初旬に来校されました。

制作は、2,3年と大学院生22名が参加しました。今回括る布は240枚と大量なので、学生は自宅に布を持ち帰って制作しました。

参加学生からは、「伝統的な絞りの技術を授業外で教えていただけることは、いい経験になると思って参加した。」「作業はだんだんコツを掴んできて、スピードが上がってきたので少し嬉しかったです。」「苦労しましたが、達成感がありました。」などの感想がありました。

9月に学生と久屋大通公園に設置された作品を見に行くことを、楽しみにしています。

久屋大通公園再開発インスタレーション制作



村瀬裕さんの技術指導



括った後の大量の布

手筋絞り作業

手筋絞り完成

●素材展 開催

アート& デザインセンター 8月7日~8月11日

4年生と大学院生の前期制作展を行いました。

テキスタイルデザインコース

facebook: NUAtextile

■メタル&ジュエリーデザインコースからの報告

4月からの授業は出校規制のなかでの自宅学習から始まりましたが、6月からは段階的に大学での対面実技も可能になり学生たちも徐々に大学での制作リズムを取り戻しました。前期制作発表展「素材展」は8月13日~19日の予定でしたが、残念ながらコロナウイルスの為直前に中止となりました。作品提出、採点に関しては状況を見極めながら対処していきます。

ポーランドのニコラスコペルニクス大学主催の国際学生メダル展に本年度も参加致しました。ポスター展示を「素材展」会場で行う予定でしたが中止になっております。

オンライン展示は下記のリンクを参照ください。

<http://www.rzezb.umk.pl/?future-for-nature-international-medallic-project-2020,469>

今回は日本から名芸の他にも筑波大学が参加しており、10月24日~11月3日まで豊門会館/旧和田豊治家住宅(静岡県)で展覧会が開催されます。

今年度は「七宝」と「鉄造形」の二つの授



メダル展参加者



七宝授業風景

業で新しい非常勤の先生と特別講師の先生をお迎えして新たにスタートしました。

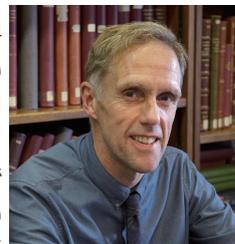
「七宝」は 加藤芳朗先生。七宝作家であると同時に代々続く七宝工房を受け継ぐ若手経営者でもあります。

「鉄造形」は 藤田政利先生。東京藝術大学工芸科鍛金コースを終了後、鉄造形作家として活躍し現在は多摩美術大学客員教授も務めています。



藤田先生特別講義

本年度は特別客員教授として大英博物館コイン&メダル部門学芸員のフィリップ・アトウッド氏を招聘しています。コロナウイルスにより来日は断念しましたが、後期よりオンラインでの授業をします。アトウッド氏はメダルアート研究での世界的な権威であり学生にとって良い刺激になると思います。名芸は日本で最も早くメダルアートに取り組んだ教育機関であり国際舞台での発表を果たした学生も何名もいます。今回も発展的な展開を期待したいと思います。



フィリップ・アトウッド氏近影

■ インダストリアル&セラミック、カーデザインコースからの報告

○ 2年生ID/CDダンボール素材を生かしたスツールデザイン

7月から対面授業が可能となり、手を使って実体験を伴ったデザイン実技を行うことができ、例年講評会後和室にて「ダンボールスツール展」を開催していたが、コロナ禍のため今年度は講評会だけ行った。

手を使って座る強度を考えながらの制作作業、学生は熱中し、この課題で数段デザイン力を育成することができた。



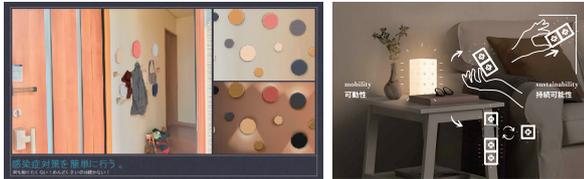
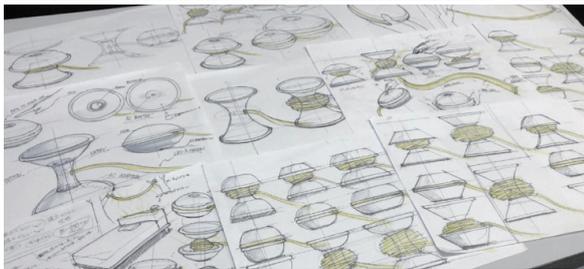
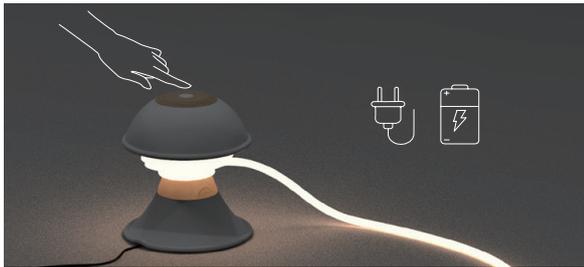
○ 3年生ID/4年生ID・CD アール・ビー・コントロール株式会社との産学協同プロジェクト

コロナ禍のため実行が危ぶまれたが、思い切って計画通り産学協同プロジェクトをスタート、キックオフからオンライン授業になり、アイデアチェックを毎週行い、中間チェックは遠方金沢から企業側デザイナー・商品開発担当者に来校していただき、7月10日に中間プレゼンテーションを開催。企業側から「もっと学生らしい思い切ったアイデア提案

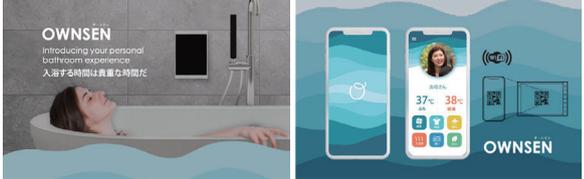
や若い年齢層の考える新しいアイデア提案]を望むコメントをいただき、モックアップモデルでの立体検討からも一度3DCGへ変換作業をするなど、さらなるブラッシュアップを行い、最終プレゼンテーションに向かった。

最終プレゼンテーションは8月7日に開催、第2波コロナ感染拡大のため企業側県外出張禁止の指示が出された為、残念でしたがオンライン講評会となり、5時間のプレゼンテーションを行った。学生たちは前日までの作業をプレゼンテーション、企業デザイナーのコメントやアドバイスで良いキャッチボールができ、産学協同プロジェクトの素晴らしい経験となった。

1:LEDを利用した住宅設備の提案



2:浴室マルチリモコンの提案



■IoTデザインプロジェクト 2020/5/13-6/17

(オンライン授業での実習)

オンラインでのデザイン実技の授業になり、日常の生活がリモートワークなどを強いられる現状で、想像できるIoT製品を提案するというテーマを与え、各自がインターネット/センサー/無線通信/スマートフォン/データ解析/自動認識/etcの最新技術やその動向をそれぞれ学び理解し、それらのテクノロジーに基づき、新たな人の関わりや人が便利だとか気持ちいいと感じるシステムやサービス

を提案してもらいました。実質的にはシステムやサービスのユーザーシナリオと概念図およびその中で使われるハードウェアや画面のインターフェースをデザインの対象として表現してもらいました。



6/17 オンラインによる最終プレゼン (学生提出物例 桑野奏太)

■文具デザインプロジェクト 2020/6/23-8/5

デザイン学部インダストリアルデザインコース(以下、IDコース)では、3回目を迎える今年も、中部文具工業協同組合に属する文具メーカーであるシャチハタ株式会社/森松産業株式会社/株式会社馬印/大同至高印刷の協力を得て産学共同にて文具デザインを行いました。学生生活の中からの新たな商品提案をし、より実践に即したデザイン指導を受けて実現可能な製品化を目標として取り組み、産業と大学の結びつきを示し地域の活性化に貢献するとともに学生はデザインの実践を体験し能力の向上を図りました。

今回は、各社からそれぞれテーマを提示してもらい、学生ならではの斬新なコンセプトで文具に関わるデザインを提案しました。16名のIDコースの学生と研究生の院生1名で各1案、4社の各テーマ担当し、中間チェックでコミュニケーションを図り、モックアップ素材の提供等の支援を受け、最終プレゼンテーションではコンペ形式にて最優秀デザインと各メーカー賞を選んでいただき表彰していただきました。講評においては製品企画案として採用を検討していただけた作品もあり、デザイン実技授業における学生の成績評価といたします。



2020産学協同文具デザイン発表会 @シャチハタ本社



最優秀作品(藤澤知成)



メーカー賞作品(佐橋秋哉)

■スペースデザインコースからの報告

スペースデザインコースでは、家具など、工房での実制作や見学などの空間体験、使用実験を大切にしているの、非常に苦労しました。

2年生は、建築の模型製作や製図の基礎については自宅、後半は教室でそれぞれが高い意識を持って取り組みました。家具制作の課題では通常よりも密度濃くスタディーを繰り返し、実制作では良い作品につなげました。



3年生は、設計課題はオンラインで学内の施主とのヒアリングを繰り返し、それぞれが個性的な住宅の設計を行えました。今年は産学協同のプロジェクトが3つ同時進行で行われていたので、オンラインでの打ち合わせや、プレゼンテーションを繰り返し、前期中の目標地点まで、それぞれの努力によりなんとかこぎつけました。何度も練習を重ね自信たっぷりに行われたプレゼンテーションに成長を感じました。金属パイプを使った子どものための図書館家具は、工房での制作がうまく進まなかったこともあり、後期に持ち越すこととなりました。



新しい庭のあり方の提案

新素材の屋外家具としての利用提案

4年生のプレ卒課題は、現在の世の中の状況をそれぞれが自分にも起こっていることとして、身の回りからの提案に実感がもっていて、何度もオンラインで個別に話すことでさらに密度が濃くなったと感じました。



新車販売ショールームの展示計画の提案



スペースデザインコースでは、前期の授業の終盤にコースの活動を内外に知ってもらう為、また、それぞれの制作のフィードバックができるよう学内のギャラリーでコース展示を行っています。この状況の中でもギャラリーの空間を作品で埋め尽くす、それぞれのパワーに後期からの期待も膨らみます。



■文芸・ライティングコースからの報告

文芸・ライティングコースでは、前期授業開始前の課題として「自分で撮った写真にまつわる創作作品やエッセイ」の執筆に取り組みました。後期の初めに各々の作品の講評を行い、外部講師を招聘して「写真と文章」についての講義を行っていただく予定です。オンライン授業においては、それぞれの学生が創作した小説やラジオドラマ作品を発表し、卒業制作に向けての構想や進捗状況をGoogleドキュメントや画面共有機能を駆使して他の学生に提示することで互いに有意義な意見を交わし、文章や表現のブラッシュアップを行いました。

一年をとおしてのブック・プロジェクト、「メイゲイ・ブックツリー(仮称)」も開始し、各々の学生が自分を広げていく「本の木」をイメージするワークショップをリモートで行いました。これまで読んできた本・これから読みたい本を見つめ直して選書を行い、その中から特にお勧めの一冊について書評やエッセイ、創作を綴ります。図書館やレビュー展での展示、特設ホームページでの公開を通して、学内外に広く読んでいただく予定です。

また、本学と共に50周年を迎えた名古屋高速道路公社のイメージソングの作詞を本コースの学生が担当し、作曲をサウンドメディア・コンポジションコース、歌唱を声優・アクティングコースの学生が担当しました。完成したイメージソング「君と行きたい」は、8月にZIP-FMで放送され、9月に行われる名古屋高速50周年記念イベントで披露されます。



名古屋高速イメージソング制作(作詞担当)

北名古屋市および岩倉市と文芸・ライティングコースとの連携事業である「青い翼プロジェクト」も進行中で、岩倉市出身の小説家青羽悠氏と本コース学生とのオンライン対談が「北名古屋市市民タイムズ」834号に掲載されました。



「北名古屋市市民タイムズ」掲載記事(特集「大学生 小説を書く」)

芸術学部芸術学科芸術教養領域

ここでは芸術教養領域の2020(R2)年度前期における授業を中心に芸術教養領域の活動をご報告します。これまでの本領域の活動は、本誌バックナンバー(63~68号)や、芸術教養領域のWEBサイト(<https://www.nua-la.jp/>)にも掲載されておりますので、ご覧ください。

■ コロナ禍における本領域の学びの意義

これまでのバックナンバーでも申し上げましたとおり、芸術教養領域は2017(H31)年4月にスタートし、今年度、1年生から4年生まで、全学年が揃う「完成年度」を迎えました。

本領域では、学生が芸術を含む幅広い教養を身につけ、これを社会で活かすことを目標としています。AIや、無人操縦輸送機などの技術が目を追うごとに発達し、さらに新型コロナウイルスのパンデミックにより、大変革を迫られつつある社会でも幸せに生きていけるよう、学生たちには自らと周囲とコミュニティを支えていく力を身につけて欲しいと祈念しています。このことを念頭におき、本領域のカリキュラムは、いかなる分野でも必要と考えられるビジュアル・サウンド・日本語・英語・情報五つのリテラシーの科目と、視野を広げる科目、グループワークの科目を中心に構成されています。

昨年度末からのコロナ禍により、日本中が混乱したまま今年度が始まりました。後援会にも大変な思いをされている保護者の方々が大勢いらっしゃることでしょう。研究・教育機関である大学も大きな影響を受けています。本学も例外ではなく、昨年度末の卒業式も簡略化され、在学生オリエンテーションも延期、入学式も中止、大型連休明けに始まったオリエンテーションと授業も遠隔形式となりました。本領域でも実技や演習の授業を遠隔で行うという、学生にも教職員にも創意工夫が求められる状況でした。このような時こそ、自ら考えて工夫する力が必要です。芸術教養領域の学生にはその力を身につけて欲しいと思っております。言うまでもなく、教員もそうあらねばならないと改めて思われました。

■ WEB上のオリエンテーション・チュートリアル

連休明け、在学生のオリエンテーションやチュートリアル(個別面談)をWEB上で行いました。これは、学生がPCやWEBサービスに慣れていなかったため、つづがなく終わることができました。PCのモニターで久しぶりに在学生の表情を見、スピーカー越しの声を聴き、元気そうな様子に安心しました。

対照的に、新入生はパソコン等の情報通信機器やWEB上の教育サービスに慣れていないこともあり、オリエンテーションの「WEB会場」に入れない人が続出しました。そこで、急遽、再度のオリエンテーションの日程を設定しました。それと同時に、教員が手分けし、新入生たち全員に電話し、方法を教えました。その結果、翌週に開いたWEBオリエンテーションにはほとんど全員が参加できました。

本学で導入したGoogleのClassroomという遠隔授業サービスには、大学で割り振ったアカウントでログインする必要があります。学生本人や保護者の方が既にGoogleのアカウントを持っている場合、そちらでログインされてしまうというトラブルが主でした。この種のトラブルもしばらくは続きましたが、数週間後にはほとんど解消されました。

■ 5月からの遠隔授業

連休明けの翌週の水曜日から遠隔授業が始まりました。新入生のほとんどは、その午前に設定された「大学生になる」という授業を最初に受けることとなりました。そちらでも幾つか困難がありました。助手さんたちが組んだサポートチームのお陰で、問題は徐々に解消されて行きました。

遠隔授業は大きく分けて2種類あります。ZoomなどのWEB会議システムと同じものを使い、ライブ(生)で教員と学生が「WEB上の教室」に集まり、リアルタイムで会話や板書をしながら、学んでいく方法です。本学ではGoogleのClassroom上に設定できるMeetというしくみを使っていることが多いのですが、ZoomやLINEのビデオ通話を使うこともあると仄聞しました。回線の混雑など、ネット環境が思わしくない場合、声が聞き取りにくかったり、画像が乱れたり、ライブ配信の仕組みから脱落してしまったりと、さまざまな問題が起きます。学生も教員も苦労しています。

もう一つの遠隔授業の方法は、教員が予め、動画を録画し、その動画ファイルをClassroom上の特定の場所にアップロードし、学生各自がその動画を視聴するというもので、「オンデマンド方式」と呼ばれています。ライブ配信とは異なり、インターネット環境が思わしくなくとも、ネットが空いている時ならば、比較的円滑に動画にアクセスできます。ただし、その場で質問ができないなど、短所もあります。また、この方式では課題が過重になることがあり、学生からも「大変だ」という声が聞こえてきました。

オンライン授業は、学生も教員もほぼ初めてのことで、この原稿を執筆している七月下旬段階でも試行錯誤しながら進めております。

■ 6月:対面授業の一部解禁

大勢の人が新型コロナウイルスを蔓延させないよう努力したお陰で、5月下旬に緊急事態宣言が解除され、本学も6月から一部の授業を対面で行うこととなりました。原則的に、学生は週1回程度の登校、6月は最大で6回までの登校回数に抑えるという条件付きでした。本領域では、科目上の必要性などを鑑み、4年生は月曜の「セミナー3」を対面としました。同じ曜日の、別時限に開講され、4年生が受講していた「芸術の記号論」も対面へ移行しました。

3年生の授業では、一部の学生が履修している水曜日の「写真演習」を対面形式にしました。しかし、他の学年の受講生は遠隔でその授業を同時に聞く方式でした。この授業を担当された非常勤の藤下麻香先生も、今期初めての授

業にもかかわらず、毎回重厚な資料を作って下さり、丁寧に指導して下さったため、学生には感性だけではなく、理論の裏付けのある技術が身につけてきています。



「写真演習」のひとつ。9号館スタジオで自分の作品を発表する学生(撮影:菱田明日香)

2年生の科目では「情報リテラシー1」を対面にしました。密集を避け、感染防止のため、学生は隔週で半数ずつ登校し、残りはオンラインで受けることとなりました。

1年生は、火曜日の「サウンドリテラシー1」と、金曜日の「ビジュアルリテラシー1」を3回ずつ、合計6回登校しました。距離を取るため、広い教室をお借りしました。初めての登校という新入生も多く、大変だったと思います。

以上を含むさまざまな授業で、SAの3、4年生たちが大活躍してくれています。SAは「Student Assistant」の略で、授業を補助する学生のことです。本学では優秀な成績で当該科目の単位を取った学生に依頼しています。SAは単なる補助ではなく、SAが改めて授業を振り返る機会ともなり、後輩にあたる下級生には先輩の長所を見習って欲しい、という学修上の目的があります。

7月:対面授業の拡大

7月からは実技や演習の授業の多くが対面式になりました。学生の顔を見ることも増えました。ウイルス感染リスクは心配ですが、大学が活気づき、何より、学生の元気そうな表情を見ることが、教員として嬉しく思えました。

芸術教養領域では、前項の6月から対面方式が始まった授業に加え、他の幾つかの授業も対面となりました。密集を避け、感染防止の工夫をしながら、手探りで進めました。「写真演習」は3年生に加え、2年生も4年生も来られるようになりました。

他にも「芸術と社会」、「プロジェクト1」、「ビジュアルプログラミング」も対面となりました。「芸術と社会」は学外の美術館などへ赴く回も無事遂行できました。



「芸術と社会」で客員教授の服部浩之先生をお迎えし、豊田市美術館「久門剛史-らせんの練習」展見学。同館の庭園での振り返りをする担当教員と学生。

1年生、編入生、転領域生などが履修する「異文化体験」では、7月と8月に学外授業を行いました。8月の最終回の

み対面授業にする予定です。学外授業は、感染防止対策を取る北名古屋市歴史民俗資料館(昭和日常博物館)を皮切りに、名古屋の国際センター駅近くにある円頓寺・円頓寺商店街・四間道を中心に見学、調査しました。暑い日、雨の日、学生はとても大変だったことでしょう。ただし、7月下旬はコロナ感染第二波と思われる状況だったため、学外授業や対面授業は、希望者は自宅で学修できるように配慮し、8月最初の土日に予定されていた半田市における調査は中止しました。



「異文化体験」で昭和日常博物館見学。3密回避策を取る同館での観察(撮影:松村淳子)

本領域の教員が担当する全学総合共通科目においても、「現代芸術と文化」でも対面授業となりました。また、同じく全学総合共通科目にあり、本領域では1年次必修の「人類生存のための教養」は基本的にオンラインでしたが、学外授業のみ対面で行いました。履修者が多く、密集を避けるため、昨年度同様、名古屋市昭和区にある鶴舞公園の見学と観察を行いました。



「人類生存のための教養」で鶴舞公園観察。密を避けるため、中間点呼と説明は時間差を設けた。場所は電ヶ池。(撮影:松村淳子)

各学年の授業概要

上述の通り、本領域では、ビジュアル、サウンド、日本語、英語、情報の五つのリテラシーを身につけるための科目を複数設定しています。ビジュアルとサウンドについての実技科目と講義科目は1年次に履修します。上記の「ビジュアルリテラシー1」と「サウンドリテラシー1」が前期に履修する実技科目です。学生は、前者でビジュアルボックスなどの作品を制作し、後者で楽器やPC上で音を編集し、着信音を作るなどしました。

2年次の前期の必修科目は「日本語リテラシー2」、「英語リテラシー1」、「情報リテラシー1」、「プロジェクト1」です。前二者はオンライン上での授業が続いています。「プロジェクト1」では美術館など博物館施設について調べ、提案をする、という内容で、調査をふまえた上で提案をし、プレゼンテーションも行うといった、社会で必要とされる力を養います。

2、3年次の前期には「教養と地域文化1・2」があります。通常はゲストを大学にお迎えし、学生がそのレクチャーを聞いた上でレポートを書き、視野を広げていきます。しか

し、今年度はコロナ禍により、ゲストのお話を遠隔で録音・録画し、それをオンデマンド形式で見てもらおうようにしました

3年次になれば、必修科目の枠が減り、卒業研究を目指し、「セミナー1」を前期に履修します。これもオンラインで授業が続いています。4年次は必修の束縛がさらに減り、前期の必修科目は「セミナー3」のみで、卒業研究に向けて方向性を確定します。

■ 春休みの読書課題

この「セミナー1」と「セミナー3」の枠組みで、3年生と4年生は春休みに自分が選定した書籍を紹介しました。書籍はマンガや小説以外の、少し硬いものを自分で選びます。これは2年次の夏休みから行っています。

今回は、『ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる』、『メイキング』、『藤子・F・不二雄のまんが技法』、『からだ・演劇・教育』、『ルネサンス 経験の条件』など芸術にかかわるものや、『あぶない一神教』、『池上彰と考える、仏教って何ですか?』など宗教に関連するものが目立ちました。ほかにも、『記憶はウソをつく』、『何にもない 無の物理学』など科学系、『Bad Feminist』、『変わる商店街』、『「地方ならお金がなくても幸せでしょ」とか言うな!日本を蝕む「おしつけ地方論」』など社会・経済系、『ベジタリアンの文化史 食べることで生きること』、『音大・美大卒業生のためのフリーランス教科書』など生き方にかかわるもの、『ドーナツを穴だけ残して食べる方法』、『世界のビジネスエリートが身につける教養としてのワイン』など視野を広げ、思考力を涵養するものなどがありました。

以上の書籍について、学生は自ら作ったスライド資料を出しながらコンパクトに紹介していききました。教員側は、事前にこれらの書籍を手分けして読み、学生の発表にコメントを返しました。今回も、教員が知らない本があり、非常に興味深く書籍を読んだり、発表を聞いたりしました。

一期生はこれで4回の読書課題を終えました。学生の選定する本が、それぞれのお好みや性格を反映しているようで、微笑ましいものがあります。



春と夏の読書課題で学生がこれまで読んできた本の一部
(藤下先生ご提供の撮影セット使用)

■ 公開講座

毎年、後援会のご支援を受けて数回開催してきた「公開講座」はコロナ禍により、前期は実施できませんでした。大変残念なことです。

ただし、2年生と3年生が受講する「教養と地域文化1」

の一部として、アニメーションを制作してきた本学学生・卒業生が中心となっているグループ「ACREATION」のメンバーと、映像専門家の林緑子氏を招聘したインタビューは、WEB上で「公開講座」とする予定です。これも本領域WEB(<https://www.nua-la.jp/>)にてお知らせいたします。また、ACEATION制作の質の高いアニメーションもYouTube上で無料公開中です。本領域WEBからリンクを貼りますので、ご高覧くださいませ。

■ 新任を迎えた教職員

今年度から新しい教員が着任しました。松村淳子(あつこ)先生といます。本学の、芸術学部に通合される前の美術学部を卒業し、「あいちトリエンナーレ」などで幅広く活躍しています。専門は美術教育で、着任からこれまで一貫して面白い授業を熱心、かつ学生に対して非常に親切に展開しています。茂登山清文、早川知江、津田佳紀、茶谷薫とともに会議など、授業外でも大変精力的です。松村先生については『名古屋芸大グループ通信』52号(14-15頁、2020年6月)にもインタビュー記事が掲載されました。

また、一期生が入ってから3年間、昨年度まで学生と授業を支えてくださった助手の王昊凡さんが退任、他大学へ異動されました。代わりに黒田翔大さんが、昨年の6月から助手として活躍してくださっている中森信福さんや、事務職員の服部嘉奈子さんとともに、授業や学生生活の支援をしてくださっています。このお三方のサポートのお陰で、学生が頑張って学修を進められ、教員も授業を円滑に運営することができています。



芸術教養インフォメーションセンターで執務中の
黒田さん(助手)と服部さん(事務職員)。

■ オープンキャンパス

例年とは異なり、感染リスクをさけるため、現在のところオープンキャンパスに学生は参加できません。そのことで、私たち教員は、これまで学生が高校生たちへ親切に説明してくれたことの有難さと、その力の大きさを改めて認識することができました。

今年度は現在のところ、6月、7月、8月に、Zoomのサービスを使い、教員が各領域を説明するWEB上のオープンキャンパスと、3つの密を避けるために予約制で対面型のオープンキャンパスを開いてきました。昨年度まで、本領域のオープンキャンパスにご来場くださった保護者の皆様や、学生が高校生だったころを思い出しながら、質問対応や説明にあたりました。



6月末の予約制オープンキャンパス。
相談にあたる茂登山先生と松村先生(撮影:早川知江)



7月末の予約制オープンキャンパス。
本領域の説明をする早川先生(撮影:中森信福)

■ 後期に向けて

後期は、また別科目の授業が始まります。1年生は、前期に引き続き、視覚的、聴覚的なりテラシーを養う「ビジュアルリテラシー2」、「サウンドリテラシー2」、「視覚文化」、「サウンド文化」を受講します。言葉のリテラシーについては、全学の1年生が受ける「英語2」「コミュニケーション英語2」「日本語表現」だけではなく、本領域の1年生が全員受ける「日本語リテラシー1」も開始されます。また、1年生と2年生は「教養と現代1」など視野を広げる科目も受講し、さまざまな分野の研究者のお話を聞くことになります。

さらに、これまでは前期に行っていた「芸術教養レビュー」を後期に開講します。学生は授業の内外で学んできたことを、パネルを中心とした作品に仕上げ、展示します。

2年生、3年生は徐々に必修の授業が減り、自分で選択する幅が一層広がります。彼らはそこで、これまでの学びを活かし、さらに学識を深めていくことでしょう。4年生は卒業研究が本格的に始まり、学びの集大成として卒業論文と内容の発表・講評会をすることとなります。

コロナ禍が収まるかどうか、不透明ですが、我々教職員は学生の学修と、それと深く関係する心や生活をサポートしていくよう、さらの研鑽を積む所存です。

芸術教養領域 領域主任・教務学生主任 准教授 茶谷薫

人間発達学部

コロナウィルス感染拡大防止のため、前期授業は一部実技科目や実習関係科目を除いてすべてオンライン授業となりました。例年報告させていたideている人間発達学部事業も残念ですがすべて中止となりました。

今年は、このような状況の中で頑張っている新1年生の様子や、新しく開講した「認定絵本士養成講座」について報告させていただきます。

■ 1年生スタート

コロナウィルスの感染拡大防止の政府方針を受けて、入学式も行えず、授業もオンラインで行うという異例の事態の中で、今年度はスタートしました。

例年の1年生は、様々な高校等から入学してくるために、入学当初は関係がつかれず、そのことの心配から授業参加が難しくなる学生も出がちです。そのため、学部教員は毎年、楽しく深く学ぶ授業づくりとともに、一人ひとりの学生が話しやすく、相談しやすい関係をつくって、心を支える役目もしています。しかし、今年度はそれができないために大変心配しました。

それでも今年度の1年生は、オンラインという初めてとってよい授業形態にも関わらずよく参加し、レポート等の課題にも応えて頑張っています。

一部対面が認められた実技科目授業では、普段顔を合わせられないでいる環境の中ゆえに、週に1度程度であれ、逆にその授業での出会いが、貴重な大学での友達づくりの場にもなっているようです。新入生が心から名芸大ラ

イフを楽しめる社会状況に戻ってほしいと、願うばかりです。

■ オンライン授業

幼児や小学生を中心とした人との関わりの中で、人間力や人間として育てる力を磨くのが、本人間発達学部の大事な学習・研究課題です。そのため、その指導に当たる本学部教員は、オンライン授業には大変戸惑いました。

まずは、短期間のうちにオンラインで授業するシステムの理解をしなくてはなりません。しかし、本学部教員の日頃からの連携の良さが発揮され、教え合いを通して全体の理解が進み、これまで支障なく授業が進められました。

自作自演で動画を撮ったり、対面であれば実物を手に取って自由に見せられる絵本も1ページずつスキャンして画像にしたりするなど、対面以上に準備には手間がかかります。しかし、オンライン授業でなければ受講できない学生の立場に立って、オンラインでも変わらず分かりやすく学生が学べるように努めています。

■ 「認定絵本士養成講座」スタート

愛知県内初の認定校として、「認定絵本士養成講座」を開始します。講座は、8月と1月にそれぞれ、「子どもと絵本1・2」(集中講義)として行われます。講義は、学部の教員をはじめ、専門に精通された学内外の講師を迎えて行われ、今年度は39名の学生が参加します。講座では、絵本に関す

絵本のちからを 子どもたちに伝える。



コミュニケーションする力、自分で考える力、
相手のことを思いやる心など、
さまざまな「生きる力」につながる小さな一歩が、
絵本を読むこと。
たくさんの絵本との出会いが、
子どもたち一人ひとりの未来を大きく開きます。

愛知県初
認定校

認定絵本の取得をめざすなら、
名芸大の子ども発達学科へ！

る「知識」「技能」「感性」について深く学び、絵本について詳しくなることを目指します。学生たちが絵本を用い、関わる活動を企画・実施する力を身に付け、将来、保育や教育など様々な場面で生かしていくことを期待しています。

■ 新任教員紹介

昨年度3月31日をもって学部で大変お世話になった豊田和子先生、木全清博先生がご退任されました。そして、この度3名の先生を新たにお迎えしましたので、ご紹介させていただきます。

<安藤 香先生>

今年度よりお世話になります安藤と申します。昨年度末までは、名古屋市の公立保育園に籍を置いていました。保育園と大学の文化の差に戸惑うこともあり、ご迷惑をおかけしております。

学生さんはとても素直な方が多いです。素直で、人の話を聞ける方が多くいらっしゃいます。多少自己肯定



感が低い所も感じますので、学びの力で払拭して欲しいと願っています。学ぶ中で、将来の目標に向かってはばたいて頂きたいです。今はそのお手伝いが出来たら幸せだと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

<鍵野いずみ先生>

子どもたちにつくったり表したりすることの「楽しさ」を伝えることができるような教師や保育士になってもらいたい、そんな願いをもって



います。そのために、大学でも学生自身が「つくる喜び」を体験できる授業をめざしています。図画工作科の授業や幼児の造形活動は、創造することの楽しさを感じるとともに、思考・判断し表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること、生活の中の造形や美術文化に関心をもって、生涯にわたり主体的に関わっていく態度を育むことをめざしています。40年近く、小学校、中学校の現場で教師を続けてきた経験を生かして実践的に進めていきたいと思っています。

<土井謙次先生>

丹波地区(江南・犬山・岩倉・丹羽郡)の小中学校や教育行政での38年間の勤務を終え、この4月よりお世話になっています。主に社会科指導、教育課程論を担当しています。

大学オーケストラ出身ということもあり、これまでも東キャンパス音楽講堂に足を運んだり、名芸大フィルハーモニー管弦楽団の演奏会も聴いたりしてきました。本大学との深いご縁を感じています。

今、小中学校の現場では、毎年多くの退職者があり、これからの教育を担う若い教員が必要です。また、出産や育児で休暇を取る教員も大変増え、代替講師の絶対量が足りません。今回のご縁で本大学の教員となった以上、現場ですぐに活躍できる即戦力教員を、どんどん送り出したいと思っています。どうか、よろしくお願いします。

人間発達学部長 溝口哲夫



学務部報告

今回は、学務部報告といたしまして、平成30年度就職状況、オンライン授業の実施状況の2点についてご報告・説明をさせていただきます。

令和元年度の就職状況について学部ごとにご説明いたします。

音楽学部の就職率は、令和2年5月1日現在、就職・進学希望者86名に対して就職・進学者81名で94.2%でございました。昨年度が96.5%でしたので、好調な就職を持続しております。特色といたしましては、平成31年度は、公立学校教員に4名が採用されたのをはじめ、防衛省自衛隊(海上自衛隊音楽隊)等、公務員採用が多いことが大きな特色となっています。また、音楽講師、音楽家の合計が17名と、専門性を活かした進路選択が可能となっています。一般企業についても、ヤマハ、カワイ、各地の音楽ホール、劇場等、本学における学びを活かした就職が多いことが特色となっています。

人間発達学部の就職率は、3年連続で100%を達成いたしました。特色といたしましては、人間発達学部は教員養成・保育系学部でございますので、小学校教諭、幼稚園教員教諭、保育士の資格を活かした就職が中心であることです。内訳については、公立小学校教員、私立幼稚園教員14名、認定こども園、福祉施設等へ27名が就職しており、卒業生63名に対して約65%が本学で取得した免許・資格による就職をしています。

美術学部・デザイン学部の就職率は、それぞれ、86%、84.5%で合計しますと、85%でございました。美術学部の進路の特徴といたしましては、大学院等への進学が12名で、卒業生69名に対して約17%にのぼる点です。さらに深く専門性を追求したい学生が多いのだと思われます。就職実績の内訳は、フリーランス・作家活動11名、公立・私立学校教員3名、一般企業30名でございました。一般企業30名中の約半数は、デザイナー等の専門職として就職しており、専門性を活かした就職ができている事と考えております。

デザイン学部の進路の特色といたしましては、就職希望者の内、一般企業へ約77%の学生が就職し、その内訳のつきましても、デザイナー等のクリエイティブ職60名、専門技術職19名で、就職全体の136名中、約58%の学生が、専門分野への就職をはたしている事です。

次に本学の大学院の進路状況についてご報告をいたします。

本学の大学院には、音楽研究科、人間発達研究科、美術研究科、デザイン研究科の4研究科がございます。

令和2年3月の修了生は、音楽研究科が7名、人間発達研究科は1名、美術研究科が3名、デザイン研究科が5名で、

就職率につきましては、音楽研究科、人間発達学研究科が就職希望者に対して100%、美術研究科、デザイン研究科が71%、がございました。特色といたしましては、専門性を活かした就職、教育関係へ就職が多いことだと言えます。

次にオンライン授業の実施状況についてご説明をいたします。

令和2年4月7日(火)に政府から7都府県を対象に「緊急事態宣言」が発令され、4月10日(金)には愛知県から「緊急事態宣言」が発令、その後、4月16日(木)にその対象地域が全国に拡大されました。本学では、4月8日(水)に「危機対策本部」を立ち上げ、4月9日(木)を5月13日(水)に延期し、オンライン授業を実施すること、レッスン室、練習室、アトリエ等に空気清浄機100台(プラズマクラスター)を設置、飛沫防止のスクリーンの設置、貸出用ノートパソコン、モバイルルータの準備等を決定しました。

オンライン授業の実施に当たって、5月30日までの間、原則としてすべての授業を遠隔授業で実施することにしてオンライン授業を円滑に実施するため、学内に「オンライン授業支援チーム」を設置し、学外のIT企業と協力して学生の皆さん、先生方のサポートを行うこととしました。

オンライン授業の実施方法としては、以下の2種類があります。

- ①オンデマンド型:担当教員が作成した授業動画、授業資料等を、受講生が一定の期間内に視聴し、学習する方法。
- ②リアルタイム型:Web会議システムを用いて担当教員と受講生をリアルタイムに接続し、授業を実施する方法。原則として、時間割通りの時間帯に実施されます。

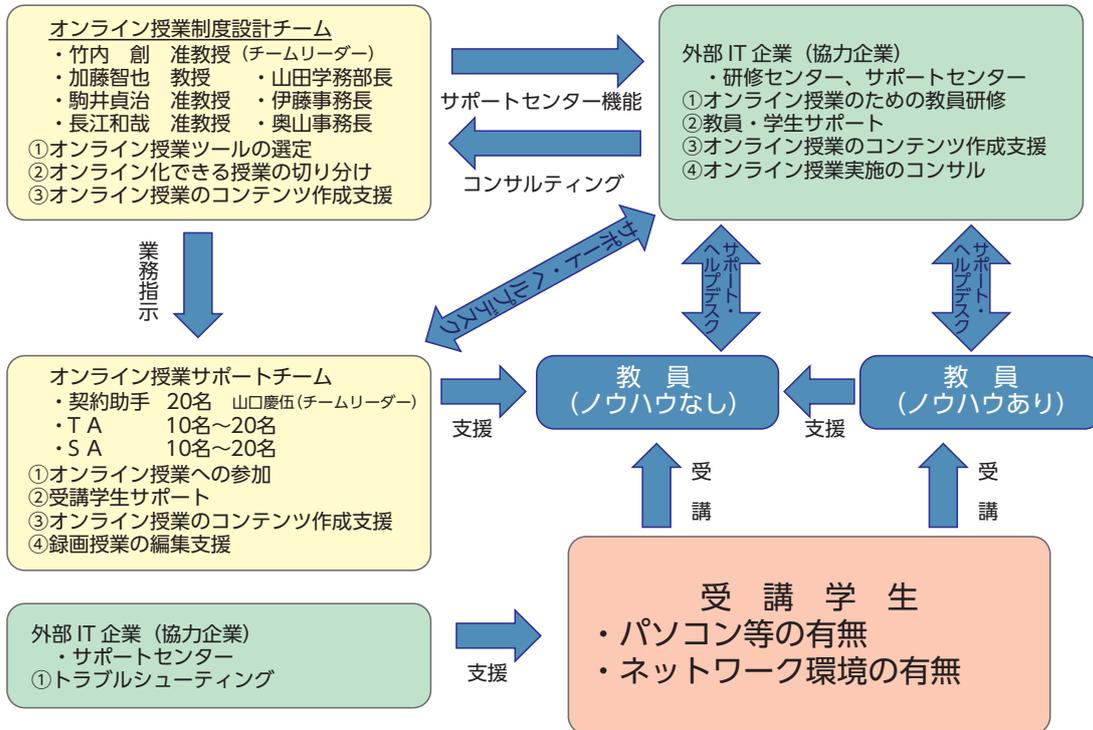
本学では、授業の登録、オンデマンド型の動画、教材の提示に「Google Classroom」、リアルタイム型の授業配信に「Google Meet」を使用してオンライン授業を実施いたしました。

すべての授業にClassroomが作られますので、令和2年度前期では約1,500のClassroomが運営されました。学生の皆さんは履修登録した授業のClassroomにアクセスし、動画の視聴や教材のダウンロードをしたり、Meetを利用したリアルタイム型の授業に出席することが出来ます。

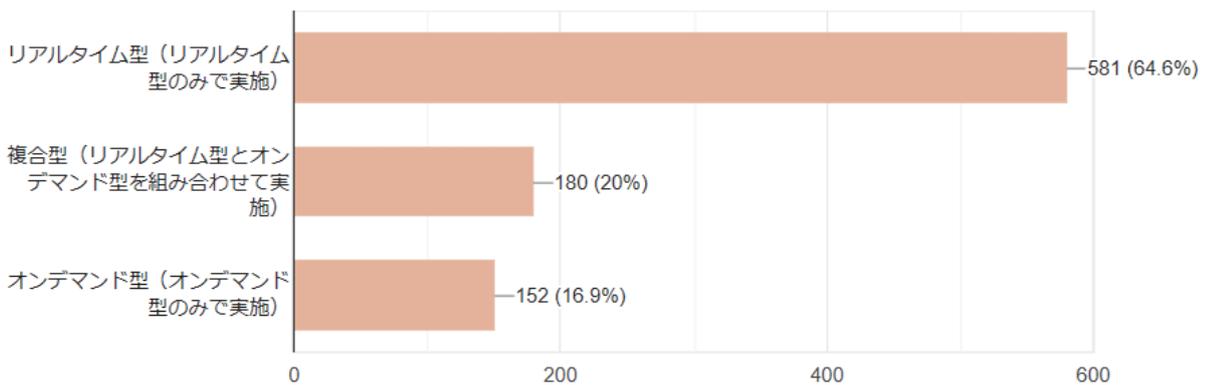
オンデマンド型とリアルタイム型の割合は、先生方にアンケートを実施したところ、リアルタイム型のみで実施が64.6%、オンデマンド型とリアルタイム型の複合で実施が20%、オンデマンド型のみで実施は16.9%でした。

名古屋芸術大学 オンライン授業実施スキーム

オンライン授業支援チーム



授業形態に関するアンケート (回答数：900)



5月13日(水)のオンライン授業実施時においては、学生の皆さん、先生方からの質問が100件以上「オンライン授業サポートチーム」に寄せられ、少し混乱しましたが、5月15日(金)の段階では10件程度となり、8月の段階では、質問等はほとんどない状況になり、順調に実施されています。

文部科学省の調査では7月1日の段階で全国の大学の内、約20%の大学がすべての授業をオンライン授業で実施している状況ですが、本学では6月1日から感染予防対

策を徹底したうえで、実技授業の一部を対面授業に移行し、7月1日以降は実技授業については原則として対面授業、講義科目については原則としてオンライン授業のハイブリット方式で運営しています。

最後に、後援会の皆様の方からのご支援に対して心から感謝を申し上げます。今後も皆様のご意見をいただきながら、学務部の運営に努めてまいり所存です。ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

学務部長 山田芳樹

2020年度学生数

2020年5月1日現在 総学生数 2,118人

学部	学科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
芸術学部	音楽領域	85	130	215	65	106	171	37	84	121	28	59	87	594
	美術領域	33	56	89	27	65	92	21	54	75	11	60	71	327
	デザイン領域	89	131	220	67	131	198	72	126	198	43	105	148	764
	芸術教養領域	7	21	28	11	19	30	2	12	14	1	3	4	76
	芸術学部小計	214	338	552	170	321	491	132	276	408	83	227	310	1761
音楽学部	演奏学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	音楽文化創造学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	7
	音楽学部小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	8
美術学部	美術学科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	7	9	10
デザイン学部	デザイン学科	0	0	0	0	3	3	3	5	8	10	12	22	33
人間発達学部	子ども発達学科	13	35	48	19	46	65	21	44	65	17	58	75	253
学部生合計		227	373	600	189	370	559	157	325	482	120	304	424	2065

研究科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音楽研究科	1	9	10	3	2	5	15
美術研究科	1	1	2	3	4	7	9
デザイン研究科	5	13	18	6	3	9	27
人間発達学研究所	0	0	0	1	1	2	2
大学院生合計	7	23	30	13	10	23	53

大学へのお問合せ先一覧

内容	担当部署	電話番号
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (芸術学部音楽領域・芸術教養領域/人間発達学部) 0568-24-0315(代)
成績について 証明書発行について 休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	教務学生課	
大学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	
教員免許・学芸員資格について 就職について	キャリアセンター(キャリアサポート室)	西キャンパス (芸術学部美術領域・デザイン領域) 0568-24-0325(代)
交換留学について	国際交流センター(国際交流センター室)	
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)	0568-24-0359(直通)
音楽領域主催の演奏会等について	演奏課	東キャンパス 0568-24-5141(直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター	西キャンパス 0568-24-0325(代表)
後援会について	後援会事務局	東キャンパス 0568-26-3355(直通)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお答えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女・ご子息の「学籍番号」の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお答えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることが出来ませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

2020年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定	月	日	曜日	後期行事予定
4月	1	水	入学式(中止)	10月	15	木	防災訓練(東)
	29	水	休校 昭和の日		16	金	履修削除期間(10/16~10/22)
5月	1	金	休校 開学記念日		17	土	AO入試1期
	3	日	休校 憲法記念日		24	土	特別公開講座
	4	月	休校 みどりの日	30	金	芸大祭(10/30~11/2)	
	5	火	休校 こどもの日	11月	2	月	芸大祭片付け 振替休日
	6	水	振替休日		3	火	授業日 文化の日
	7	木	新入生オリエンテーション(5/7~5/12)		21	土	一般推薦/指定校推薦/社会人1期/海外帰国1期/外国人留学生1期/3年編入1期
	13	水	前期授業開始日		22	日	学院創立記念日
6月	16	土	履修登録変更期間(5/16~5/19)	23	月	授業日 勤労感謝の日	
	10	水	履修削除期間(6/10~6/16)	28	土	超領域入試	
	20	土	WEBオープンキャンパス	12月	12	土	AO入試2期/大学入試人間1期
27	土	来場型オープンキャンパス	22		火	3年生補講(12/22~26,28)	
7月	11	土	WEBオープンキャンパス		29	火	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
	23	木	授業日 海の日	1月	11	月	成人の日
	24	金	授業日 スポーツの日		19	火	3年生補講(1/19~21)
	25	土	来場型オープンキャンパス		22	金	試験期間(1/22・23・25)
8月	8	土	WEBオープンキャンパス		26	火	3年生補講(1/26~29)
	10	月	授業日 山の日	2月	2	火	一般1期/社会人2期/海外帰国2期/外国人留学生2期/3年編入2期
	17	月	教員免許状更新講習(8/17~8/24)		3	水	後期試験成績発表
	19	水	試験期間(8/19・20)		5	金	後期追再試験
	25	火	教員免許状更新講習(予備日)		6	土	大学院入試音楽・美術・デザイン1期・人間2期
	29	土	来場型オープンキャンパス		8	月	後期追再試験(2/8・9)
9月	1	火	前期試験成績発表		8	月	保育所実習I・II・地域活動(2/8~2/20)
	1	火	研究生考査(9月入学)	11	木	休校 建国記念の日	
	3	木	前期追再試験(9/3~9/5)	17	水	後期追再試験可否発表	
	11	金	前期追再試験可否発表	23	火	休校 天皇誕生日	
	16	水	前期卒業判定会議	3月	2	火	一般入試2期
	16	水	履修登録期間(9/16・17)		3	水	卒業判定会議
	18	金	後期授業開始		8	月	研究生考査(4月入学)
	21	月	授業日 敬老の日		10	水	進級判定会議
	22	火	授業日 秋分の日		18	木	卒業式
	23	水	履修登録変更期間(9/23・24)		20	土	休校 春分の日
	28	月	幼稚園応用実習・小学校実習 人3年専門科目休講(9/28~10/16)		24	水	AO入試3期
				25	木	新年度オリエンテーション予定(3/25~3/27)	

2020年度 年間行事予定表【芸術学部音楽領域 / 芸術教養領域】

前期行事予定			後期行事予定			
月	日	曜日	月	日	曜日	
4月	1	水	10月	15	木	
		入学式（中止）			16	金
	29	水			履修削除期間（10/16～10/22）	
5月	1	金		17	土	
		休校 開学記念日			AO入試1期	
	3	日		30	金	
		休校 憲法記念日			芸大祭（10/30～11/2）	
	4	月	11月	2	月	
		休校 みどりの日				芸大祭片付け 振替休日
	5	火			3	火
		休校 こどもの日				授業日 文化の日
6	水			21	土	
	振替休日				一般推薦1期 / 指定校推薦 / 社会人1期 / 海外帰国1期 / 外国人留学生1期 / 3年編入1期	
7	木			22	日	
	新入生オリエンテーション（5/7～5/12）				学院創立記念日	
	13	水		23	月	
		前期授業開始			授業日 勤労感謝の日	
	16	土		24	火	
		履修登録変更期間（5/16～5/19）			後期実技試験曲目提出期間（11/24～12/7）	
6月	10	水		28	土	
		履修削除期間（6/10～6/16）			超領域入試	
	20	土	12月	12	土	
	WEBオープンキャンパス				AO入試2期 / 大学入試人間1期	
	27	土		29	火	
		来場型オープンキャンパス			冬期一斉休業期間（12/29～1/3）	
7月	11	土	1月	11	月	
		WEBオープンキャンパス				成人の日
	15	水			19	火
		前期実技試験曲目提出期間（7/15～7/28）			実技試験（1/19～1/21）	
	23	木		22	金	
		授業日 海の日			試験期間（1/22・23・25）	
	24	金	2月	2	火	
	授業日 スポーツの日				一般1期 / 社会人2期 / 海外帰国2期 / 外国人留学生2期 / 3年編入2期	
	25	土			3	水
	来場型オープンキャンパス					後期試験成績発表
8月	8	土			5	金
		WEBオープンキャンパス				後期追再試験
	10	月			6	土
		授業日 山の日				大学院入試音楽・美術・デザイン1期・人間2期
	17	月		8	月	
		教員免許状更新講習（8/17～8/24）			後期追再試験（2/8・9）	
	17	月		11	木	
	実技試験（8/17・18）			休校 建国記念の日		
	19	水		17	水	
	試験期間（8/19・20）				後期追再試験合否発表	
	25	火		23	火	
	教員免許状更新講習（予備日）				休校 天皇誕生日	
	29	土	3月	2	火	
	来場型オープンキャンパス					一般入試2期
9月	1	火			3	水
		前期試験成績発表				卒業判定会議
	1	火			8	月
		研究生考査（9月入学）				研究生考査（4月入学）
	3	木			10	水
		前期追試試験（9/3～9/5）				進級判定会議
	11	金			18	木
		前期追再試験合否発表				卒業式
	16	水			20	土
		前期卒業判定会議			休校 春分の日	
	16	水		24	水	
	履修登録期間（9/16・17）			AO入試3期		
18	金		25	木		
	後期授業開始			オリエンテーション予定（3/25～3/27）		
21	月					
	授業日 敬老の日					
22	火					
	授業日 秋分の日					
23	水					
	履修登録変更期間（9/23・24）					

2020年度 年間行事予定表【芸術学部美術領域/デザイン領域】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	水	入学式(中止)
	29	水	休校 昭和の日
5月	1	金	休校 開学記念日
	3	日	休校 憲法記念日
	4	月	休校 みどりの日
	5	火	休校 こどもの日
	6	水	振替休日
	7	木	新入生オリエンテーション (5/7~5/12)
	7	木	2~4年生前期履修登録変更期間 (5/7・8)
	11	月	前期履修登録変更日
6月	13	水	前期授業開始
	10	水	前期履修削除期間(6/10~6/16)
	20	土	WEBオープンキャンパス
7月	27	土	来場型オープンキャンパス
	11	土	WEBオープンキャンパス
	23	木	授業日 海の日
	24	金	授業日 スポーツの日
8月	25	土	来場型オープンキャンパス
	8	土	WEBオープンキャンパス
	10	月	授業日 山の日
	17	月	教員免許状更新講習(8/17~8/24)
	19	水	前期試験期間(8/19・20)
	25	火	教員免許状更新講習(予備日)
9月	29	土	来場型オープンキャンパス
	1	火	前期試験成績発表
	1	火	研究生考査(9月入学)
	3	木	前期追再試験期間(9/3~9/5)
	11	金	前期追再試験合否発表
	16	水	前期卒業判定会議
	16	水	後期オリエンテーション
	17	木	後期履修登録
	18	金	後期授業開始
	18	金	後期履修登録変更期間(9/18~9/25)
10月	21	月	授業日 敬老の日
	22	火	授業日 秋分の日

月	日	曜日	後期行事予定
10月	8	木	防災訓練(西)
	16	金	後期履修削除期間(10/16~10/22)
	17	土	AO入試1期
11月	30	金	芸大祭(10/30~11/2)
	2	月	芸大祭後片付け
12月	3	火	授業日 文化の日
	21	土	一般推薦/指定校推薦/社会人1期/ 海外帰国1期/外国人留学生1期/ 3年編入1期
	22	日	学院創立記念日
	23	月	授業日 勤労感謝の日
	28	土	超領域入試
	12	土	AO入試2期
	29	火	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
1月	11	月	休校 成人の日
	22	金	後期試験期間(1/22・23・25)
2月	2	火	一般1期/社会人2期/海外帰国2期/ 外国人留学生2期/3年編入2期
	3	水	後期試験成績発表
	5	金	後期追再試験(2/5・8・9)
	6	土	大学院入試音楽・美術・デザイン1期・ 人間2期
	11	木	休校 建国記念の日
3月	17	水	後期追再試験合否発表
	23	火	休校 天皇誕生日
	2	火	一般入試2期
	3	水	卒業判定会議
	8	月	研究生考査(4月入学)
	10	水	進級判定会議
	18	木	卒業式
	20	土	休校 春分の日
	24	水	AO入試3期
	25	木	新年度在学生オリエンテーション予定 (3/25~3/27)



キャリア支援の紹介

キャリア教育を充実させるために、従来の「キャリア1」、「キャリア2」に加えて「キャリア3」、「キャリア4」を開設し、2020年度前期に開講いたしました。正課外で開設していた各種キャリア支援講座を正課のカリキュラムとし単位化いたしました。

キャリア3 シラバス

回	授業計画
第1回	オリエンテーション（新授業の内容と講師紹介）
第2回	キャリアセンターによる講義
第3回	キャリアセンターによる講義
第4回	生活と法的リスク①「日常生活上の法的リスクを学ぶ」
第5回	リカレント教育について
第6回	生活と法的リスク②「学校生活上の法的リスクを学ぶ」
第7回	生活と法的リスク③「家族生活での法的リスクを学ぶ」
第8回	人生と学習①「中小企業の社長から学ぶ」
第9回	人生と学習②「自ら経営する法人、運営する組織から学ぶ」
第10回	公的年金と企業年金の知識を学ぶ
第11回	男女平等社会の管理職①「企業経営から見た男女平等社会」
第12回	男女平等社会の管理職②「管理職の仕事と管理職の心得」
第13回	男女平等社会の管理職③「男女平等社会のキャリア形成」

キャリア4 シラバス

回	授業計画
第1回	ガイダンス～就職活動を通じて実現するキャリア
第2回	就職活動の成功事例① 卒業生から学ぶ
第3回	就職活動とキャリア 就活対策の全容を知る
第4回	職種研究の実践 業種と職種について学ぶ
第5回	業界研究と企業研究の実践① 業界研究・企業研究の全容を知る
第6回	業界研究と企業研究の実践② 収集した情報の整理と発表を行う
第7回	履歴書とエントリーシート① 履歴書とエントリーシートの概観を知る
第8回	履歴書とエントリーシート② 書き方の要点を掴む
第9回	筆記試験対策 筆記試験対策の学習方法について学ぶ
第10回	就職活動における面接 面接の種類と特徴を知る
第11回	面接対策① グループディスカッション・集団面接の概観を知る
第12回	面接対策② 個人面接を体験する
第13回	講座のまとめ

2020年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

《音楽領域・芸術教養領域》

月	学 年	ガイダンス ・キャリア支援講座等
4	2年生	教職オリエンテーション
5	1年生	キャリア+教職オリエンテーション
6	3年生	就職ガイダンス（インターンシップ講座）
		中・高等学校教育実習申込オリエンテーション
	3・4年生	介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション(全体・社福) (人間発達学部のみ介護等体験授業内)
	留学生	就職ガイダンス（日本で就職するためには）
7	4年生	教育実習直前オリエンテーション
		博物館実習最終説明会
9	3年生	後期スタートアップ オリエンテーション
		介護等体験オリエンテーション（特支）
		学芸員課程オリエンテーション（実習申込）
	4年生	教員免許状一括申請第1回説明会
9 ・ 10	3年生	音楽・エンタメ業界研究①～業界の全体像と基礎知識
		音楽・エンタメ業界研究② ～分野別研究(ゲーム、アニメ、ライブイベント、声優)
11	3年生	(企業希望者) 就活直前ガイダンス
		(公務員【行政職等】・教員希望者) 就活直前ガイダンス
	4年生	教員免許状一括申請第2回説明会

※5～3月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施します。



《美術領域・デザイン領域》

月	学 年	ガイダンス ・ キャリア支援講座等
4	1 年生	学芸員資格取得オリエンテーション
		教職課程 前期オリエンテーション
5	2・3 年生	学芸員資格取得オリエンテーション
	3 年生	教職課程 前期オリエンテーション
6	3 年生	就職ガイダンス（インターンシップ講座）
		就職ガイダンス（ポートフォリオ対策①）
		就職ガイダンス（デザイン業界研究）
	留学生	就職ガイダンス（日本で就職するためには）
7	3 年生	介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション（全体・社福）
		就職ガイダンス（ポートフォリオ対策②）
9	4 年生	博物館実習最終説明会
	3 年生	教職課程オリエンテーション（履修カルテ説明）
		教職課程オリエンテーション（教職・介護等体験申込み）
		介護等体験オリエンテーション（特支）
	4 年生	学芸員課程オリエンテーション（実習申込）
3 年生	後期スタートアップ オリエンテーション	
10	3 年生	教員免許状一括申請第 1 回説明会
		4 年生による就職活動体験報告会
11	3 年生	就職ガイダンス（ポートフォリオ対策③）
		就活直前ガイダンス
12	4 年生	教員免許状一括申請第 2 回説明会
		3 年生

※ 5～3 月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施。

不 定 期 学内企業説明会を実施。

《人間発達学部》

月	学 年	ガイダンス ・ キャリア支援講座等
4	3年生	教職オリエンテーション
	4年生	教職オリエンテーション
5	1年生	キャリア+教職オリエンテーション
6	1年生	保育士資格取得申込オリエンテーション
	2年生	ゼミ2で希望免許・資格最終確認
		小学校教育実習申込オリエンテーション
		幼稚園教育実習申込オリエンテーション
		県外保育実習希望者オリエンテーション
	3・4年生	小学校教育実習直前オリエンテーション（教育実習指導（小学校）授業内）
介護等体験事前指導及び介護等体験オリエンテーション（全体・社福） （人間発達学部のみ介護等体験授業内）		
9	3年生	後期スタートアップ オリエンテーション
		介護等体験オリエンテーション（特支）
	4年生	教員免許状一括申請第1回説明会
10	4年生	保育士登録説明会
11	3年生	（企業希望者） 就活直前ガイダンス
		（公務員【行政職等】・教員希望者） 就活直前ガイダンス
	4年生	教員免許状一括申請第2回説明会
12	1年生	保育士資格取得の申し込み
	2・3年生	保育所実習ⅠⅡ直前オリエンテーション（保育実習指導（保育所）全体会）
1	3年生	就職支援セミナー（卒業生の保育士や内定者によるアドバイス）
未定	3年生	施設実習オリエンテーション

※5～3月 全学年対象 就職支援・資格取得講座を実施します。

2019年度進路状況

音楽学部

令和2年5月1日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
		教育関係	公立学校教員	2	1	1	2		2
	私立学校教員					0	0	0	
	その他教育機関(海外等)					0	0	0	
	小計	2	1	0	1	2	2	4	
福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)	1		5	0	6	6	6	
	小計	0	1	0	5	0	6	6	
就	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	3			0	3	3	
		楽器店講師	2		1	0	3	3	
		自宅教室(ピアノ)					0	0	0
		自宅教室(他)					0	0	0
		幼稚園・保育所					0	0	0
	小計	0	5	0	1	0	6	6	
職	音楽家	奏者(フリー)	1	2			1	2	3
		ミュージカル・アーティスト等			1	7	1	7	8
		小計	1	2	1	7	2	9	11
		一般企業	2	7	6	29	8	36	44
		各種団体等					0	0	0
	小計	2	7	6	29	8	36	44	
公務員	行政職					0	0	0	
	その他		1			0	1	1	
	小計	0	1	0	0	0	1	1	
合計		5	17	7	43	12	60	72	
進学	大学院	1	6			1	6	7	
	研究生	1	1			1	1	2	
	海外(留学)	0				0	0	0	
	その他(大学・専門等)					0	0	0	
	合計	2	7	0	0	2	7	9	
就職・進学希望なし	結婚・家事等			1	0	1	1	1	
	その他	2	3	4	3	6	9	9	
	合計	0	2	3	5	3	7	10	
就職活動継続中	講師登録・その他	1	2	2	2	3	5	5	
	合計	0	1	2	2	2	3	5	
総合計		7	27	12	50	19	77	96	
卒業生数(9月卒業含む)		7	27	12	50	19	77	96	
就職・進学希望者数		7	25	9	45	16	70	86	
就職・進学者数		7	24	7	43	14	67	81	
就職・進学率		100.0%	96.0%	77.8%	95.6%	87.5%	95.7%	94.2%	

美術学部・デザイン学部

令和2年5月1日現在

		美術学部美術学科			デザイン学部デザイン学科			合計		総計	
		男	女	計	男	女	計	男	女		
		教育関係	公立学校教員(常勤・非常勤講師含む)	1	2	3	0	0	0		1
	私立学校教員(常勤・非常勤講師含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1	2	3	0	0	0	1	2	3	
	フリーランス・作家活動	3	8	11	1	4	5	4	12	16	
	小計	3	8	11	1	4	5	4	12	16	
就	一般企業等(職種別)	クリエイティブ職(デザイナー職等)	2	9	11	14	46	60	16	55	71
		専門技術職(機械設計職等)	1	2	3	8	11	19	9	13	22
		総合職	0	0	0	1	2	3	1	2	3
		販売職	1	5	6	2	14	16	3	19	22
		営業職	1	1	2	3	3	6	4	4	8
		事務職	1	2	3	1	7	8	2	9	11
		その他	0	5	5	3	12	15	3	17	20
	小計	6	24	30	32	95	127	38	119	157	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
	小計	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
合計		10	34	44	34	99	133	44	133	177	
進学	大学院	1	2	3	0	1	1	1	3	4	
	研究生	4	1	5	0	1	1	4	2	6	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	1	3	4	0	1	1	1	4	5	
	合計	6	6	12	0	3	3	6	9	15	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	2	4	2	1	3	4	3	7	
	合計	2	2	4	2	1	3	4	3	7	
活動中(調査中)	講師登録・その他	3	6	9	14	11	25	17	17	34	
	合計	3	6	9	14	11	25	17	17	34	
総合計		21	48	69	50	114	164	71	162	233	
卒業生数(9月卒業含む)		21	48	69	50	114	164	71	162	233	
就職・進学希望者数		19	46	65	48	113	161	67	159	226	
就職・進学者数		16	40	56	34	102	136	50	142	192	
就職・進学率		84.2%	87.0%	86.0%	70.8%	90.3%	84.5%	74.6%	89.3%	85.0%	

人間発達学部

令和2年5月1日現在

		子ども発達学科		総計
		男	女	
		教育関係	公立学校教員	
	公立幼稚園教員			0
	私立幼稚園教員	1	7	8
	その他の教育機関			0
	小計	3	11	14
認定(1)も園	幼保連携型・幼稚園型	0	3	3
	幼保連携型・保育園型	0	5	5
	小計	0	8	8
福祉関係	公立保育所	1	4	5
	私立保育所	1	10	11
	福祉施設等(保育士等)	1	1	2
	学童保育所(クラブ)	1		1
	小計	4	15	19
	一般企業	8	10	18
	各種団体等			0
	小計	8	10	18
公務員	その他			0
	小計	0	0	0
合計		15	44	59
進学	大学院			0
	研究生			0
	海外(留学)			0
	その他(大学・専門等)			0
	合計	0	0	0
就職・進学希望なし	結婚・家事等	1	1	1
	その他	3	3	3
	合計	0	4	4
就職活動継続中	講師登録・その他	0	0	0
	合計	0	0	0
総合計		15	48	63
卒業生数		15	48	63
就職・進学希望者数		15	44	59
就職・進学者数		15	44	59
就職・進学率(%)		100.0%	100.0%	100.0%

CONCERT GUIDE

2020年度 名古屋芸術大学 演奏会案内

10 October

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団
第5回定期演奏会
日 時/2020年10月22日(木) 18:30開演
会 場/三井住友海上 しらかわホール
入 場 料/無料 (要事前申込)

11 November

第43回定期演奏会
日 時/2020年11月12日(木) 18:00開演
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料 (要事前申込)

オペラ公演 ガラコンサート

日 時/2020年11月14日(土) A公演 14:00開演
B公演 18:00開演
会 場/西文化小劇場
入 場 料/1,000円

日 時/2020年11月15日(日) C公演 14:00開演
D公演 18:00開演
会 場/西文化小劇場
入 場 料/1,000円

室内楽の夕べ 2020

日 時/2020年11月27日(金) 17:30開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料

12 December

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団
第6回定期演奏会
日 時/2020年12月17日(木) 18:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入 場 料/未定

1 January

名古屋芸術大学フィルハーモニー管弦楽団
第7回定期演奏会
日 時/2021年1月29日(金) 18:30開演予定
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入 場 料/未定

第19回 歌曲の夕べ

日 時/2021年1月30日(土) 18:30開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料

2 February

研究生修了演奏会

日 時/2021年2月5日(金) 18:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料

ミュージカル公演

日 時/2021年2月10日(水)予定 開演時間未定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/未定

大学院音楽研究科特別演奏会

日 時/2021年2月12日(金) 18:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料

Kaleidoscope2021

日 時/2021年2月13日(土) 開演時間未定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 2号館 3F
入 場 料/未定

ピアノのしらべ 第25回 春のコンサート

日 時/2021年2月19日(金) 17:30開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料

第22回大学院音楽研究科修了演奏会

日 時/2021年2月25日(木) 18:00開演予定
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料 (要事前申込)

3 March

第47回卒業演奏会

日 時/2021年3月4日(木) 17:00開演予定
会 場/三井住友海上しらかわホール
入 場 料/無料 (要事前申込)

ポップス・ロック卒業演奏会

日 時/2021年3月6日(土) 15:00開演予定
会 場/名古屋芸術大学東キャンパス 音楽講堂
入 場 料/無料



'19あいちトリエンナーレ名芸大ミュージカル

演奏会にご来場される方へのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の対応を行ってまいります。ご来場の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・演奏会場、開催日時等は予定です。今後の状況により延期、中止、無観客開催などの場合がございます。
- ・感染者が確認された場合の連絡等のため、氏名、連絡先等の提出をお願いしております。
- ・風邪、発熱等の症状がある方は入場をお断りいたします。
- ・マスクの着用をお願いいたします。スタッフもマスク着用で対応いたします。
- ・会場内での会話、声援、他人との接触、途中での席移動はお控えください。
- ・検温、手指の消毒にご協力ください。
- ・あらゆる並び（入場時、トイレの並び等）には、ディスタンスをお取りいただくようお願いいたします。
- ・出演者へのプレゼント、差し入れはできません。
- ・プログラム、チラシの手渡し配布は行いません。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学 演奏課
■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281
■Tel 0568-24-5141



先輩の活躍

2017年度 音楽学部音楽総合コース 卒業

山田美穂

私は現在、東京のライブ関連会社でマニピュレーター／プロンプターとして勤務しています。あまり聞き馴染みのない職業だと思えますが、現代の多くのライブコンサートの舞台裏を支えています。興味がある方はぜひ調べてみてください。

コロナ禍以前の業務と現在(2020年8月上旬)の状況について紹介いたします。

通常の仕事内容はツアーやイベントでのマニピュレーター／プロンプターとしてのオペレート、レンタル業務の補助などです。毎日仕事をする時間・場所・人・内容も様々なので飽きることはありませんし、好きなアーティストと関わることや、新しくアーティストを好きになることが多いのもこの仕事の魅力です。私が大学の時に学んだ、サウンドメディアやアートマネジメントの授業、そしてジャズビックバンドサークルでの演奏活動で身につけた、クリエイター・裏方・プレイヤーとしての視点がこの仕事での武器になっています。



2020年2月下旬、回っていたツアーで感染者が確認され、その直後2箇所の公演が中止になりました。そこから一気にほぼ全ての現場が無くなり会社も休業に入りました。私たち現場業務の部署は8月現在も休業が続いており、現場がある日以外は休みです。国からの助成金が休業手当として支払われていますが貯金を切り崩して生活しています。

ただ、最近、現場数は少しずつ増えてきて、8月頭には約5ヶ月ぶりにお客様を入れてのライブに立ち会いました。久しぶりに現場へ行って感じたのは「やっぱりこの仕事が好きでこれからも続けていきたい」ということです。

コロナで大きな影響を受けているライブ業界で生き残るには、会社はもちろん個人単位でも工夫や頑張りが必要になってきました。私の会社もライブ配信事業を始めました。個人的には仕事がない分たくさん時間があるので、音響の基礎を学び直したり、学生ぶりに作曲を始めたりとある意味有意義に過ごしています。

今後全てが元通りになるかもわかりませんが、ライブ業界を目指す学生の皆さんも夢を諦めず、今できることを頑張ってください。

(株式会社 サウンドクルー 勤務)

「好きなことをやろう」

2011年度 人間発達学部卒業

高島大輔

名古屋芸術大学を卒業後は保育園で勤務をしながらバンドを結成し音楽活動にも打ち込んできました。保育園では個別の配慮が必要なお子さんを支援する加配保育士として勤務。(現在はNUA法人新設のこども園で勤務)休日や仕事後の空き時間を使いながら、楽曲制作やレコーディング、全国各地をツアーで回りました。

東京でライブをした後は大体そのままとんぼ返りで、運



転はバンドメンバーにお願いし車内で数時間睡眠をとって、そのまま次の日、保育園に勤務をする日もありました。

二足のわらじを履いていることに対して、「どちらも中途半端になるんじゃないか」と言われることもありましたが、好奇心に真っ直ぐな子どもたちや、バンドのファンの方やミュージシャンたちとの出会いを通して、一度きりの人生やりたいことは全部やろうと考えるようになり、両立をさせることができました。

この記事を読んでいる皆さんへ、いつ終わるのかわからない一度きりの人生、まじめなことばかりに捉われず、子どものような遊び心と好奇心を忘れずにいてください。

(社会福祉法人NUA 認定こども園 森のくまっこ 勤務)

「30歳、新設園での挑戦」

2011年度 人間発達学部卒業

小林大祐

私は昨年度まで私立の保育園で8年間勤務をしていました。

以前から、他の園ではどのような保育をしているのだろう、もう一度自分の保育を見直したいという思いがあり、今年度からは私自身が卒業した名古屋芸術大学が運営する子ども園で働いています。

私は幼少期よりピアノを習っており、今ではひとつの武



器として、園では子どもたちと一緒にピアノに合わせて歌っています。

私が保育の中で大事にしていることは、苦手なことを初めから諦めるのではなく、少しでもやってみようかなと思える気持ちを心の中で持てるきっかけを作ることです。私にもピアノが嫌いになる時期もありましたが、ある子どもの前で演奏した時にとっても喜んでくれて、もっと頑張ろうと思うことができました。少しのきっかけがあるだけで、苦手が得意になったり、新しい発見もあると思います。

もちろん無理にやらせるのではなく、子どもの自主性を大事にし、これからも楽しく保育をしていきたいです。

(社会福祉法人NUA 認定こども園 森のくまっこ 勤務)





「一緒にアニメを作らないか」

2019年度 美術学部 美術学科卒業

中村大樹



「一緒にアニメを作らないか」友人のその一言が今の私をつくり上げたと言っても過言ではありません。美術が好きでも具体的にやりたい事がなかった私は、様々な分野に一通り触れられるアートクリエイターコースに入りました。その後すぐ友人に誘われ、4年間アニメ作りに没頭する日々が始まりました。

アニメが特段好きなわけでもなかった私ですが、趣味で書いていた物語をアニメーションという手法で表現するのは面白そうだと思い、友人の誘いに乗って自主制作チームを立ち上げました。本格的なアニメ作りを学ぶ授業はありませんでしたが、独学で試行錯誤しながら制作する時間はたっぷりありました。

3年かけて制作した短編映画のエンドロールには、学年学部関係なく約40人の名前が並びました。アニメ作りは工程が多いので大人数が制作に関わります。管理が

大変で時間もかかりましたが、完成した時は個人で制作していた時とは比べ物にならないほどの達成感が得られました。

現在私はアニメーション制作会社で制作進行として働いています。30分のテレビアニメを制作するのに欠かせないアニメーターを確保し、各々の仕事状況を把握しながらスケジュール通りに制作を進めるのが制作進行の役割です。場合によっては30人以上のクリエイターの仕事を1人で管理することもあります。その他にも映像素材の流れを管理したり打ち合わせ日程を考えたりと、正直仕事量がとても多くて大変です。

私は絵が上手いわけではなかったのですが、アニメーターではなく事務職に近い制作進行として就職しましたが、将来的には演出や監督など絵を描く役職にステップアップするために今も勉強中です。

この道に進むきっかけをつくってくれた友人、大勢で作品を作る面白さを教えてくれたチームメンバー、陰で見守って下さった教授方にはとても感謝しています。これからも学生時代の経験を糧に、自分の夢に向かって日々精進してまいります。

(アニメーション制作会社 勤務)

「夢を叶えるために」

2019年度 デザイン学部

デザイン学科卒業 加藤菜月



私は現在、食品メーカーのデザイン職として働いています。デザイン職の主な仕事としては、商品のパッケージの作成を始め、飲食店などに置かれているメニュー表やPOPの作成、SNS用の写真撮影などを行っております。

大学ではメディアデザインコースに所属していたので、学生時代はパッケージやポスターと言ったビジュアルデザインを専門に勉強していたわけではありません。メディアデザインコースでは、映像作品を始めグラフィック作品やプロダクト作品など幅広く作品を作成してきました。その中で自分の得意なこと、苦手なことが作成していくなかではっきりとわかってきた気がしました。

大学2年生で、初めてパッケージデザインの勉強をした時に、自分が将来やりたいことはこれだと気づき、就職活動では主に商品パッケージをデザインするパッ

ッケージデザイナーの応募をしている会社を選びました。ただでさえデザイン職は応募数が少ないため、とても競争率が高く、就職活動がなかなか思うようには進みませんでした。

卒業制作と同時進行で就職活動を行うため、気持ちの切り替えがうまく出来ず、頭がパンクしてしまいそうな辛い日々を過ごした時もありました。ですが、パッケージデザイナーになりたいという夢をどうしても諦めきれなくて、ポートフォリオの見直しをしたり、キャリアの方に面接の練習をしていただき、これまでの就職活動とは違う取り組み方を実行した結果、第一志望だった会社から内定をいただきました。

会社に入社して約3ヶ月経ちますがパッケージのデザインは想像している以上に難しくまだまだ経験不足だということを、仕事をしていて感じさせられます。ですが、商品のパッケージは会社の顔でもあります。上手いかわず、デザインに行き詰まって不安になってしまうこともあります。いつか自分がデザインした商品を、市場で目にすることが出来るように日々精進したいと思います。みなさんも上手いかわず悩んでしまうことがあるかもしれませんが、挫けることなく頑張ってください。

(食品メーカー (デザイン職) 勤務)

親の想い

「プロフェッショナルへの意識」

芸術学部 芸術学科 音楽領域
アートマネジメントコース1年生 父 浦野直行



長男の高等学校卒業後の進路選択において、私が思っておりました事を回顧録的に記させていただきます。私自身に対しては、本人の意思・決定を絶対に妨げない。当たり前のことですが、意識的に自らに常に語り掛けておりました。長男には、その後に進む道に向かって「プロフェッショナルへの意識」を身につけて欲しいと願っております。

いずれ社会人として働き、その対価として報酬を得る。この行動はプロフェッショナルのみに許される事を正しく理解をして欲しいと願っております。長男自身、進路決定に納得をして名古屋芸術大学の門をくぐり、学びを得ようとしている姿を目にいたしますと、「素晴らしい先生方、同じ道を目指す多くの仲間に出会うことが出来ているんだな。」と感じております。この出会いに感謝をして、これからの長き人生において大学生活が確固たる基盤になってくれることを願うばかりです。

「子に寄り添って」

芸術学部美術領域 洋画コース 2年生 母 荻須紀子

将来の夢どころか、高校卒業後の進路も考えられずにいる娘を、何とかしなくては、という想いで連れて行ったオープンキャンパスの一つに名古屋芸術大学がありました。

当時娘は骨折をしていて腕が使えず、実技体験コーナーがいくつかあったのにも関わらず、何も体験せず通り過ぎるばかり。ある教室では作品やコースの説明をしてくれる先生がいらしたので、私は質問をしたりして有意義な時間を過ごしました。肝心の娘は後ろに隠れるようにして全く興味なさそうな態度。ここも違うか、と落胆する私に、帰宅した娘が驚いたことに「名芸大に行きたい」と言ったのです。そして“名芸に入る”という目標ができ、前に進む力が湧いたようです。

その後の努力の甲斐もあり、娘はいま“芸大生”。これからも悩み、迷い、立ち止まることでしょう。芸術に関する助言はできませんが、前に進むことができるように、親として見守っていこうと思っています。



「新たな時代への挑戦」

大学院音楽研究科(声楽専攻) 1年生 母 佐藤昭子

私は30年前に名古屋芸術大学を卒業し、娘は大学院声楽を専攻しています。芸術とは、「まず弟子は師匠から学びとり、次に自分のものとして磨き上げ、それを多くの方に披露し感動を伝える」ものと考えます。

以前のように十分な対面指導が難しい中、師匠から弟子への技術伝承を心配しておりましたが、オンライン授業でも声楽の技術が向上しており安心してあります。またテレワーク中の主人は、家でのオンライン授業が授業参観のようで毎回楽しみにしています。

娘のオペラや演奏会が相次ぎ中止となる中、馬場浩子先生からの御紹介で、Ave maria 他3曲を、世界19社の音楽配信会社から配信されるチャンスを頂きました。これからの時代にあった新たな取組みの一つかと考えております。

娘には、生涯音楽を通じて「生きる喜び」「心を動かす」ことができるアーティスト(名芸産の花)になることを願っています。



コロナ禍での教育の提供

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
ビジュアルデザインコース 2年生 父 池田和由

娘が希望していたコースで進級出来ることになり安堵していたのも束の間、新型コロナウィルスの感染が東海地方でも拡大したことで、過去に経験したことのない異常な新年度を迎えることになってしまいました。

講義の開始が延期され、先が見えずただただ過ぎていく日々親としてやきもきし、またオンライン講義が始まっても実技を伴う専門教科については適切な教育が提供されているのかとの不安が積もりました。

しかし、程なく実技教科の対面講義が始まって熱心に課題に取り組む娘の姿が見られるようになるとともに、娘伝に大学での講義の様子が聞けるようになると、その不安も消えていきました。

親として、今回のような前例のない状況下での適切な教育の提供に向けた大学関係者のご尽力に感謝するとともに、娘も様々な方の力添えがあって教育が受けられる事を認識、感謝し、自己のスキル向上に邁進して欲しいと願います。



子の想い

オンライン授業からの学び

芸術学部 芸術学科 音楽領域
ミュージカルコース 3年生 矢野絵里子



『好きなミュージカルのナンバーを録音又は録画して提出すること。』

今春オンライン授業で出された課題です。以前からネット配信に注目していた私にとって、これは心躍る課題です。誰よりも速くハイクオリティな作品を作る意気込みで、ひとりで5役のパートを歌い多重録音、愛用のソフトを使用した動画編集を済ませ提出したのでした。

「これは凄いいね、君にこういう技術があるなら、どんどん発信していくと良いよ。」塚本准教授から評価をいただいたことが大きな自信に繋がりました。その後、この動画をYouTubeに公開したら予想以上の反響があり、どんな状況でも自分にできることを考えて行動することの大切さを知りました。

こうしている間も時は流れています。私は常に新しい活動情報をTwitterから配信していますので、これを機に多くの方にご覧頂けたら嬉しいです。

Twitterはこちらから



https://twitter.com/enri_sing

挑戦への道のり

芸術学部 芸術学科 音楽領域
声楽コース 4年生 酒井陽菜

私は幼少期から音楽を身近に感じて育ちました、三歳でピアノを習い始め小中学校では合唱の伴奏者でした。

高校は音楽科に進学し、ピアノ・声楽をを学び、もっと声楽を勉強したいと名古屋芸術大学に入学し声楽コースに所属しましたが二年生迄は思うように成長できず、何度壁にぶつかり辞めたくなる時もありました。

三年生になり、とても素晴らしい先生と出会い私は大きく変わりました。

生徒一人一人に向き合い四十五分間の短い中で充実したレッスンをしてくださいませ。

私の課題にあった曲を提案して下さり、曲を仕上げるに伴い自分への大きな自信に繋がっていきました。

私には歌うことが無理ではと思っていましたが、歌を歌うことが私の中でとても楽しく幸せだと思えるようになりました。

コロナ禍で演奏会を行えない中、今はしっかり自分に力をつけ次の定期演奏会・卒業演奏会に向け努力するのみです。人との出会いは人生を大きく豊かに変えます。



BORDERLESS 1期生からのファイナルレポート

芸術学部 芸術学科 デザイン領域
メディアデザインコース 4年生 菊井紫乃

全国で緊急事態宣言が解除され、小中高校も会社も再開し、通学途中で乗り換える名古屋駅やビジネス街にも活気が戻り始めた。一部実技系対面授業も再開されたが、授業の基本はオンライン。大学の正常化にはまだほど遠い。就活セミナーは中断。会社説明会はWeb。卒業に必要な単位は3年次までにほぼ取り終えている。今年は週2・3回授業に出れば



いい。あとは卒業制作と就活に専念する計画だった。それが最後にちゃぶ台返しに遭おうとは。ボーダレス改革に共鳴し、名古屋芸大に入学してから早4年。今年は開学50周年。緊急事態宣言解除後も大学は「自粛」を継続し、記念行事は全部中止。大学からは全学生一律5万円(総額1億数千万円)の奨学金まで頂いた。4年間私を支えてくださった教職員の皆様(毎日食べた学食を含む)に心から感謝の気持ちを伝えます。「withコロナ」。混沌(カオス)の時代。アートの力は時代を切り拓く。卒業したらもっと頑張る。退却はしない。前進あるのみ。ありがとう名芸! 頑張ろう、日本!

「先生」

人間発達学部 子ども発達学科 4年生 佐藤彩乃

私が大学生生活で一番影響を受けたのは、実習での子どもたちとの関わりです。

初めて実習に行った際、子どもたちが私のことを「先生」と呼びました。私は初めてそう呼ばれたとき、嬉しいと思いつつも、責任感のある名前に緊張したのを覚えています。

それから保育所、幼稚園の実習にも行き、たくさん子どもたちと生活を共にしながら、一緒に遊んだりなど、活動をする楽しさを覚えつつも、思うように保育活動が出来なかったり、記録が上手く書けず十分に睡眠がとれないなど、辛いこともたくさん経験しました。ですが、園にいくと子どもたちがかわいい笑顔とキラキラしたまなざしで、私を「先生」と呼ぶ姿があることに、何度も救われていたと今になって気が付きました。

自分にとって「先生」という名前は、子どもの育ちや命を守る責任と、子どもを知り、向き合おうとする心、それから、いつでも温かな安心感を与えられるような保育者になりたいという目標を思い出させてくれる、特別な名前だと思っています。



WEST CAMPUS

クラブ・同好会紹介《西キャンパス》

1 テニス部

テニス部は楽しみながらテニスを上達させるという目標掲げる部活です！夏には水遊び、冬にはスキー合宿などのイベントがあります！テニスに興味がある人は是非来てください！



2 GONCE スキー部

毎週月・金曜日に体育館で活動しています！普段はバレーやバトミントンなど、色んなスポーツをします！冬はもちろんスキーをします！気軽に遊びに来て下さい。



3 着付け部

みんなでまったりしながら着付けを練習しています。大須で着物めぐりをしたり、夏休みは明治村へ一緒にお出かけしましょう！



4 バドミントン部

バドミントン部は初心者、経験者関係なく誰でも楽しくバドミントンができる部活です！先輩や色々なコースの人たちと交流が出来る、制作の話など幅が広がると思います！気軽に体験しに来てください！



5 サッカー部

こんにちは！みなさんサッカーは好きですか？いや、そんなことはどうでもいい。サッカー好きでも嫌いでも、上手でも下手でもそんなの関係ない。楽しむ気持ちさえあれば、君の大学生活は輝ける！サッカー部で待ってるよ！



6 動画漫画研究部

動画漫画研究部では年2回のコミケと芸大祭で本やアニメーションを作成します！自分の漫画やイラストを出したい、アニメーションをやってみたい！方は是非漫研へ！



7 自由音楽部

自由音楽部です！みんなでハッピーになりましょう！！



8 軽音部

学校で友達とバンドを組んでライブをする！そんな誰もが一度は想像した青春をこの部活で実現出来ます！初心者 経験者 男女ジャンル関係なく楽しくやっています！是非遊びに来てね！一緒に楽しもう！！



9 陶芸部

活動のメインは、夏の合宿と芸祭への出店です。好きな時間に来て、好きなものを作ることができる楽しいクラブです。



10 版画部

版画部に入ること、授業時間外にも版画工房を使用できるようになります。また、版画の展覧会「K109展」への参加権が得られます。年間費（共有の溶剤費）は1,000円。とってもお得です！



11 バスケットボール部

毎週の火曜日と木曜日に体育館を使い活動しています！バスケットボール初心者も経験者の方も大歓迎！興味がある方は是非一度遊びに来て、みんなで楽しくまったりバスケットボールをしましょう！



12 演劇部

芸大祭での公演を中心に時には楽しく、時にはマジメに活動しています。初心者大歓迎！自分の殻を破りたい人、誰かに発信したい人、表現の場が欲しい人、様々な目標を胸に、個性豊かなメンバーが揃っている劇団「超熱アトミックス」さあ君も仲間に入らないか？



13 フォークギター部

主にアコースティックギターでの弾き語りライブやセッションをやっています。オールジャンル OK、初心者大歓迎です。



14 ストリートダンス部

ダンスが好きな人なら初心者、経験者問わず大歓迎！新入生歓迎会や芸祭ではステージ発表もあります！GWや夏休みなどの長期休暇は BBQ などのイベントも！楽しいので是非来てください！



15 Sweet Candy Boys & Girls

主にアウトドアな活動をしています！コテージを借りて山奥へ遊びに行ったり登ったり、夜は綺麗な星を眺めたり！ただただ遠出して、楽しみたいサークルです！



16 書道アート

名古屋芸術大学書道アート部はアートの視点から切り込んだ書の表現を追求しています。また、「書道」と「アート」の垣根、領域を越えた全方位的な活動をしています。指導：横山豊蘭



17 ワンダーフォーゲル部

ワンゲルは月に1~2回活動しています。主に山を登ることを活動にしており、去年度は養老の滝や猿投山、登山の他には紅葉狩りにも行きました。参加も自由なので他のサークルと掛け持ちすることもできます！今年度はキャンプやバーベキューなど、登山以外での活動も行っていきたいと考えているので気になる方は是非！



18 サバイバルゲーム愛好会

私たちサバイバルゲーム愛好会は2か月に1度サバゲーフィールドへ行き、定例会に参加し、ルール、マナーを学び、正しい知識で楽しさを伝えていくサークルです。



19 テーブルゲーム部

様々なジャンルのテーブルゲームで遊ぶ事で知識を養ったり、その経験を活かしてオリジナルのゲームを作ったりします。ぜひ、遊びに来て下さい。下記のホームページから活動の記録が見れます。<https://tablegame-nua.jimdofree.com/>



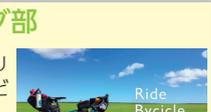
20 レゴ部

LEGOは、発想力や創造力はもちろん、問題解決力や3次元的思考力が身につきます。芸術大学で学ぶ専門分野にも応用が効きます。LEGOブロックでいろんなものを作りませんか？各種コンテストにも挑戦します！



21 サイクリング部

月に1、2回サイクリングやポタリングなどを行っています。どなたでも歓迎です！スポーツ自転車で興味がある方は是非！楽しいサイクリングライフを過ごしましょう～



22 NUAアクアリウム部

魚や両生類、水草や観葉植物などの飼育・育成・採取を行います。生き物が大好きな人、インテリアとしての植物に興味がある人、それ以外の人も大歓迎！一緒に新しい趣味をはじめましょう！！



23 日々 mahalo

みんなで夏しかできないマリナクティブティを楽しみませんか！



24 芸大祭実行委員会

「私たちと芸大祭を作ってみましょう！名芸最大のイベントである芸大祭の企画や運営が私たちの役割です。他にも旅行や楽しいイベントもたくさんあります！色んな人と関わり合って、今年最高の1年にしましょう！！」



EAST CAMPUS

クラブ・同好会紹介 《東キャンパス》

1 Jampa Swing Orchestra

ビッグバンドジャズサークルのジャンパです！学外の演奏会や新歓・芸祭などでの演奏を中心に活動しています。ただいま部員大募集中です！ジャズを知らなくても、楽器初心者でも大歓迎！楽しく演奏したい人、ぜひ見学からでもお待ちしております！



2 フットサル部

男女問わず仲良く活動しています！！初心者もいてみんなでワイワイ活動できるサークルです！先輩とも仲良くなれて、西キャンパスと合同で活動したりするのでどんどん友達が増えます！楽しくフットサルしましょう！



3 ミュージックボランティア

子供から高齢者まで、色々な人に音楽を届けているサークルです！依頼された施設でボランティアや演奏会をしています。ただの演奏会ではなく、みんなで一つの音楽を作ろう！という感じで一緒に歌ったりします♪演奏や人と接するのが好きな人ぜひ来て下さい！



4 B・B・Z

初心者も経験者も楽しく活動しているバスケットボールサークルです。合宿でバスケットをするだけでなく、海へ行き、海鮮を食べるなどみんなで楽しい時間を共有しています。経験者、未経験者、男女問わず誰でもぜひ一度来て下さい。



5 ルーディメンツクラブ

ルーディメンツクラブは、打楽器 ドラムの基礎であるルーディメンツを日々研究し、自らの技術向上に努めて活動しています。上半期は芸祭のメインステージにて打楽器アンサンブルを発表するべく練習しており、下半期は合宿などもあり講師 部員共々仲睦まじく活動しております。



6 和太鼓部「笑和」

こんにちは！私たちは現在、部員 13 名で学年、学部関係なく仲良く活動をしています！練習の成果を発表する場は多くあります。主に参加させて頂いてるのは、幼稚園や小学校の夏祭り、学校内のイベントです。興味がありましたら、気軽に見学に来て下さい。



7 ダンスサークル

ダンスサークルは芸祭など学校行事での発表や外部でのイベント出演などを目標にして先輩、後輩全員で楽しくダンスを踊っています。初心者、経験者関係なくダンスがやりたいと思っている方はぜひダンスサークルにきてください。



8 リズム体操部

私たちは子ども向けの体操を始め、G ボールやラートといった道具を使った演技を学内外の様々な機会に発表しています。また、体操教室を開いたり子どもたちと関わる機会もあります。人間発達学部の学生が多いですが、どの学部の方でも大歓迎です！ぜひ一度見学に来てみてください！



9 中音部

私達中音部は、全学年仲がよく、全員学校でのライブなどに向け楽しく練習しています。他にも初心者上級者問わず仲を深めるため様々なイベントがあります！興味のある方やバンドを組んで見たい方は一度でもいいので顔を出してください！



10 冒険KID'S

私たちは学外で「冒険KID'S」という団体にスタッフとして参加しています。子どもたちと都上の大自然の中で様々な遊びをします。子どもたちと一緒に楽しむのももちろん子どもたちとの関わり方も学べ、先生を目指している人は役立つ体験がたくさんできます。楽しいサークルです！



11 自由工房

ニコニコワークショップの壁面を作ったり、施設や地域の小学校、地域の夏祭りにボランティアに参加しています。子ども達と一緒に楽しみながら活動しています。優しい先輩たちも待っています！



12 EXIA'S

一度来たら思わずハマってしまうバレーボールサークルです。学年や男女問わず仲良く楽しく活動しています。外部の方とも交流があるため、幅広く関わりがもてます。未経験者・経験者・男女問わず大歓迎です！！



13 録音部

録音部は録音をする部活です。アーティストを呼んでのレコーディングやフィールドレコーディング、アフレコ、音響を兼任のライブレコーディングまで幅広く活動します。内容に反してゆるい部活なので興味のある方は是非！



14 tiny*palette

tiny*palette はハンドメイド作品を作っているサークルです。プラ板、レジン、ハーバリウムなどを使って作品制作をしています。初心者、経験者、男子、女子問わず部員を大募集です。毎週楽しく活動しています。ぜひ体験に来て下さい！



15 名古屋芸術大学吹奏楽クラブ

音楽を専攻している学生はもちろん、美術や、人間発達などの幅広い学部から集まって吹奏楽を楽しんでいます！中高から続けてきた方、未経験者も大歓迎です！楽器、音楽一緒に楽しみませんか？是非一緒に吹奏楽を楽しみましょう！



16 ゴスペル部

ゴスペルサークルでは、ゴスペルならではの歌い方や英語の発音、時代背景等を学び、芸祭のステージに出演する等の活動を行っています。東キャンパスの学生も西キャンパスの学生も一緒に活動しています。歌う事が好きな方など大歓迎です！



17 名古屋芸術大学ローターアクトクラブ

社会で活躍している方々と交流し、共にボランティアをしています。昨年度は上海で小児がんの子供達のために活動しました。ボランティアに興味がある人、就職を有利に進めたい人、さまざまな場所で、自由にチャレンジしたい人はぜひ入部してください！！InstagramID : nua.rac



18 リコーダークラブ

リコーダークラブはリコーダーアンサンブルをしている部活です。芸祭での演奏、リコーダーフェスティバル、リコーダーコンテストへの出場を目指して練習しています。どなたでも大歓迎です気軽に見学にお越し下さい！



19 演劇サークル

高校や中学などで演劇をやっている、大学でも続けたい、演劇をやってみたい、演技を学びたい、そんな想いを持った人たちが作品を作っていきたいと思っています。表方、裏方、どちらでも構いません！



20 NUA 音楽事務所

NUA 音楽事務所所属しているタレントをプロデュースするサークルです。
○所属タレント・iVY・iCANDY



21 芸大祭実行委員会

笑いあり・涙あり・感動あり。大学を学生が好みにしている3日間！みんなの力で思い切り楽しいイベントを創りましょう！他にも親睦会や合宿。楽しいイベントを企画していますので、学部を超えた仲間づくりをしたい方も、ぜひ私たちと一緒に大学生活を思いっきり楽しみましょう！入会希望の方は、とりあえず教務学生課の奥村まで!!



TOPICS



人間発達学部 子ども発達学科

2020年度『認定絵本土養成講座』がスタート！ 保育士、幼稚園、小学校の免許・資格に 「+α」の強みを!

人間発達学部子ども発達学科では、2020年度から、愛知県初の認定校として『認定絵本土養成講座』がスタート。「認定絵本土」とは、絵本に関する幅広い知識や技能を生かし、活躍する専門資格。子どもたちに絵本の魅力や可能性を伝え、読書活動を推進する役割を担います。芸術大学ならではの創造性あふれる環境を生かして、子どもたちの気持ちを汲み取れる「感性」を兼ね備えた認定絵本土を養成します。



芸術学部 音楽領域

2020年4月「ワールドミュージック・カルチャーコース」開設

芸術学部芸術学科 音楽領域では、2020年4月から東海地区で初となる、民族音楽とその文化を専門的に学ぶ「ワールドミュージック・カルチャーコース」がスタート。民族音楽の演奏技術を習得しながら、その音楽と文化的背景への理解を深めていきます。さらに録音・音響といった音楽制作スキルの習得や、ロックや邦楽など多彩なジャンルとのコラボレーションなど、これからの時代の音楽のあり方を探求します。



芸術学部 デザイン領域

2021年4月「先端メディア表現コース」が誕生



「映像」「メディア」「デザイン」の3つのテクノロジーを駆使し、最先端のデザインの可能性を探求する「先端メディア表現コース」がスタート。創造的思考力を発揮させる高度な「ものづくり」のクリエイターを養成します。これにあわせて3Dプリンタやカッティングマシンといった、多様で高度な工作機械を備えた「ファブラボ」も開設予定。アナログとデジタル表現とを分け隔てなく学ぶことで、将来変化していく社会環境を柔軟に生き抜くスキルを磨きます。

超域創造プログラム「ALPS」(アルプス)が始動

「ALPS」(Applied-design Leading Programs)とは、第一線で活躍するディレクター陣のもと、専門分野、学部、大学院、学年を越えて参加できるプロジェクト型の実践的プログラムです。現代社会の様々な課題に対し、他の学問分野や企業・自治体等とも超域的に連携しながら、デザインの知と技術で立ち向かい、より良い未来の創造を目指します。またプロジェクトを通じて、次の時代に必要とされる高度なデザイン人材を養成します。



芸術学部 美術領域

2021年4月、美術領域が生まれ変わる！ 自分だけの表現方法を探求する 「美術総合コース」誕生

美術総合コースは、自分の興味や目指す道に応じて、複数ある専門コースの中から学びたい分野を自由に選択できるコースです。多彩な表現方法や考え方を身につけながら、将来の進路や自分のやりたいことを探求し、自分の可能性を見出します。



専門コースがより充実へ 3つのコースがスタート!



「現代アートコース」



「コミュニケーションアートコース」



「工芸コース」

体験型の共通カリキュラム 「アート・ファンデーション」導入

ファンデーションでは、自分が専門に学ぶ分野だけでなく、絵画、彫刻、工芸、版画といったアートの様々な分野を幅広く体験します。1年次から多様な素材や技法に触れて、基礎的な造形力と知識を養うことで、アートへの視野と表現の可能性を拡げます。



芸術学部 芸術教養領域

芸術教養領域助手 中森信福さんが、 映画「大阪少女」で音楽を担当

本学サウンドメディア・コンポジションコース卒業生であり、芸術教養領域助手 中森信福さんが、石原貴洋監督、2020年3月劇場公開の映画「大阪少女 -OSAKA GIRL-」で音楽を担当しました。この作品のDVDが発売され、レンタル、Amazon Prime Videoなどでも配信されています。

中森さんは、これまでも数本の劇場映画、自主制作映画の音楽を手がけており、石原貴洋監督作品では、「しょうがの天ぷら」(映画「ゴースト・フラワーズ」監督/石原貴洋・小林でび第5話)(2016)、「RED LIST」(2017)、「RED CAPSULE」(2018)、「RED BLADE」(2018)に引き続き、5作目となります。

中森さんは、KAMIKABEATZ名義でヒップホップのバックトラックやインストゥルメンタルの楽曲を制作するトラックメイカーでもあり、「能」の要素を取り入れた日本的な音楽と西洋音楽を取り混ぜた独自の音楽を作っており、今後の活躍が期待されます。



「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援を求める申し入れ書」

名古屋芸術大学 学長 竹本 義明 様

名古屋芸術大学学長竹本義明先生はじめ全教職員の皆様が「危機対策本部」の下に結集し、新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組まれていることに感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、緊急事態宣言の発出並びに期間延長の決定により、名古屋芸術大学ではキャンパス内への立ち入り規制が敷かれ、授業や就活、学生生活全般に深刻な影響が広がっています。

もはや一刻の猶予もありません。いま直ちにすべきことは、経済的困難に陥った学生(留学生を含む)の生活支援であり、オンライン授業に必要な設備機器の自弁整備ができない学生たちへの、あらゆる手立てを尽くした緊急支援の実行です。

よって、私たち名古屋芸術大学後援会は大学に対し、以下に掲げる4項目の申し入れを行います。お取り計らいの程、何卒よろしく願い申し上げます。

【申し入れ項目】

1. オンライン授業受講に関する支援について

5月13日より開始予定のオンライン授業受講に必要な機器(PC、Wi-Fi機器等)や通信環境等を自弁で整備できない学生のために、設備機器の無償貸与または購入資金

名古屋芸術大学後援会 会長 菊井 政右衛門

の補助をお願いいたします。

2. 施設・設備関係費一部返金の支援について

実技系授業に重点が置かれる芸大で、学内施設や設備が利用できず、対面指導も受けられない現状は学生にとって大きな損失です。オンライン授業にも限界があります。学内立ち入り規制期間中の施設・設備関係費の一部返金についてご配慮いただきますようお願いいたします。

3. 学納金納入期限延長等の支援について

2020年度授業料等学納金の納入期限の延長や、延納・分納など、学生一人ひとりの個別事情に配慮した柔軟な支援をお願いいたします。

4. 就職活動への支援について

キャリアサポートセンターの緊急支援措置にも拘わらず、全国緊急事態宣言下での就職活動は困難を窮めています。さらなる力強い追加支援をお願いいたします。

(2020年5月5日)



「申し入れ」を手渡す菊井会長(右)

就活生の親として今できること

後援会就活支援特別委員会

委員長 増山 勝之

後援会の就活支援委員長を務める増山と申します。

今回、就職事情について寄稿する機会を頂き、ペンをとりました。

私は15年以上、企業の人事に対して新卒採用を支援する仕事をしてきましたので、その経験を踏まえ、お伝えしたいと思います。

さて、コロナ禍の影響で学生にとって就職が厳しくなってきたと耳にします。

実際、調べてみますと2021年卒(現大学4年生・大学院2年生)の6月末時点の内々定取得率は65.1%(マイナビ調べ)となっており、これはこの春既に卒業した2020年卒学生の同時期での内々定取得率が74.4%、2019年卒の学生が76.3%であったことを比較しますと、約10ポイントほど減少し、学生にとって就職活動が難しくなっている様子が反映されております。

また、2022年卒(現3年生、大学院1年生)にとっては、さらに厳しくなることも予想されています。

それでは、今、就活生を持つ親として、できることに何が あるのか考えてみました。

まずはご子息に大学のキャリアセンターへ足を運ぶことをお勧めください。

一緒にキャリアセンターを訪問してみるのもよいかもしれません。

そこで、現時点で採用活動を継続している企業をご紹介します。

いただくことをお勧めいたします。

次にインターネットでの検索をお勧めいたします。

大手求人サイトの「マイナビ」「リクナビ」などから、現時点で採用活動を行っている企業の情報が検索可能です。

また「INDEED」という求人情報を検索できるサイトもございます。

学んできたことを活かせる職に就くことができればご子息も親としても本望ではありますが、一方で学んでいることに固執しすぎてしまうあまり、就職には不利に働くこともありますので、どこまで学んできたことに拘るのか、ご子息とご相談をお勧めいたします。

一般的にデザインや、音楽といったクリエイティブ系の仕事は狭き門だと思われれます。

また、ご子息が3年生だから就職活動は早いという意識も危険です。既にスタートしているという心構えでご子息の就活に興味を持っていただければと思います。実際、この夏休みには既に2022年卒学生を対象に各社でインターンシップが開催され、実質青田刈りが行われています。

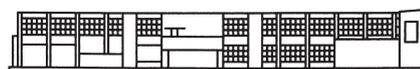
就活の良き相談相手として、ご子息が安心して悩みを打ち明けられるよう努めて頂ければ幸いです。



アート & デザインセンター 2020/2021 展覧会スケジュール

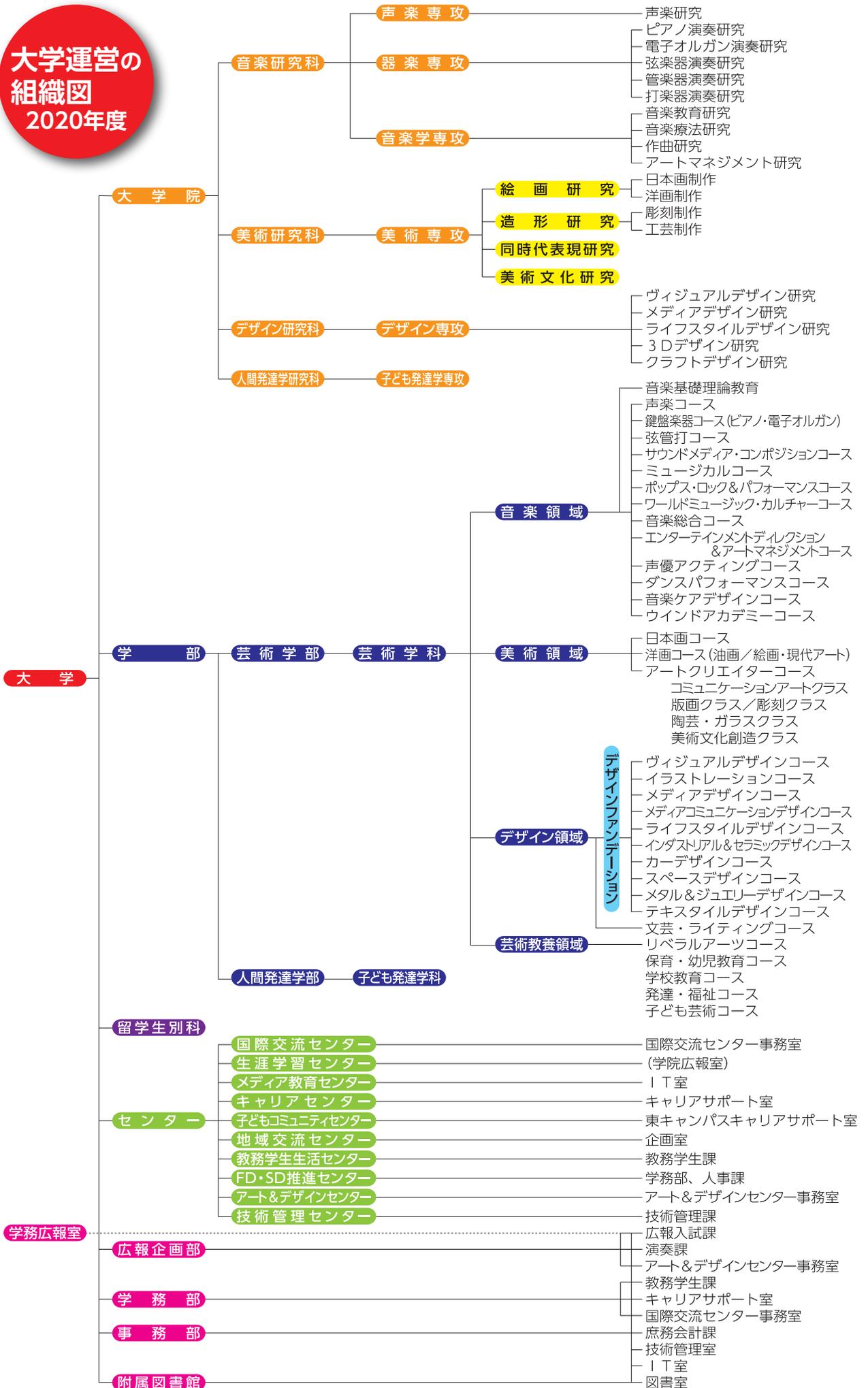
2020	
7月3日(金)～7月8日(水)	〇〇のむこう側
7月10日(金)～7月15日(水)	プレソツ展
7月17日(金)～7月22日(水)	K 109 展
7月24日(金)～7月29日(水)	「くうねるところにすむところ展」 コミュニケーションデザイン&アート演習作品展
7月31日(金)～8月5日(水)	コロナカ
8月7日(金)～8月12日(水)	素材展
8月14日(金)～8月19日(水)	素材展
9月25日(金)～9月30日(水)	アークリ博覧会
10月2日(金)～10月7日(水)	日本画3年コース展 / 2020 彫刻クラス展
10月9日(金)～10月14日(水)	同時代表現研究展
10月16日(金)～10月21日(水)	レビュー選抜展
10月31日(土)～11月14日(土)	名古屋芸術大学展
11月20日(金)～11月25日(水)	書道アート展8 / スタジオ展 [工芸から] グリーンシティプロジェクト
12月11日(金)～12月16日(水)	助手展 / 木のデザイン
12月18日(金)～12月23日(水)	洋画コース2, 3年生選抜展
12月24日(木)～12月25日(金)	メディアデザイン卒制審査
12月26日(土)	VD審査
2021	
1月8日(金)～1月13日(水)	工芸展(陶・ガラス)
1月15日(金)～1月20日(水)	「芸術教養レビュー」第3回展 /
1月21日(木)～1月22日(金)	メディアデザイン卒展シミュレーション展示
1月25日(月)～1月26日(火)	MCD卒制審査
1月27日(水)	VD審査
1月28日(木)～1月29日(金)	ID・CD・SD卒制審査
2月1日(月)～2月5日(金)	大学院1年生審査
2月8日(月)～2月12日(金)	大学院2年生審査
2月19日(金)～2月28日(日)	卒業・修了制作展

Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

大学運営の
組織図
2020年度



名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会(以下「本会」という)と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 - (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 - (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生(大学院生を含む)の保護者または、これに代わる者及び理事会が認めた本学卒業生の保護者、並びに本会の趣旨に賛同する企業または事業主等(以下、「賛助会員」という。)をもって組織する。
- 第5条 本会に役員及び理事をおく。
- 1 役員は、次の各号に掲げる者とする。
 - (1) 会長1名
 - (2) 副会長4名
 - (3) 監事1名
 - (4) 会計監査2名
 - (5) 書記1名
 - (6) 会計1名
 - 2 本会に理事若干名を置く。
- 第6条 本会の役員及び理事の選出は次の方法による。
- 1 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 - (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
 - (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
 - 2 理事の選出は、理事会において会員の中から選出する。
 - (1) 理事の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
 - (2) 監事は会務を監査する。
 - (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、理事会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、会長が召集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関する事。
 - (2) 会則の改定、会の解散に関する事。
 - (3) 役員の選出、その他役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した過半数をもって議決する。
- 第12条 理事会は出席役員・理事で成立し、会長が召集、議事は出席役員・理事の過半数で議決する。理事会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。また、必要に応じて理事会の承認を得て新たに委員会を設置することができる。
- (1) 総務委員会
 - (2) 事業委員会
 - (3) 広報委員会
- 第14条 委員会に委員長1名、副委員長2名以内および委員若干名をおく。
委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は理事のうちから理事会の同意を得て会長が指名する。
- 第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降大学院生までは年額10,000円とする。賛助会員の会費は別途定める。
- 第17条 本会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第18条 本会則の運営に必要な事項は、理事会の議を経て会長が定める。
- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
 - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
 - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。
 - 6 本改正会則は令和2年7月5日から実施する。

名古屋芸術大学後援会 弔慰に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
 2. 保護者(父・母)が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金10,000円を給付する。
 3. 役員および理事の2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として10,000円を給付する。
 4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
 5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会に事後報告する。
- 附則1. この内規は慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。
- 附則2. この改正内規は、平成18年6月1日より施行する。
- 附則3. この改正内規は、令和2年7月5日より施行する。

名古屋芸術大学後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学後援会の顧問は、原則として、理事会の承認に基づき会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し理事会の承認を得るものとする。

附則:この内規は平成17年4月1日から適用する。

附則:本改正内規は令和2年7月5日から適用する。

学校法人名古屋自由学院 決算報告

平成 31 年度 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科 目	30 年度	31 年度	前年度比較
【事業活動収入】			
学生生徒等納付金	2,894,668	3,003,443	108,775
補助金	275,413	245,934	△ 29,479
その他	611,391	652,415	41,024
A 基本金組入前事業活動収入計	3,781,472	3,901,792	120,320
基本金組入額	△ 120,249	0	120,249
B 事業活動収入 合計	3,661,223	3,901,792	240,569
【事業活動支出】			
人件費	2,500,975	2,631,469	130,494
教育研究経費	1,037,250	1,124,521	87,271
管理経費	504,154	484,268	△ 19,886
その他	30,301	43,103	12,802
C 事業活動支出 合計	4,072,681	4,283,361	210,680
A - C 基本金組入前当年度収支差額	△ 291,209	△ 381,569	△ 90,360
B - C 当年度消費収支差額	△ 411,458	△ 381,569	29,889
基本金取崩額	0	105,500	105,500

事業活動収入の部は、学納金収入は増加しましたが補助金収入等は減少、事業活動収入計は39億179万円(前年度比1億2,032万円増加)となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今年度はありませんでした。事業活動支出の部は、人件費26億3,146万円、教育研究経費11億2,452万円、管理経費4億8,426万円、事業活動支出計は42億8,336万円(前年度比2億1,068万円増加)となりました。当年度収支差額は3億8,156万円の支出超過となりました。基本金取崩額は、1億550万円でした。

平成 31 年度 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	H 31 年 3 月 31 日現在	R 2 年 3 月 31 日現在	前年度比較
【資産の部】			
固定資産	15,390,986	15,252,980	△ 138,006
流動資産	1,501,152	1,458,866	△ 42,286
資産の部合計	16,892,138	16,711,846	△ 180,292
【負債・基本金・繰越収支差額の部】			
固定負債	1,252,076	1,178,699	△ 73,377
流動負債	1,000,675	1,275,329	274,654
負債の部合計	2,252,751	2,454,028	201,277
基本金	18,962,583	18,857,083	△ 105,500
翌年度繰越収支差額	△ 4,323,197	△ 4,599,265	△ 276,068
純資産の部 合計	14,639,386	14,257,818	△ 381,568

資産の部合計は167億1,184万円(前年度比1億8,029万円減少)、負債の部合計は24億5,402万円(前年度比2億128万円増加)、基本金の合計は188億5,708万円(前年度比億1億550万円減少)、翌年度繰越収支差額は45億9,926万円の支出超過となりました。

注1. 千円未満は、四捨五入。
詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

「せせらぎ合唱団」団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、名古屋芸術大学後援会の有志により「みんなで歌を歌って楽しもう」と2年前から活動している合唱サークルです。美術部の絵画サークル「壁の華」より数年後に始まりました。今では、両方の会員になって活動している方もいます。

「せせらぎ」とは、小川の流れや音です。合唱は一人の声は小さく弱いのですが、仲間の声を聞き、合わせると素晴らしいハーモニーが出来ます。心が楽しく、気持ちが浮き立ってきます。皆様も聞き覚えのある「見上げてごらん夜の星を」(歌・坂本九)を江端先生の編曲で15名位の団員で歌っています。発声練習をして「夏の思い出」や「夏は来ぬ」を二部合唱で歌ったりしています。月1回の練習で日程がとれない時もありますが、仲間の声に助けられて皆で頑張っています。

昨年は名芸祭にも参加しました。声を出すことで、健康と楽しさを実感できるこのサークルへ、是非とも加わってください。お待ちしております。

今年は、新型コロナウィルスの感染の影響で練習が再開できませんが、みなさんと一緒に楽しく練習できることを願っています。



【練習日】

毎月第3土曜日の午後1時から2時30分までの1時間30分

【場所】

東キャンパス4号館の3階のオペラ教室か部屋の都合で3号館の多目的教室になることがあります

【指導者】

本校の卒業生である山田正文先生と江端智哉先生により、発声の仕方から各パートの音取りを懇切丁寧に教えて載っています。

問い合わせ先

会長 長江 政則
〒480-1214 瀬戸市上品野町927番地
電話 0561-41-1655 携帯 080-3621-7706
副会長 千石 智子
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6
電話 0561-53-4222 携帯 090-8469-4324

絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名古屋芸術大学後援会の有志によって活動を続けている絵画グループであります。毎月一回大学の施設をお借りして大学の先生により丁寧な指導をして頂いております。油彩、水彩、日本画を中心に、昨年からは水墨画についても教えて頂けます。そして、制作された作品を名古屋市民ギャラリーに展示して、皆様に鑑賞して頂いております。今年で第27回目の展覧会を、開催しております。

この他にスケッチ会、鑑賞会等もあります。最近、若い会員の方に入会していただき、益々賑やかなグループとなりました。

是非、後援会の皆様も「壁の華」の会に入会して頂き、絵画の制作をお楽しみ下さい。



【活動状況】

- 1、月例会 (月額会費：1,000円)
日時：毎月第3日曜日午後2時～4時
場所：名芸大西キャンパス 講義室
- 2、グループ展 (27回継続中)
日時：毎年5月上旬 (一週間展示)
場所：名古屋市民ギャラリー 7F
- 3、スケッチ会 11月を予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

問い合わせ先

会長 宇佐見 誠也
〒489-0874 瀬戸市幡野町508
電話 0561-21-4567 携帯 090-7305-8205
運営委員長 森部 みや子
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58
電話 0587-32-2814 携帯 090-1825-1671

- 発行日 令和2年(2020年)9月30日
- 発行人 菊井 政右衛門
- 編集 名古屋芸術大学後援会広報委員会
(酒井伊紀・江上友加里・石黒和広・小林幹尚・橋本博文)
- 発行所 名古屋芸術大学後援会
〒481-8503
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
名古屋芸術大学(東キャンパス)12号館6階
tel: 0568-26-3355 fax: 0568-26-2101
e-mail: kouenkai@nua.ac.jp
- 印刷所 有限会社 住吉孔版社
(無断転載禁止)

本誌掲載の記事(表紙、本文、図表、写真、イラスト等)を本会及び著作権者の承諾なしに無断で転載(翻訳、複写、データベースへの入力、インターネットでの掲載等)することを禁じます。



NAGOYA UNIVERSITY
OF THE ARTS

Challenge to the future

BORDERLESS

名古屋芸術大学後援会会報

名古屋芸術大学後援会事務局

〒481-8503

愛知県北名古屋市熊之庄古井 281 番地

TEL.0568-26-3355

FAX.0568-26-2101

E-mail:kouenkai@nua.ac.jp

【編集後記】

年が明け、「中国武漢で新型コロナウイルス発生」とのニュースが流れても、対岸の火事と軽く考えておりました。ところが瞬く間に世界各国で感染者が増え、日本でも感染拡大により、大学閉鎖、卒業謝恩会・入学式中止、そして自粛生活を過ごす事になりました。新境地を目指し希望と夢に満ち溢れた新入生とそのご家族の方、いつ大学へ通えるの？ 不安との闘いの日々が続いた事が何い知れます。5月に入りオンライン授業が始まり、6月からは一部対面授業が始まりました。けれど学生・保護者の方の不安や疑問は消えません。後援会として何が出来るのか？ 悩み考え少しでも保護者の方と大学との橋渡しが出来る「後援会報」を発行したい。その為に広報委員会で何度も内容を検討し、「50周年記念特別座談会」はじめ見所満載の情報誌に仕上げました。記事をご投稿頂きました皆様、ご協力有難うございました。今後も皆様と共に歩んで行く後援会であり続けたいと思っております。皆様の応援、宜しくお願い致します。

名古屋芸術大学後援会副会長（広報委員長） 酒井 伊紀